夕刊 滿洲日報 五月九日

俄然廣西軍優勢となり廣東は今や危急に瀕す
馮玉祥派の廣西策應を恐れて蔣介石氏百方狂奔す

【上海大矢特派員八日發電】廣三鐵道の終點三水は八日廣西軍の手に陥り西江に出動してゐた陳策の率ゐる海軍の一部は廣西軍に寢返り廣東

危急に 瀕しつゝある旨支那側の信ずべき筋へ入電があつた、南京政府は廣東軍の戰況不利に狼狽して長江筋より廣東軍應援の爲め大部隊を出動せしむべく準備中で取敢ず蔣培南の第四師に動員令を下した、廣東軍不利の報と共に蔣介石氏は馮玉祥氏が廣西派と提携せんことを惧れ今や凡る手段を竭して馮と和解せんことに努力し隴海鐵道督辦劉驥氏を上海に派遣し上海市長張群氏と共に鹿鍾麟、熊斌、唐悅良氏等上海に避難し來れる馮系要人の

隠れ家 を突止め馮派との和解に努めつゝあるが張群氏が本日「未だ何等の結果を得ない」と冒頭して悲痛な面持で記者に語つた處によれば未だ鹿鍾麟氏等の居所をすら發見して居ない模樣である、尚上海では七日來廣東方面の戰況に關する報道一切の新聞掲載方を禁止した

肇慶既に陥落し廣東軍南方へ退却
陳濟棠氏は下野逃亡か

【香港八日發電】八日朝廣東海軍は廣西派に寢返つて廣東を砲撃し司令陳策氏は當地に逃亡し來り徐景唐氏の部下李務慈、雲瀛橋二旅長も廣西派に加擔し惠州より廣東に進撃中である、肇慶も陥落し廣東軍は南方へ退却し廣東の守備手薄く危殆に瀕し陳濟棠氏の下野逃亡說あり、大戰もなく廣東は廣西派に歸し徐景唐氏は汕頭より乘込み廣西派、馮玉祥、汪兆銘氏の提携成り國民黨の分裂を圖り蔣介石氏に對抗する模樣である

馮玉祥軍 河南を撤退

【北平八日發電】河南放棄に決した馮玉祥氏は依然潼關に留まり隴海線東部の軍隊を河南西部に陝縣洛陽より一部甘肅省に、又本月に入り鄭州より西方に八師を引揚げた、馮玉祥氏は毎日閲兵しつゝあるが病癒えず演說は出來ない狀態である

今年末限り治外法權を撤廢
王氏が非公式に意思を表示
結局實現は不可能か

【北平八日發電】國民政府は治外法權を最短期間に撤廢する意思を關係各國に通告し回答を求めてゐたが、其の後王正廷氏は來年一月一日より在支外人は一律に支那の法律に從ふべき旨非公式に表示した、外交團は未だ意見の交換をなしてゐないが目下の處回答をなす模樣は全くない、日本は辛き經驗から到底支那側の希望に副ふべからざるは明かであり、既に撤廢せる獨逸の如きも今日多大の悔を貽してゐる有樣で、各國が一致に撤廢に同意するが如きは有得ない事とされてゐる

照會文を發表
外交部から

【上海九日發電】上海臨時法院を今年末限りで回收せんとする支那側の照會文は昨夜南京外交部から關係各國に對し發送された、此の問題は列國會議に諮るはずであるが、米佛兩國は既に非公式ながら同法院の廢止に贊成し居ると王正延は語つてゐる

黑田次官ら けふは旅順視察
木下長官から廳政聽取

黑田大藏次官一行は九日午前九時龍王塘水源地を視察の後同十時四十五分關東廳を訪問して木下長官と會見、長官より廳政各課長より各課の關係について意見を聽取して退廳、同十一時半關東軍司令部に村岡司令官を訪問し藤田經理部長から陸軍の官有財產に關する其の他一般概況の説明を聽取し正午軍司令主催の將校集會所の午餐會に臨み、午後一時より久保田前旅順驛長の案内にて戰跡見學をなした、一行の一部は陸軍の諸官衙及び用地博物館其の他を見學して午後六時より長官主催の晩餐會に臨み同夜は旅順ヤマトホテルに一泊の筈であると

沿線視察日程

目下來連中の黑田大藏次官一行十名の沿線視察日程は次の如く決定した

▲十一日 午前八時十分發急行にて大連出發、午後一時三十五分營口着視察、同三時二十五分營口發、同六時四十七分湯崗子着一泊

▲十二日 午後一時二十分湯崗子發、同一時三十八分鞍山着、製鐵所視察同二時五十五分鞍山發同三時三十五分遼陽着、師團司令部その他の訪問視察、同六時四十分發、同七時四十七分湯崗子引返し一泊

▲十三日 午前八時五十九分湯崗子發、同十一時三十分奉天着直ちに撫順線へ乘換え午後一時五十五分撫順着、守備隊及炭礦訪問視察、同六時四十分發、同八時五分奉天着、總領事館、守備隊その他陸軍諸部隊訪問視察二泊

▲十五日 午前七時奉天發、同零時二十分四平街にて四洮線乘換へ午後二時四十七分鄭家屯着領事館訪問、同九時四十五分發

▲十六日 午前六時四十五分洮南着同八時三十分洮南發、午後五時五十分龍江着、自動車にて齊々哈爾へ、六時五分齊々哈爾着

▲十七日 自動車にて昂々溪に出で午前十一時三十五分同驛發午後六時十五分哈爾賓着三泊、總領事館、日露協會學校、滿鐵事務所訪問視察

▲二十日 午前九時十五分哈爾賓發、午後三時十七分長春着一泊

▲二十一日 午前八時三十分長春發、同十一時三十分吉林着、領事館訪問視察後午後五時三十分吉林發、同八時三十分長春着一泊

▲二十二日 午前八時二十分長春發同九時二十五分公主嶺着守備隊、滿鐵農事試驗場訪問視察、午後二時四分發、同八時十五分奉天着一泊

▲二十四日 午後二時四十分奉天發同八時六分五龍背着一泊

▲二十五日 午前九時三分五龍背發同九時四十五分安東着、守備隊領事館、鴨綠江採木公司訪問視察、午後四時安東發にて同四時五十一分五龍背に引返し一泊

▲二十六日 午前五時四十九分五龍背發、午後八時四十分京城着一泊

▲二十七日 午後十時二十分京城發

▲二十八日 午前九時五十分釜山着、同十時四十分連絡船乘船、午後六時三十分下ノ關着、同九時五分下ノ關發

▲二十九日 午後八時廿分東京着

尚關東廳からは阪谷財務課長滿鐵からは藥島信司氏が隨行安東まで見送ること〻なつてゐる

夏時制 大部分贊成
關東廳への回答

六月一日から實施せんとする夏時制の可否に關し關東廳管掌の各官公署に對し地方課から意見の回答を求めた處廳內の保安、衞生、經理、學務の各課、旅順は練習所、殖產病院、工大、第一、第二兩中學、高女、博物館、圖書館、市役所、大連は大連、沙河口兩警察、專賣局、救療所、第一中學、彌生女學校、州外は大石橋、遼陽、撫順、開原取引、安東領事館等に滿鐵、關東軍司令部等約三分の一は到着したが、大部分は實施贊成で全く意見のないものもあり、中には二、三反對もある

石本市長の抱懷する大連市政改革方針
之を實現するまでは斷じて辭職せぬといふ

大連市では九日午後二時より第二十九回市會議を開くが、前回に於ては市長並に二、三議員に辭職を迫るものもあり、紛糾の素因とも見られてゐる助役收入役問題も未だ解決の運びとなつてをらぬので再び相當紛糾を來すものと注視されてゐるが、此の難局に處して石本市長は依然進退問題を考慮するが如きことなく「大連市の市場施設の改善、衞生設備の完備を成就するまでは如何なる困難に遭遇するとも、自己の抱負の實現に努力する」と聲明した、氏の抱懷する市施設改革に對する意見は大要次の如きものである

「大連市の電氣瓦斯、電車、水道などは當然市の經營すべきものであるとの説は原則として贊成であるが、今日の市の現狀としては直に之に着手するは

不可能 であつて之は將來の問題である、隨つて社會事業の如きも、內容の充實を俟つて始めて行ふべきであるから更に遠き將來の問題であると考へる、自分は目前の實際問題として市場の改善、衞生施設の完備に力を致したい、それは市民の生活の上に最も緊密な關係を有する急務であると考へるからである、現在の信濃町市場等も改築期が迫つてゐるが自分は

將來の 發展と利益に備へる施設に對する費用は現在の市民のみが負擔すべきでなく將來の市民にも負擔せしむべきであると考へるから同所の改築には市債を募つても之を完備しその容內を充實したい、從來邦人の名義で營業を許されながらこの權利を華人に貸與して無爲徒食するが如き者の絶無を期すべく命じたこともその現れの一つで、安く新鮮なものを提供するためとあらば淸算會社などを設立せず市で直營してもよいと考へてゐる、衞生施設は一般に

無關心 の嫌があるが市民の生命に最も重大な影響があり、その都市の文化と步みを共にすべきものであるが大連は未だ撤懷の點が多い自分は經濟的の意味にも、即ち屎尿、塵芥處分の收入を殖やし衞生上には流行病の蔓延を根絶するため施設の完備を期したい、之が自分の最後の仕事になるであらうと考へてゐるので之さへ成就することが出來れば、市長の椅子など何時放り出してもいゝと考へてゐる

拓殖省官制對策
きのふ首相以下協議の結果
樞府側に十分の交渉

【東京九日發電】拓殖省官制問題は七日の樞密院精査委員會の結果に基き八日首相官邸に田中首相以下各閣僚關係當局集合して其の對策を協議したが名稱變更に就ては樞府側と妥協點を見出すべく更に研究し、又組織變更に就いては之れを地方別に依り朝鮮局其の他を設くる樣法制局拓殖局にて審議して樞府側の諒解を得ることになつた、從つて右の如く樞府側の意向を尊重し改正を加ふる事になつた以上今後樞府對政府の意見が一致したら其の時御諮詢案御下げ渡しを奏請し改めて修正案の御諮詢を仰ぐ事となる筈で何れにしても右官制は政府の希望通り六月一日實施迄に間に合ふ樣樞府の通過を見る事が出來るであらうと云はれてゐる

顧問官增員 政府側は不贊成
金子委員長の質問に田中首相は「考慮す」と回答

【東京九日發電】七日拓殖省官制に關する樞密院精査委員會に於て金子委員長より「政府は拓殖省新設に伴ひ樞密顧問官の定員增加の意志はないか」との質問に對し田中首相は「今の處增員の考へはないが考慮しやう」と言明したので政府側退席後樞府側のみ居殘り、本問題で種々意見の交換をした結果此の機會に政府の意嚮を確める事となり二上書記官長をして拓殖省官制に對する意嚮を併せて前田法制局長官に交渉せしめた、顧問官の定員增加は表面は單に樞密院官制改正に止まるも其の實質は相當重大問題であるので政府は十日の閣議で態度を決定するであらう、然して政府は大體不贊成であるが其の影響が不戰條約問題にも及ぶ惧れがあるので深甚の考慮を拂つてゐる、尚樞府側の意嚮は二十四名の定員を二十八名に增加し度い意嚮である

南滿洲教育會廿周年記念

南滿洲教育會創立廿周年記念事業計畫委員會では來る十四日午前九時から大連第一中學校に於て「教育會の永久的事業に就て」協議會を開催するが、九月廿二、三の兩日旅順に於て催す記念會に木下關東長官の美味求眞に關する講演がある筈である、なほ記念展覽會は各地に於て開催することに決定してゐる

人事

▲鈴木格三郎氏(青島商工會議所會頭)七日來連遼東ホテルに滯在中
▲小谷節夫氏(青島新聞社長)同上

大觀小觀

◇樞密院の頑老連、いよ〳〵增長して、不戰案、拓殖省問題、一向片付きさうになし。
◇政府の「隱忍自重」も久しい。腰が拔けたのではあるまいか。
◇馮軍が河南を引上げたと思へば廣西派が廣東を脅威してゐる。蔣君夫妻の夢、到底圓かなる能はず。
◇民政署が貸家税調査難で弱つてゐるとか。あまり重箱の隅を掘らぬ方がいゝ。內地とは事情が異ふ。
◇所謂社會政策的課税を、先づ關東州で徹底的に實現させるのも一策だ。
◇鮮ピーに振られて自殺した日本男子があります。

支那新聞の記者招待
滿鐵が上海から

滿鐵では上海に於ける支那側各新聞社の記者を招待して旅順、大連を初め南北滿洲及び北支那方面の視察をせしめること〻なつたが、一行は十二名で十二日榊丸にて上海出發、十四日大連着の豫定で大連滯在二日、十七日旅大間を往復し奉天、長春、哈爾賓を觀察の上平奉線にて天津に出で北平を見學すること〻なつてゐる、因に上海記者團は左の通りである

▲申報記者四名▲新聞報四名▲時報三名▲時事新報四名▲民國日報三名

歌集 木蓮
長尾昌一

なやましの人の世ながら許りもきかねばいかにさみしからまし
相擁し泣くもなけるも二人のみゐればかざらぬものがたりなり
片破月地平にさみし何時かかの君が折りたるとき櫛に似て
ふと夢の國も行くかに立柳の白葉かへしつゝゆける春雨
道の上の溜りの水につぶら雨間おきつゝふり晴るる夕立
秋時雨たまりの水にすがしくも紅をとかせる夕燒けの雲
夕燒けに地平の雲のだむだらは地獄繪卷のさまして暮れぬ
うす時雨うすら曇り日日ならべていつかさみしきまた冬は來ぬ

天氣豫報

十日(曇)南東の風一時晴れ
日出四時四六分日沒六時五四分
滿潮午前十時[illegible]分後十一時五分
干潮午前四時一〇分後五時一〇分

滿蒙十五鐵道驛傳競爭所要時間豫想懸賞募集
入賞者—合計三百二十六名
賞品—總額三千圓

本社主催滿蒙十五鐵道驛傳競爭は發表以來全滿を通じて異常の興味と注目を喚起して居ります、本社は此に一般讀者の滿蒙の鐵道其他交通に對する研究心を助長し且つ此の催しに對する興趣を一層深からしめる爲に左の規定により普く募集することにしました、奮つて投票せられんことを希望します

應募規定

一、紅白兩班の中全コースを規定通り完全に踏破して先に歸着せる班の全所要日時を豫想投票すること

(參考) 競爭規定は十五鐵道三千四百餘哩を片道は必ず通過することソレ以外の場合に於ける交通機關は無制限で出發點及び歸着點は共に大連驛

一、所要日時數は『幾日何時間何十何分』として秒は數へないこと

一、豫想投票は必ず本紙刷込みの用紙を用ふること、ソレ以外のものは認めません

投票用紙は十日付朝刊第二面に先づ刷込み募集期間中數日に限つて刷込みます、此の用紙を賣るのが目的ではありませんから、それ〴〵保存使用を願ひます

一、受付開始 五月十日

同締切 五月廿五日

一、送付先 滿洲日報社總務部宛『驛傳競爭所要時間豫想應募』と封筒に明記のこと

一、適中者及び之に近き豫想者より順次入賞を決す、豫想時間が同じき場合は抽籤によつて入賞等級を決定すること

賞品及入賞者

一等 オートバイ(英國製マッチレス號)一臺 一人
二等 蓄音機(米國製ビクター式)一臺宛 五人
三等 腕時計(瑞西製ドルミークローム側)一個宛 廿人
四等 本紙購讀券 三ケ月分宛 五十人
五等 本紙購讀券 一ケ月分宛 二百五十人

滿洲日報社

滿蒙鐵道驛傳競爭 主要驛發着時間表
全線十五鐵道三千四百二十四哩
(二)
◇—支那側鐵道—◇
(細字は午前・太字は午後)

金福鐵道

下り

驛			
金州發	—	9.28	3.38
貔子窩發	10.00	12.40	7.05
城子疃着	10.30	1.10	7.35

上り

驛			
城子疃發	8.25	9.10	2.35
貔子窩着	9.00	9.40	3.10
金州着	1.10	—	7.25

奉海鐵道

下り

驛		
奉天發	7.30	11.10
梅河口着	2.56	7.10
梅河口發	3.10	7.25
朝陽鎭着	4.29	—
西安着	—	10.00

上り

驛		
西安發	—	10.15
朝陽鎭發	7.00	—
梅河口着	8.00	12.45
梅河口發	8.20	1.00
奉天着	3.40	9.00

吉海鐵道

上り

驛	
朝陽鎭發	1.00
煙筒山着	6.10

下り

驛	
煙筒山發	6.00
朝陽鎭着	11.10

備考 煙筒山吉林間は建築列車にて不定時

溪城鐵道

下り

驛				
太子河發	7.00	9.00	12.20	3.00
牛心臺着	7.53	8.23	1.13	3.53

上り

驛				
牛心臺發	8.40	10.43	2.40	4.50
太子河着	9.36	11.39	3.36	5.45

開豐鐵道

下り

驛			
石家臺發	7.00	1.00	4.30
開原發	7.25	1.25	4.55
西豐着	11.24	5.24	—

上り

驛			
西豐發	7.30	1.30	—
開原發	11.10	5.10	8.35
石家臺着	11.30	5.30	9.00

四洮鐵道(幹線)

下り

驛			
四平街發	7.00	12.20	7.00
鄭家屯着	9.15	2.47	9.10
鄭家屯發	9.45	—	9.40
洮南着	3.25	—	6.15

下り

驛			
洮南發	9.00	—	7.50
鄭家屯着	2.42	—	4.30
鄭家屯發	3.05	10.10	5.05
四平街着	5.30	1.05	7.40

四洮鐵道鄭通支線

下り

驛			
鄭家屯發	7.15	5.20	3.10
通遼着	10.50	9.15	6.30

上り

驛			
通遼發	6.10	5.15	2.15
鄭家屯着	9.30	9.05	5.15

洮昂鐵道

下り

驛	
洮南發	8.40
昂々溪着	4.10

上り

驛	
昂々溪發	9.05
洮南着	4.20

洮昂四洮兩線連絡

下り

驛		
洮南南站發	6.50	5.30
洮南東站着	7.05	5.45

上り

驛		
洮南東站發	7.20	5.00
洮南南站着	7.35	5.15

伊藤主計射殺犯人 憲兵に逮捕さる

濟南事件直後から城内に潜み 馬賊と連絡し陰謀

【濟南特電九日發】去る四月十九日夜伊藤主計が支那人惡漢の爲めに狙撃された事件に就いては爾來極力嚴探中の處、五月二日午後八時頃濟南商埠地に於て我憲兵が拳銃を所持する異樣の風態の一支那人を發見したので直に逮捕し嚴重に訊問したところ江蘇省生れ劉麗明(二八)と第五十二軍長呂秀文部下の少佐で軍事探偵と稱するのみにて一切口を緘して語らなかつたが、嚴重取調の結果伊藤主計射殺犯人たる確證を掴み本日公安局に引渡した、劉は濟南事件直後から城内に潜伏して馬賊と連絡し不穩の計畫を進め射殺事件發生の十九日朝より姿を晦まし引續き日本軍の首腦部を狙つてゐる内に逮捕されたものである尚共犯者も兩三名ある見込みで引續き捜索中である

近く就航の大連汽船新造船

四千噸の貨物船四隻と白河遡江の遼河丸

大連汽船會社では屢報の如く四千噸級の貨物船四隻を岡山の三井玉造船所において建造中であるが、そのうち第一船が來る十五日受渡し廿日頃廻航する事となつた

同船は天山丸と命名されて既にこれが受取りには八日出帆のはるぴん丸で乘組員が内地に向つてゐるが、いづれ大連廻航の曉は内地との貨物輸送に從事する筈で殘り三隻も機關その他の關係で豫定より遲れるが順次廻航の筈であると

尚大汽にては白河の埋泥によつて特に白河を溯江し得べき貨物船遼河丸(千五百噸)を滿洲船渠會社において建造中であつたが十日午前十時より進水式を擧行する事に決定、同船は營口、天津間の貨物輸送に當ると

米國記者團あす來朝

帝都の日程

【東京特電八日發】米國カーネギー國際平和財團主催にて東洋視察に來朝する米國新聞記者團は十日早朝大洋丸で横濱に入港の筈であるが、その後の一行の日程は左の如くである

▲十日　横濱新聞關係者歡迎晩餐會

▲十一日　復興事業視察東京朝日新聞招待午餐會、午後市内見物夜ジャパンアンドバタイザー主催晩餐會(東京會館)

▲十二日　午前鶴見總持寺勤行參觀、同寺にて報知新聞の招待午餐會、午後明治神宮競技場競技參觀、夜大藏大臣招待晩餐會(華族會館)

▲十三日　帝大、中央職業紹介所參觀、午餐は三井男招待、午後私立大學參觀及び經濟聯盟、工業倶樂部主催茶話會、夜は商工會議所招待晩餐會及び觀劇

▲十四日　午前各工場參觀、日米協會招待午餐會、外務次官招待園遊茶話會、夜は郵船招待晩餐會

▲十五日　横濱市見物

▲十六日　午前工藝展覽會見物、市内會社銀行商店縱覽、午餐は岩崎男招待、東洋文庫參觀、晩餐東京日日招待

▲十七日　午前中日程なく午餐パンパシフヰック倶樂部招待、午後太平洋問題調査會懇談會(茶會)晩餐外務大臣招待晩餐會(官邸)

▲十八日　午前中日程なし午餐日米關係委員會招待午餐會、午後婦人平和協會主催懇談會(茶會)晩餐鐵道大臣招待

けふ御別れ グ公殿下御參内

牡丹間で皇太后と御對面 御禮を言上

【東京九日發電】グロスター公殿下には今日を以て宮中の公式御待遇を辭され明十日より地方御巡覽の途に就かせられるので御告別のため九日午後零時十五分御參内天皇陛下の御案内にて牡丹間に成らせられ之れより先午前十一時三十五分青山東御所を御出門參内ありたる皇太后陛下と御一緒に同じく牡丹間に成らせられ茲に國賓殿下と非公式の御對面あり殿下には此の八日間の手厚き御もてなしの御禮を言上され次で豐明殿に於ける午餐會に臨ませられ午後二時霞ケ關離宮に御歸還相成つた

聖上御答訪遊す

【東京九日發電】天皇陛下にはグロスター公御告別御答禮のため午後三時宮城御出門霞ケ關離宮に行幸遊ばされた、陛下には國賓殿下の勞を犒はせられ、健康を祈る旨懇なる挨拶を遊ばされ殿下は又感謝の辭を述べられるところあり名殘り盡きぬ固き握手を交され國賓殿下は御玄關まで御見送り中を陛下には三時二十分宮城に御還幸あらせられた

大航空船を使用して太平洋航空路開設

米國で着々と調査研究すゝむ 大西洋航路も計畫

【紐育七日發電】桑港又はロスアンゼルスを起點として布哇馬尼拉經由東京に至る航空路を巨大な航空船を使用して開かんとする計畫が目下ウオール街の銀行家航空界の巨頭等の間に考慮されてゐるが此の計畫に依ると全部米國側の出資に依り使用航空船はツエッペリン會社製のものを用ふる事になつて居り既に同社につき調査を開始したと云ふ

該航空船は二年乃至三年内に容積六百五十萬立方呎二隻を作り得る事を確めた此の航空船は六十名乃至百名の乘客の外に一、二萬封度位の郵便物貨物其他の積荷をなすことを得速力も現在の航空船より早く時速百哩位を出し得ると云ふ

尚太平洋航路實現の上は大西洋にも同樣の航空路を開設し陸上飛行機と相俟つて南北アメリカと歐洲をも連絡せしめる計畫であると

神輿巡幸の順路

十日は御旅所に一泊

大連神社の春大祭は九日宵祭、十日本祭、十一日祝祭の順序にて行はれることになつてゐるが十日の御神輿御巡幸の順路は左の通りである

▲午前九時神社出御加茂川町(相生氏邸前小憩)播磨町民政署脇に出で(市役所前小憩)大廣場山縣通(松島商店前小憩)(福昌公司前小憩)埠頭土佐町須磨町龍田町關東陸軍倉庫前彌生高等女學校脇より右折山縣通加賀町敷島廣場監部通を上り(嘉納合名會社前小憩)吉野町二、三、四丁目信濃町南廣場日本橋を通過北大山通に入り海岸に到り(休憩)更に兒玉町を經て日本橋大山通を經てヤマトホテルに入り晝食

▲午後大廣場奥町常陸町(派出所前小憩)吉野町一丁目監部通南廣場伊勢町に入る(野村藥舗前小憩)西廣場岩代町磐城町を通り信濃町市場前に到り(正門前休憩)若狹町を全通して春日町に出で(岩田國會氏前小憩)嶺前屯(薩摩溫泉前小憩)桃源臺平和堂に到る途中逢坂町にて引返して西公園町の電車路を進み中央ビル横より左折電氣遊園御旅所に齋御一泊

埠頭待合所に警官派遣所

最近の事故頻發から 電報受付所に隣接して新設

埠頭待合所の混雜事故防止に關しては所轄水上署において種々講究中であるが從來待合所ベランダが内地航路船のみに使用されてゐた時はともかく、ベランダが增設されて天津航路、上海航路船の出入にも使用さるゝに至つて、自然混雜を來し又事故の發生も增加するものと見込をつけ今回埠頭待合所内に臨時警官派遣所を新設する事になり既に派遣所に使用する家屋は滿鐵より借受ける事に決定、現在の電報受附所の隣りに建設さる

今後は内地大津上海への定期船出入時に惹起した事故その他に對しては臨時派遣所においてこれを處理する事となり水上署にては警務局に認可申請中である

〓けふから大連神社春祭り〓

けふは春祭りの宵祭り、早朝から滿街國旗に彩られ午後に入つては獻燈も垂るされてお祭氣分は小寒い不順な氣溫を餘所に横溢する、大連神社は早朝社殿の裝飾を終り幼稚園の園兒が一番に參拜したをはじめとしちらほら氏子の參拜が續いたが午後六時から崇嚴で賑かな祭典が執行される「寫眞は御神輿の飾立て」

支那人大擧し邦人を袋叩

馬車夫と運轉手の喧嘩から 人の出盛りに奥町で

七日午後九時ごろ大連大山通り一六實用タクシー運轉手白石二三夫(二七)は監部通り方面より奥町を通行し自宅に歸る途中、奥町と浪速町の十字路に差し蒐かつた際、八幡町車夫合宿所内馬車夫吳慶德(三〇)がその直前を横切り進行を妨げた爲め白石が吳を叱責したる處より端を發し附近の車夫等まで吳に加勢し毆り合ひを始めたが、衆寡敵せずと見た白石が運轉臺に飛び乘り逃走せんとせしも寄つてたかつて白石を引き摺り下し毆打したので白石も死にもの狂ひとなり自動車のハンドルを振り廻し、折柄當時通行中の浪速町八八渡邊彥太郎および實用タクシー運轉手大脇甚四郎その他日本人五六名これに應援したが雷同せる數十名の支那人無頼漢は十重二十重に取圍み遂に前記日本人等を袋叩きにした、急報に接し浪速町派出所より内野巡査が駈け付け極力鎭撫すると共に首謀者と目さるべき右吳慶德および愛宕町一二劉敬文(二九)の兩名を逮捕し傷害犯人として目下大連署で取調中であるが、最近支那人等が大衆を賴みて日本人を毆打する如き事件の激增した事は大に注目さる

農林省船入港

農林省所屬船祥鳳丸(船長桑原尚氏)は九日午前八時頃龍口より入港埠頭三十番バースに着いたが同船は渤海黃海方面の漁船取締の爲來航したもので、再び龍口に向つて出帆する豫定である

大規模にモヒ密造

大阪高工出身者が中心になり 原料の製造で發覺檢擧さる

大連署司法係刑事は一兩日來何事か事件の端緒を得たものゝ如く俄然緊張し星司法主任の指揮で八方に活動を開始する等色めいてゐたが、吉岡部長の率ゆる一隊は櫻花臺六七麻住太三郎と表札のかゝる四軒長屋に踏み込み家宅搜査の上乾燥機、煽風器、フラスコ、試驗管その他多數の器具機械を押收すると共に同居者林靜雄(四三)の身柄を引致し引揚げて嚴重取調べを開始した

林は大阪高等工業學校の藥業部出身で熊本藥學校を卒業し星製藥會社に七年間も勤務しモルヒネ製造には相當經驗ある下村光衛(假名)ほか二名と共謀し前記器具機械を購入して備へ付け去る三月二十四日ごろよりモルヒネ製造目的のもとに先づこれが前提として原料となるべき酒性醋酸、酒性鹽酸、純タンサンソーダ等の製造に着手し之れが成功すれば大資本家の後援を得て大々的に製造すべく計畫中その筋に探知されたもので身邊危ふしと知つた右下村ほか二名は逸早く逃走した目下各方面に手配搜査中である尚林は九日藥品製造取締規則違反で告發され即決罰金五十圓に處せられた

山東難民で入港者激增

四月中の調査

海務局の調査によると四月中の大連入港船舶數三百六十五隻、檢疫人員十萬千八百十六人にて昨年同月に比較すると船舶數で二隻檢疫人員で二萬五千九十三名の增加であるとこの增加の理由は山東における張宗昌氏敗退による避難民が增加したゝめであると

藝者が危い藝當

元の百々春が自動車操縱 運轉手も告發さる

奉天十間房料理店金龍亭抱藝妓綾龍こと水流綾子(二七)は七日午後一時四十分ごろ市内春日町稻妻タクシー運轉手劉兆賓(二四)の操縱する自動車に乘り山縣通りと紀伊町の十字路に差し蒐かつた時、運轉席に移り劉よりハンドルを奪つて運轉手の免狀なきに拘らず運轉した事を山縣通り派出所黑瀨巡査および姜巡捕に現認され散々油を絞られた上綾龍も劉も告發された、因に綾龍は元北村席に居り百々春と名乘つて稼業してゐたもので過般奉天へ七千八百圓で鞍替したものである

東支鐵道の時間改正

來十五日から

東支線では豫て隣接鐵道の發着時刻を參酌して旅客列車の時間改正計畫中であつたが愈來る十五日から先づ南部線に實施することになつた、右に據れば旅行日程が短縮され從來より便宜になつて居ると尚東部線西部線も多少變更を見る模樣である

京城府雇員公金拐帶

滿洲に逃亡か

【京城特電八日發】京城府廳臨時雇員原籍門司生れ岩佐節生(二七)は去る四日公金七千八百六十七圓を拐帶し所在を晦ましたることが七日午後發見され、大騷ぎとなり直に其筋より各地に打電し手配中であるが犯行は極めて用意周到なるもので古河電氣鑛業會社京城出張所に支拂ふべきもので、同所主任水谷九二吉の印章を盜用領收證を僞造橫領せしものである、犯人は多分滿洲方面に高跳せし形跡あり同方面に特に手配を依賴した

五十聯隊禮狀

駐箚二年在留民保護の大任を終へて此程歸還した松本五十聯隊長山内大佐から本社を通じて大連市民各位に宜しくとの禮狀が來た

營口と安東で入港船を檢疫

廈門、汕頭方面では目下天然痘が流行し罹病者も多數に亘ると云ふので營口海關にては其地領事團の承認を得てその方面よりの入港船に對しては營口において檢疫を施行すると、同じく安東においても上海方面の腦脊髓膜炎の猖獗に甚だしい現狀より在安東領事團の承認を得て檢疫を行ふ事になつた旨九日夫々當地海務局宛報告があつた

得物を手に襲擊する

支那料理店の啀み合ひから

市内春日町五八支那料理店千成方店員と惠比須町九三同業泰昌樓方とは豫てより女給屆ひ入に付いて爭ひ反目し合つて居たが九日午前一時半千成方帳場由作新(二四)は逢坂町總數方車夫李學富同キネマ屋方ボーイ楊振南外十數名を伴ひ大擧して前記泰昌樓を襲はんと手に手に獲物を持つてあはや血の雨を降らさんとする處を折良く警邏中の警官に發見され小崗子署より多數警官馳せ付け一同を檢束處分に附した

少女歌劇座

今夕から開演

村上滿鐵警部後援會に招聘されて來連した日本少女歌劇座一行は昨夜陸路來連し今夕から歌舞伎座で開演する(寫眞は本社を訪れた幹部)

沙河口清潔法

五月十三日　本署直轄管内一圓
同　十四日　水源地神社前警察官吏派出所管内一圓
同　十五日　聖德街霞金町警察官吏派出所管内一圓
同　十六日　王陽街永安街警察官吏派出所管内一圓

次の各派出所の處は自十三日至十八日各派出所に於て適宜檢査區域を定めると

一、沙河口驛一、嘉山屯一、星ケ浦一、香爐礁一、欒家屯一、岳溝一、小平島一、灣家屯

鄕軍一分會總會

在鄕軍人會大連第一分會では十日午前九時から南山麓小學校で第六回總會を開く筈

奉祝生花會

大連茶花組合松風會では大連神社祭禮に當り十一、十二の三日間大連外國語學校に於て諸流聯合奉祝生花大會を催し當日は茶席を設け一般の來會を希望すると

◇……けふの宵祭から大連神社春祭り今年から神輿は牛車を廢して建築現業組合員が揃ひの衣裳で景勢よく奉仕する

◇……橫濱ドックに於て建造中の日本郵船新旅客船秩父丸(排水二二、二〇〇トン、總トン數一六、七五〇トン)の進水式は八日午後四時盛大に擧行、れた本船は日本郵船の所謂優秀船計畫に依るもので來年六月より桑港航路に就航することになつてゐる【橫濱九日發電】

◇……昌圖縣公安局員百二十名が新幹部と意見衝突し去る四月末一切に總罷業を決行したが、新幹部は全部を解首し新しく百二十名を募集中である【鐵嶺發】

◇……當地在住安西冬衛氏は今回東京厚生閣書店より詩集軍艦茉莉を出版したが、有志相計り來る十二日午後一時より會費三圓にて西園亭において出版記念會を開催出席者には軍艦茉莉一部を贈呈すると

一般に注目される正隆の新營業方針
職制改革と内部の刷新を企圖　近く支店長級異動か

正隆銀行では高橋常務就任以來、內部の刷新に努め職制改廢を企圖されてゐる模樣であり、高橋常務は

着任早々

南支各店及沿線各支店の業務を洩れなく視察するなど業態の改善に努めつゝあるが仄聞するところによれば人心の刷新を目的に近く各支店長級の大異動が行はれる模樣である、しかして一部職制の改廢と同時に營業方針にも大改革が加へられるものと見られ、財界各方面では正隆の新方針に對し深甚の注目を惹いてゐる、卽ち正隆銀行は井上常務時代どちらかと云へば放慢に

流れ勝ち

であつた政策を前糸賀常務によつて極端なる引締を行つた一部財界に非難を買ひ兎角安田保善社の一支店に墮せんとする傾向あり、小商工業金融機關としての正隆の信用を損するが如き方針に出たとも屢あつたが、其後株主側の希望もある程度まで容れられ、兎も角今日相當の純益を擧げ五分內外の

株主配當

が出來得るまでに達したのであつて、この後を享けた高橋常務が如何なる營業方針に出づるかは未知數なるも前後の事情より綜合して相當積極的方針を執るものと見る向が多く、正隆の今後の活躍は目下のところ頗る期待されてゐる

人事異動　行ふかも知れぬ　高橋常務談

右につき高橋常務は

人事異動は近く行ふかも知れぬしかし只今の處何も考へてゐない職制の改革と同時に營業方針も改めるかつて……それも今は未だ何んとも云へない、しかし今までの常務が曾つて行はなかつた各支店の視察を僕が洩れなく見て來たのだから、いづれ何かはやるだらう

と例の調子で多くを語らなかつた

議員辭職と會員の入退會
未曾有の紛擾をつゞける　長春商議の問題（四）

笠井會頭は反對派議員等が議員會に出席しないので笠井派のみにて議員會を開催し一切の議事を議するに至つたが

反笠井派

の出席しない議員會に於て議決された主なる議案は一、四年度豫算二、會員入會の件三、金融組合設立準備の件四、紛糾に關して總會に報告の件等である

右の內四年度豫算は前回の議員會にて否決され、會員入會の件は之亦前回に於て大多數の反對に會ひ會頭自から會員入會は是非共全議員の贊成を要するとて撤回したものである、又金融組合設立準備の件は笠井派が利用した唯一の武器とも言ふべき議案である卽ち僅か九名の自派議員のみにて議決した議案は悉く敵派との作戰準備か又は前回に於て否決されたものである、

茲に注意すべきは定款第二十二條の解釋であるが同條には左の如く規定してある

總會は總會員五分一以上議員會は議員定數の三分一以上出席するに非ざれば開會することを得ず

同一議事に付き招集再會に亘るも尙別項の定數に充たざるときは當日の出席員のみにて會議を開くことを得

右の條文を挿入した理由は自から明かなる如く會員が旅行又は單なる事故の爲めに出席し得ない場合を豫想したものである、抑

商議定款

の如き不完全な規定の解釋は一般法律の解釋とは異り飽くまで立法者の精神に據るべきことは言ふまでもない、然るに笠井會頭が右條文の精神を故意に曲解して自派の作戰に利用し且自派會員三十名を入會せしめたのは明かに定款の趣旨に反するものと言はねばならぬ、かくして反笠井派議員等は商議はその價値なしとて連袂辭職するに至つた反笠井派議員の連袂辭職は元より會員の意志を代表する議員として輕率な行爲であることは言ふまでもないが、然し理由は兎も角三分二の議員が辭職し僅かに一部會員を代表する笠井派議員が議員會を獨占するに至つた上は多數會員が脫會するは自然の成行きである、

卽ち五月二日までに銀行團、會社主なる商店等三十五會員が脫會し之が爲めに僅か八千七百圓を見積つてゐる賦課金中から六千五百圓を失ふに至り、滿鐵の補助金を控除すれば長春商議の收入は四千四五百圓を出でないこととなり事實上自滅したものと見做さねばならぬ

尙茲に一言注意すべきは脫會者の多くが何れも大資本の會社商店等にて賦課金の大部分を負擔する會員である、然るに議員の定數三分一に充たざる議員會で入會せしめた新會員は何れも二圓三圓の賦課金を納入する會員であるが笠井派の採つた如き態度を以つてすれば之等小額の負擔をする會員のみが增加し多額の會員は排けられることゝなり自然一部から資力に依つて等級を附し入會資格を定めよと要求が起ることは自明の理である

かくの如き結果を招來するとすれば商工會議所存立の意義を失ひ長春商工業者の拭ふべからざる汚辱を將來に殘すことゝなる

河豆稅問題と當局の方針
大連に於る課稅を支那側に嚴重要求

河豆輸出稅問題につき大連商工會議所から外相並に關東廳當局に請願したことは既報の通りであるが右につき關東廳では嚢に大連海關より非公式に「哈爾賓のみに於て課稅し大連に於ける課稅はこれを廢止して二重課稅を免ずべき旨」の通告があつたので會議所その他當業者各方面のこれに對する意見を徵した結果、前記大連商議請願の趣旨卽ち大連のみに於ける課稅を適當と認め支那當局に交涉し飽くまでこれを貫徹する方針で外務省に對し電請する所あつた

銀相場崩落
又復解禁說濃厚　上海標金は急騰し　鈔票八十錢方暴落

銀市場における金解禁人氣は最近稍下火の模樣であつたが、九日突如對外爲替の好轉を報じたので先づ上海市場より又復金解禁切迫氣構へ濃厚となり、圓資出動等によつて色めきたち九日前場において日米爲替は八分の一高、米日は四分の一高と一齊に强調を入れ、上海標金も亦材料高に三百六十五兩九と二兩二高に寄り高値は四兩高の三百六十七兩七と暴騰し三兩高の三百六十六兩と引け一方海外材料の銀塊は各地共一齊安を報じたので地場鈔票は忽ち軟材料を眺めて九十七圓六十五錢と四十錢安に寄り漸次下押し九十六圓二十五錢と止め八十錢方の暴落を演じたので場面活況を呈し商內亦彈み前場出來高七百八十五萬圓に達したが相場は安値引で先行尙安見越濃厚である

無煙粉炭の有望炭層を發見
三尺に四尺の二箇所　活氣づいた董家溝

【金州特電九日發】當管內董家溝會煤窯屯に埋藏さるゝ石炭は從來三、四回も試掘を行つたが其の都度小規模な試掘の爲め失敗を續け二、三年前遂に斷念中止せし狀態であつたが昨年より大連八丁鑛業所の手に依つて再び學問的設備を爲して試掘にかゝりたる結果最近に至り一縷の光明を見出したる爲め活氣づき懸命掘鑿に力めたる甲斐があつて、此の程三尺に四尺の二箇所の炭層を發見試驗した處良質の無煙粉炭と鑑定され試掘者側も俄に活況を呈し、目下大馬力で試掘中であるが、問題は炭量の多少にあるも此の分では案外多量の埋藏ある見込で其の將來を頗る有望視されて居るが之が如何は地方の發展上著しい好影響を與へるので一般より非常に注目されてゐる

關東廳でも注目す　專門技師の視察

別項董家溝の無煙粉炭層發見につき市內兒玉町の八丁鑛業所を訪へば所長八丁虎雄氏は目下同地に出張採掘督勵中であるが所員の語る處に依れば

董家溝會煤窯屯の炭礦は大阪の實業家玉手弘氏の所有に係るもので從來數回試掘を行つたが遣り方が不徹底の爲め成功せず、昨年來當鑛業所の手に依賴されて試掘中の處今回有望炭層を發見したものである、所長不在の爲め詳細なことはお話出來ないが、關東廳でも非常に注目して居る模樣で成功すれば將來同地方發展上にも關係があると云ふので一兩日前は森重金州民政署長自ら實地を視察し、また今明の中には關東廳より專門技師が出張して視察する事になつてゐる、玉手氏も急報に接して來滿して居たが此の發見に基づき準備を整へるため昨日一應歸阪、近く再び來滿し愈よ本式に手掛りの採掘に着手する筈であると

各市場共休業　十日の神社祭

十日は大連神社春季大祭につき特產、錢鈔、商品、株式の四市場及び大連組合銀行は定例により休業する

東拓會社の定時總會　廿一日開催定　款變更等附議

【東京八日發電】東洋拓殖會社では廿一日午後二時より本社にて定時株主總會を開き左記諸件を附議する筈

一、配當、政府持株を除き年五分の据置きの件

二、別項監査役後任選擧の件

三、退任重役に慰勞金贈呈の件

四、左記事項定款變更の件

（一）定時總會期を二月及び八月の兩度に改む

（二）營業年度を一月一日より六月三十日迄及び七月一日より十二月三十一日迄とす

（三）政府所有株式に對しては昭和二年度以降昭和六年度迄の每營業年度の利益配當に限り其の他の株式の配當より年五分低き配當をなす

（四）昭和四年の營業年度は四年四月一日より同十二月三十一日迄とす

高橋正隆常務

正隆銀行高橋常務は營口、鞍山兩支店の業務視察のため十日發の列車で出張し十二日夜行で歸連の筈

黄塵

◇…官營存續、單獨民營、二社合同、三社合同、謂ふ所の取引所問題の中にはいろ〳〵な意見、いろ〳〵な分子が錯綜して居る。

◇…隨つて官營存續運動者の中にも單獨民營希望者あり、また民營運動者の中にも單獨說あり、合同說あり。

◇…各自分勝手の立場から入亂れての主張であり、運動であるから、やゝこしいと夥しい。

◇…斯うなると往年の金銀染め分けの方が餘程始末がよい。

◇…もつとも、それ等渦中の人達は、何れも絕えずドテン賣越とか、ドテン買ひとか、轉換するのが商買。

◇…主張の轉換も、運動の錯綜も、その商買柄、或は環境からして「當然のこと」と考へてるのかも知らぬ。

團體めぐり（吉）

滿洲財界打開と金融制度改善
…商工會議所の巻（七）

創立この方無風帶であつた會頭の椅子を、大連の財閥二つに分れ、未曾有の奪ひ合を演じたといふのだから時代の風潮は爭はれない、片や佐藤派、片や古澤派の血の出るやうな戰鬪の結果會頭の椅子は佐藤君に廻つた、そして副會頭に高田友吉、塚本貞次郎の兩君が据はつた。

◇

會頭としての彼の眞價如何などといふ小難しいことはさて置き、大連財界に人多しといへど、果して他にどれほど變り榮えのする顏があるか、兎も角、佐藤君は明治二十四年和佛法律學校を出、事業に失敗すること數度、お茶屋の帳場さんたる落魄の境まで入りながら、今日の地位を得たのだから、彼も亦たゞの鼠ではない、商議の前身實業會時代から幹事で通し、大正四年商議創立と同時に、推されて理財部副長となり、同六年副會頭の榮職に擧げられてゐる、君の財界人たる名も、既に相當時代色を帶びてゐるが、それだけ彼の存在を認めない譯にはゆかぬ。

◇

佐藤君が會頭の椅子に就くや、滿洲財界の建て直しは先づ金融狀態の改革より始めなければならぬと信じ今や懸命に滿洲金融界の病弊回復に努力してゐる、謂ふ所の金融制度の整備改善がそれである、鮮銀、東拓其他の如き特殊金融機關が一滿洲財界の表裏に明るく、その使命を沒却して統制を缺ぎ、折柄押し寄せた戰時の好況に有頂天となり、砂上の樓閣に夢の如き亂舞を演じた尻拭をなすのが今日の急務である、滿洲金融制度整備改善の一方法として鮮銀東拓の業務を繼承する滿洲中央銀行設立の急を說き、一昨年全滿商議聯合會で之を決議し、上京委員を派して政府要路に猛運動を行つたことは周知の通り、今回この調査の目的も多分に含まれて、黑田大藏次官一行の來滿を見たなどは、大連商議の努力の跡も充分窺はれる。

◇

最後に是非共特記せねばならぬのは、井上初代會頭以來三代の會頭に仕へて、滿洲財界の表裏に明るく、生字引として或は稀に見る活動家として、珍重がられてゐる書記長篠崎嘉郞君のことである、其篠崎君の云ひ草ではないが「大連商議は一國の政府ですべき仕事をしてゐる、金融制度の根本改革はどうであるとか、稅制度は如何にするとか、或は滿洲產業の開發は何うであるとか」いふが如く…この意味に於て東京、大阪の大商工會議所よりその負ふ責任は誠に大きい。その大連商議で、多年、各會頭の帷幄に在つて、倦むところなき努力を續けて來た篠崎書記長の隱れたる功績に對しては、此の際十分の敬意を表さなければなるまい。（大連の項終り）（寫眞は篠崎書記長）

市況

特產　概して手堅　高粱は小弛

今朝差したる特異の事情なきも銀安を眺めて、各品共概して手堅く休日控へながら場面は比較的に賑つた、しかし高粱先物は小弛み大體昨場の地合にて大引

◇定期前場（銀建）

▲大豆（强調）單位厘　▲豆粕（保合）單位厘　▲三等大豆（出來不申）　▲豆油（强調）單位錢　▲高粱（軟調）單位厘　▲包米（不申）

◇現物前場（銀建）

▲雜穀出來値（八日）　▲白眉豆（虎老塞）　定期喰合高（八日）

錢鈔　前場（暴落）

今朝の海外材料としては倫敦銀塊二十五片十六分の五と（十六分の三安）先物二十五片十六分の五と（四分の一安）紐育五十四仙二分の一と（二分の一安）孟買五十七留比八分の七と（十六分の一安）滙內七十一兩七、大洋九十錢、爲替は日米四十四弗四分の三と（八分の一高）米日四十四弗八分の七と（四分の一高）英米ダはは八十五仙十六分の三と（同事）上海標金は三百六十五兩一分の一安）米支六十弗二分の一と高寄りしてアト續騰を示したので當市の銀價は崩落を演じた

◇定期取引（單位錢）　◇現物取引（單位錢）

商品　前場

麻袋（保合）產地錢四分一安爲替三分の一安にて氣配弱保合を傳へたるも當市華商側の買支へにて保合裡に散會した

株式　五品も弱含　內地呆檜に

北濱の諸株は二、三十錢安のボヤリを報じて當市も人氣冴えず五品は二、三十錢安、新豆、錢鈔も弱含み商狀を呈した現物の內地株も軟調を辿り閑散裡に散會した

◇定期前場　◇現物（甲部）　◇現物（乙部）　後場（弱含）

市場電報（九日）

銀塊及爲替

棉花

◎米棉（換算三〇錢安）　◎印棉

大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　神戶豆粕　横濱生糸　印度麻袋

奧地市況（九日）

上海爲替情報

手形交換高（九日）

爲替相場（九日正午）

上海標金

株　豆　銀

金剛呪門 (233)

山中峰太郎作　小田富彌畫

仇は時代にあり

路の上に泣き崩れた三人、その傍に見知らぬ一人の女、そして北辰の小天狗と、五人とも自分の方を振りむいたのに、

……なんだい?、あの小僧、あのお寺で、おいらに楯をつきやがつた、なかなか賢い小僧だぜ。が、どうしたツてんだい?

と、虎三少年、路の角に立つたまゝ、すまして胸を組しめた。

……どうせ見つかつてるんだい!、構ふもんけエ!

と、こちらから敦彥を眺める虎三の顏を、ジツと見つめたお君が

「あツ!、あれは、……」

ほとばしる樣な聲と共に、ハラハラと虎三の方へ走り出した。

……おやツ?、なんでエ?

と、腕をほどいた虎三、唇をむすぶと、おもはず身構へた。

走りよツてきたお君、虎三の前に立ちどまるや否や、聲をかけた。

「おまへ!、江戶からきたんではないかえ?」

「チエツ、さういふお前さんは誰なんでエ?」

「おゝやはり江戶から來たのだ!、おまへは、名を何といふの?どこの生れで?親御はえ?」

「な、なんでエ?、おいらは!」

「親無し子だよ、おいらは!」

「まあ!、おまへ、手首を、手首を見せて!」

と、狂はしく虎三の左手を取りかける

お君を、

「なんするんでエ?」

と、振り拂つた虎三、パツト後へ飛んだ。

「お待ち!、おまへの手首に、大きなあざがあるならば、……」

と、聞くと、虎三、ハツと手首を後へ隱して、するどく眼を見はつた。

「お前さん、誰でエ?」

「おゝその眼に、わたしは、見覺えがある。おまへ!、あゝ手首にあざがある筈、さあ、こゝへきて

お見せ!、わたしは、お前のことを、一日も……」

「えゝツ、何だと?」

「おまへ、虎三ではないかえ?」

いゝえ、きツと、虎三にちがひない」

叫びながら、なほも步みよるお君の顏を、ジツと見あげた虎三、ヘツと血相をかへると、

「それぢやア、おいらを、佃の親分の家の前へ捨てたのは、お前さんだな?」

憤りと懷しさに身ぶるひした虎三、お君を見すえて立ちすくみながら、

「おいらに着いてた守り袋の中に名を虎三とつけてくれツて、女の字で書いてあツたさうだが、……おいらのお母が、お前さんなら、なんて不人情なんでエ!、おいらは、そ、そんな情知らずのお母に今さら逢ひたかねエんだい!」

「あの少年が、おまへの子だと申すのかな?」

と、敦彥、眉をひそめながら、步みよつてきた。

「はい、……後生でございまする、どこにをりますやら?、どうぞ、今一度、……」

とお君は振りかへつて、敦彥を拜まぬばかりに、おろおろと見あげた。

「ウム、所司代の邸に、佃といふ者を、尋ねて行くがよい。しかし今見れば、あゝして逃げ去つたではないか?」

「はい、……情ないことに存じまする。あれが四つの時、わたくしは、しがない稼業をいたしてをりまして、あの子が足手まといになります所から、……」

「仔細は何れとも、逢ひたくば、今申た佃といふ者のもとにをるのだ」

涙をためて啖呵をきると、クルリと後を向いた孤兒の虎三、

「待つて!、お待ち!、お待ち!」

と叫びつゞけるお君をそのまゝに、振むきもせず走りだした。

その後姿を、見つめたまゝ立ちすくんだお君が、追ひかけようとして足が動かずに、よろめきよろめき涙と共に身もだえした。

と、言ひきつて後を振り向いた敦彥、

「繫がる因緣と見える、仙三郞とやら、御父の仇を思ふまいぞ!、卿を手にかけた者はの、今の少年ではない。時代だ!、時代だ!、今に、時代が時代に仇を報しようぞ。獅生、さらば!、堅固にすごせよ!」

悠容と聲をかけて、北辰の小天狗、祇園の町を立ち去つた。

少女歌劇座 今夕開演 舞臺中繼放送

レヴユウ「昭和行列」十景や支那歌劇「舞姬李花」と言ふ新曲目を提て日本少女歌劇座一行七十餘名は昨夜の急行列車で陸路來連したが、本日市中を挨拶廻りし、愈今夕から歌舞伎座に於て開演するが一行中山路妙子、兒島光子は少女歌劇界に於て双壁と稱せられ山路妙子はダンスを得意とし兒島光子は美しいアルト唄手である、其の他に澤喜代子坪井露子の幹部級を加へた此の一座が織出す曲目は前記の外に樂的時代曲「自雷也」喜歌劇「銀座行進曲」等であり何れも春宵に相應しい曲目のみである、特に九日午後九時頃より支那歌劇舞姬李花の舞臺中繼放送をすると

週報編輯悲鳴

嫌ぢやありませんか

(三)　津田皓三

—D—

それで曾て私はニユース蘭を開放して適當な原稿を募つた。中に二三こんなのがある。御披露に及ぶと

「僕等夫婦は映畫藝術に對して多大の讃美論者で……彼女は僕同樣に長二郞を愛し僕もまた彼女とそして田中絹代を……今宵も彼女の懇望にて……」

と思へば未だひどいのがある。「妾はモガなのよ、先日Tの歸りに同車のさる男のキネマフアンの方と、私の落したTの週報を拾つて貰つたのを機會に色々話をして全く愉快に……きつとあの方は松竹黨……妾」

なんてのがあつて沙汰の限りである。

長浪速館主が日活との新契約書を握つて意氣揚々と歸連し之で一段落だといふので▲近く館員其他關係者を招待して星ケ浦で盛大な運動會を催し▲途中は自動車數十臺を連ねて示威運動をやらうと計畫中▲それから今後は大に興行に力瘤を入れ先づ「東京行進曲」を內地封切と同時に上映、其次が「秀吉」▲ところで大連映畫界の流言蜚語であるが、これがため悲喜劇續出で所謂秘話が多いこと▲學生デーに次いで「ザンパ」を樂學會の肝煎りで兒童に見せやうといふ話がある

澤正と月形半平太

思ひ出を語る

故澤正の映畫「月形半平太」が來週演藝館に上映される、澤正の更に思ひ出の深い映畫である、映畫に於ける澤正が再めて認められた作品であり、澤正の映畫中傑作として賞讃された作品である、最初に「月形半平太」を見たのは大正十三年、場所は京都のマキノ映畫の封切館マキノクラブだつた、それから今日まで日本の映畫界は素晴らしい發達をとげてゐる、例へばその當時は移動撮影や二重轉換の如き撮影技巧は未だ用ひられてゐなかつた、然し映畫「月形半平太」は今日の映畫に比較しても決して甚だしい見劣りのする作品でない、再びニユープリントの「月形半平太」を見て今更乍ら衣笠貞之助監督が非凡でなかつたことが泌々と思はれる。

當時の人氣は獨り澤正の人氣の如く考へられたかも知れないが、この作品には澤正の人氣以外に映畫としての良さがあつたのであるいま「十字路」を携へて歐洲にある衣笠貞之助がこの作品によつて示した監督手法は當時の映畫—例へば松之助映畫と比較する時、何といふ素晴らしさだらう。

又この作品はいろいろな意味で過去の我映畫界に忘れられない聯合映畫藝術家協會の第一回作品である。

そしてまた撮影當時、澤正が京都の南座に出演してゐて、芝居が閉場た後で等持院の撮影所にかけつけて殆ど夜間撮影のみで製作した故人の奮鬪の跡が遠くから眺めてゐたアークの薄明りと共に思ひ出される、そして返すがへすも澤正が遂に滿洲に來演せず逝つたことが惜まれる。

今年こそはと宣傳され乍ら遂に姿を見せなかつた澤正の俤を偲ぶに適はしい彼の十八番物「月形半平太」である。

「あれ月さんが」のタイトルに次いでスクリーンに姿を見せる凜々しい月形に扮した澤正の面影、欄上の殺陣、中川芳江の狂女、文字國重の中井哲、染八の久松喜世子……そして最後のあの物凄い一場面づゝ出て來る辻斬りの光に新國劇獨特の大立廻り、更に端役岡野三郞、七卿落の護衛武士に扮した國德磨の淋しい姿、夜櫻の場面の舞妓の岡島艶子、三枚目の新見映郞の大部屋時代等々思ひ出の深い映畫である。

滿洲日報

晩近 初等數學講座

本日締切！

第一巻配本後遽かに激増せる申込は 本講座の面目を語るものに非ずして何ぞ

即刻入會せよ

數學を愛好する人よ！ 本講座によつて諸君の數學力は加速度を以て進歩しやう。

數學の不得手な人よ 本講座は諸君の悩みは容易く解によつてるだらう。

今直ぐ書店に申込め 御多忙の方又は郵便局や書店に遠き方は取り敢へず葉書で本社へ申込み後から送金せられよ！

内容見本進呈 本紙を見て見本を請求せられる方に限り入手後の申込みを許す。

東京・神田・南甲賀町 共立社 振替東京六〇七四 電話神田二六二四

鐵道用品 附屬品 車輪 製作

車軸が折れず 空廻せず チルド完全なる

製作迅速 在庫品有 御入用の際は是非御照會被成下度候

大連市近江町 鳥羽洋行鐵工部 電話[illegible]一六八八

ハルピン、カワラスキー工場製 ベニヤ板、ベニヤトアー各種 満鉄一手販賣店

角材板材其他

永興號木材部 大連市惠比須町二六番地 電話 一五〇六二 八四五八番

新譜發賣 第二回

パルロフォンレコード

故桃中軒雲右衛門入道吹込

遺曲レコードの誕生

南部坂後室雪の別れ	貳枚	參圓
大石山鹿護送	壹枚	壹圓五拾錢
大石生立(養子)	壹枚	壹圓五拾錢

外和洋レコード數拾種

弊社に於て苦心の結果現在吹込と聊かも變らざる見事な出來榮えにて甦生致しました。必ず御滿足を戴く事と確信致して居ります。

五月一日發賣

滿洲總代理店 大連伊勢町浪速町角大成館 大興公司 電六二二五 振替大連四四二五

「文藝倶樂部」六月號

暗黒街巡り

あかいひまねく

闇に蠢く妖しき物言ふ花！

[illegible]

◆へん、何が傳明だい！ 鹽を撒れて逃亡(東京) 鈴木[illegible]

◆男二人に女一人 墓場の側の肉の家…(名古屋) 奈良[illegible]

◆遠い親戚に當る女 赤い壁の部屋…(京都) 中野英治

◆しつかり傳授を頼む 茶の湯師匠の看板(大阪) 新井淳

◆旅の恥はかきすて 公園の中の逢曳(新潟) 小林十九二

◆日本人を相手にする 混血兒の美人達(長崎) 押本映治

◆彼女は勇敢に片足を擧げた 言葉が解らぬが殘念(大連) 岡田[illegible]

◆支那の夜は更けて 艶ひかゝる夜の嘆き(上海) 齋藤達雄

此外岡田時彦(神戸)、山内光(横濱)等 實に素ばらしい！ 目もあやなる大繪巻!!

情痴好色 西鶴五人女

原文に滲漫せる情痴の雰圍氣を隈なく描き出せる近來の大收穫!! 君よ酔ひ給へ

◉但馬屋お夏(山川秀峰畫)
◉八百屋お七(神保朋世畫)
◉大經師屋おさん(小田富彌畫)
◉樽屋おせん(大橋月皎畫)
◉琉球屋おまん(刈谷深隍畫)

◉情炎悲戀 鹿子狂亂 本田美禪

◉妖氣夢幻 化け銀杏前 長谷川伸

抱きつく溺死者 小酒井不木

(文壇期待の名篇 不木博士の紹筆) 嗚！ 銀座裏の怪事件！

[illegible] 『おい、おい、君々』と肩を掴れば！ 死んで居た!!

(俠劍人氣男) 旗本退屈男 佐々木味津三

劍妖鬼氣 辻斬り大納言 渡邊默禪

人氣集中！ 文藝倶樂部 六月號 定價五十錢(送料二錢) 東京市小石川 博文館

印刷一般 大連日日社印刷所

滿洲日報 立直すべき滿洲の金融界

黒田大藏次官一行の來滿に際し、全滿商議代表者が大連商工會議所において黒田次官と親しく會見し、滿洲金融改善に關する意見を陳述したのは、洵に機宜を得たる措置と謂はねばならぬ。回顧すれば、滿洲における金融界の整理、統一、改善の聲は大正三年頃より起り、爾後も間歇的に商工業者を中心として叫ばれたるも、其の目的は竟に達せられなかつた。それ程に滿洲の金融問題は複雜なる事情と波瀾曲折に富んだ歴史を有してゐるのであるが、今こゝに其の概要を述べて見るのも、敢て無益の業ではあるまい。

◇

全滿商議代表者が黒田大藏次官に陳述した意見の中に見ゆる如く、中央銀行の設置と不動產銀行の創設とは全滿商工業者の抱ける多年の希望で、この二ツの問題は大正四年の大隈內閣時代に衆議院の議決を經た程である。然るに此の滿洲における金融機關の整理改善に關する法律案は、朝鮮に根據を有する朝鮮銀行と東洋拓殖會社の策動に妨げられて、貴族院で握り潰されると云ふ不幸なる運命に逢着した。次いで大正六年の寺內々閣時代に、首相寺內伯が朝鮮總督であつた緣故を辿つて、朝鮮銀行と東洋拓殖會社とは大手を揮つて滿洲に進出し來り、之れより先、事實上の滿洲における中央金融機關であつた正金銀行の金券發行權を鮮銀の手に、不動產特貸の權利を東拓の手に奪ひ取つてしまつた。比較的單純であつた滿洲の金融界はこれより複雜となつたのである。

◇

現在はどうか知らないが、當時の中央政府の考へは、在滿商工業者の希望する中央銀行は朝鮮銀行を以て、不動產銀行は東洋拓殖會社を以て、それ〴〵之れに當てると云ふ方寸であつたらしい。然るに此の期待は其後殆んど裏切られた。數年前、關東廳當局の人までが心配して滿洲に不動產銀行を設けやうと努力したが、それは長期低利の拓殖資金を供給すべき東拓がその本分を盡さなかつたからで、殊に今日の東拓は滿洲に餘り重きを措いてゐない傾向が歴々と見える。鮮銀の滿洲に對する態度も支店制度の下にお茶を濁してゐるに過ぎず、殊に近來の消極ぶりは言語道斷であつて、滿洲における中央銀行たる資格と威力は全くないと云つても過言ではない。從つて鮮銀と東拓の滿洲進出はその金融界を却つて不統一にしたのである。

◇

鮮銀と東拓とが今日の如き狀態になつたのは、事情諒とすべき點あるも、事已にこゝに至つては、滿洲金融界の上に改めて一轉換を圖るの外ない。全滿商議代表者が來滿せる黒田大藏次官に對し滿洲金融改善に關する意見を開陳したのは當然で、重ねて中央銀行と不動產銀行の設立を要望したのは、亂雜にして不統一なる滿洲の金融界を整理改善するため、極めて當を得たものと謂はねばならぬ。上記の如く、滿洲の金融界は複雜なる事情と波瀾曲折に富んだ歴史を有つてゐるから、之を整理、統一、改善することは容易の業でないが、滿洲の中央銀行たるべき鮮銀と不動產銀行たるべき東拓とが已にその資格と威力を失つた以上、當初に立戻つて新たに滿洲の金融界を立直すことにせねば成らぬのである。

◇

滿蒙の產業開發といふ意味から云へば、土地商租權、鑛山採掘權その他謂ゆる既得權益が一も實現しない今日、金融界だけを善くしても餘り大した効能はないかも知れない。既得權益が實現されて、日本の經濟力が南滿洲と東部內蒙古へ廣く大きく伸びて行くことになれば、中央銀行も不動產銀行も自ら出來るやうになつて、整理、改善、統一も自然と擧がる事になるであらう。併し現狀ではそれを待つことも聊か迂遠の感なきを得ないから、出來得る範圍內において、滿洲金融の整理をやつて貰ひたいのである。

勞農が馮を牽制して 支那擾亂を企圖

蒙兵と回教徒とが共に起てば 馮玉祥の地盤大動搖

聯合軍が省城を占領

【北平前田特派員八日發電】蒙古人と回教徒の聯合軍が去月十四日寧夏省の首府寧夏城を襲撃し省政府主席門致中氏の軍敗れて蒙回聯合軍が省城を占領してから既に二十餘日を經たが、聯合軍の威勢益々振ひ、馮玉祥氏は非常に憂慮して陝西から大軍を向けて討伐せんとしつゝあるも、今の所手の着けやうがない狀態である。然るに一般は單に蒙回の匪軍が猖獗してゐるといふ支那側の糊塗的宣傳をそのまゝ信じ眞相を知るもの稀であるが、確實なる消息に依れば決して斯く單純なものではない、元來寧夏一帶は舊內蒙の阿爾善盟の領域であつて、人民は久しく獨立を企望し居り昨年も獨立運動を起し之が爲め

一王族は殺害された

事實があり、復讐の念に燃える同地方の蒙古人二千は、去月初め遂に大擧して寧夏を攻め、之に馮玉祥軍の極端なる壓迫と搾取に憤激してゐる回教徒一千が參加したのであつて、蒙回軍に數倍する兵力と精良なる武器を有する馮玉祥麾下の精鋭門致中軍は、漢民族の蒙古兵に對して持つ先天的恐怖心から蒙兵來の際に怯えて一堪りもなく潰走したのである、茲に注意すべきは此運動の背後に勞農露西亞の魔手が潜んでゐることである、即ち勞農は一方馮玉祥を援助し乍ら

支那擾亂を企圖し他方

爲め此種の運動に手を廻してゐるのであつて、現に之と關聯して呼倫貝爾も再び不穩の情勢を呈しつゝある、寧夏事件が擴大して陝西甘肅の回教徒が團結して起てば、勞農は積極的に援助するに至るべく、然る時は馮玉祥の根本地盤に大動搖を來し支那全局に非常なる影響を及ぼすであらう、寧夏事件を蔣介石が馮玉祥の後方を脅かす爲めに閻錫山の手を通して蒙古人を煽動してゐるのだとか、或は馮玉祥が蔣介石に對する

戰爭準備上

寧夏事件を口實にして軍隊を移動してゐるのだとかなどゝいふ說は臆測に過ぎず事實は前清咸豐年間の回教匪の騷亂の二の舞を演ずるやも計られぬ性質のものである

遼寧官場 大異動か

翟主席李市政公所長等辭職

【奉天特信】既電の如く支那側では遼寧省政府主席翟文選瀋陽市政公所長李德新兩氏の辭職により大異動が行はれる模樣であるが瀋陽市政公所長に任命される高鹽務使の後任には何哈爾濱公安局長が任命されると

東邊警備を充實

安東に警備司令部設置

【奉天特信】東邊防總司令部では東邊防一帶の充實を期する爲め更に安東に警備司令部を設置する事となり警備司令に東邊鎮守使于芷山に副司令に丁喜春を任命した

東北軍官大學

講武堂が改稱

【奉天特信】張總司令長官は從來の講武堂を改稱して「東北軍官大學」となし五等級に別ちて教育訓練を爲す事と成つた由

遼寧省軍政職員の官等統一

南京政府より命令

【奉天特電】遼寧省政府主席代理陳文學氏は七日所屬各縣の長官に對し南京政府の命に依り南北軍政職員の官等級並に俸給規程統一の計畫上必要につき在任官以上の人員並に俸給等來る六月十五日以內に報告すべき旨訓令を發した、因に該官制としては簡任、特任、委任、薦任の四官である由

兵工廠の用度事務を改善

【奉天特信】張學良氏は今回兵工廠に於て購入する諸材料は總て納入者を詳記し更に毎日製造し得る能力數量等は逐一報告を爲さしめ其他計數的のものは逐一報告方を命令した

中等教員檢定試驗の受驗者

中等教員檢定試驗は八日午前八時から關東廳會議室で施行されたが當日は長谷川泰造(大連)教育池上等(奉天)佐藤武(師範學堂)本田秋義(營口)丸野武雄(普蘭店)の四氏が佛語を受驗した、試驗は九日から十二日の日曜を除き毎日午前八時から開始され十七日で終るが、受驗者は左の如くである

英語玉木輝信(旅順)英語、法政經濟藤井啓輔(大連)物理調辰美(教事)化學藤哲造(奉天)植物小島忠三(奉天)藤田謙次(撫順)鑛物尊出是(奉天)野田光雄(開原)堀文吾(奉天)法政經濟岩永行男(熊本)近藤豐(旅順)鈴宮勝(大連南山寮)濱田默平(奉天)松吉清(大連)和田耕(大連)習字梅田延義(鞍山)須藤濟(同上)西洋畫、用器畫中川道之(奉天)體操小倉尚武(奉天)坂本次人(大連)體操馬場學(旅順)手工川原熊五郎(安東)濟淵豐太(長春)望月兼吉(撫順)山本又次郎(奉天)井原譽策(鞍山)法政經濟、手工各五名その他で合計卅一名であつた

編遣區指導員

吳氏以下奉天へ

【奉天特信】第五編遣區指導のため中央執行委員吳鐵城氏一行五名は八日午前十時平奉線にて北平より來奉、瀋陽驛には文武各官多數の出迎へあり直に自動車にて同澤倶樂部に入つた

第三回 大連市民運動會

來る五月廿六日擧行

午前八時より大連運動場にて

一、參加規定及申込

(1) 個人申込 參加希望者は一種目毎に往復はがきに住所、氏名、年齡、職業及競技種目を記載して申込期限內に申込むこと但學生は一人二種目以內とし一般は三種目以內とす

(2) 團體申込 小學校兒童及學生は各學校毎に取纏め申込むこと一流選手及之と同等と認むるものは參加を遠慮されたし

(3) 一種目毎に各團體より一組宛とし代表者より申込むこと但一人一種を兼ぬることを得ず、A一七歲以下 B一八歲—二五歲 C二六歲—三五歲 D三六歲以上但五〇〇米は此限にあらず、小學校兒童は學年別とし中等學生以上はなるべく學年を標準として組合せをなす

一、競技種目

(1) 團體運動 團體遊戲、合同體操、教練、ダンス

(2) 競技 A個人 イ、トラック一〇〇、二〇〇、四〇〇、八〇〇、一五〇〇、五〇〇〇 ロ、フイルド、砲丸拋、走幅跳、走高跳 B團體 一般四〇〇米リレー、一六〇〇米リレー、學生一〇〇〇米メドレーリレー

(3) 其他(學生は出場せず)提灯競走、スプンレース、重荷競走、二人三脚、綱引、假裝行列

一、參加證 往復ハガキにて申込み復信を以て之に充つ、當日持參して出場の際係員に提示すること(小學校兒童及學生の參加證は一括して之を各學校宛に送附す)

一、申込締切 五月十五日限り

一、申込所 大連市學務課(電話八四五四番)

主催 大連市役所

後援 滿洲日報社

南征雜錄(14)

サンボウロ市にて 難波勝治

ブラジル(十四)

同地方在住者の言をきくに、カフエ樹の出來榮は到底サンパウロ州の及ぶ所でなく、ノロエスト邊で平均十六パルマ(三米突五二)となつて居る樹間距離も、カンパラ地方では二十二パルマ(四米突八四)より近くは植付られぬ、畢竟それだけ果樹の繁茂力が盛んな譯で、七八年生樹の採收には二間梯子を要しサンパウロ州に於て毎千本の採收量平均四十乃至六十アロバ(一アロバは我が約三貫八百四十匁)なるに對して、二百アロバ乃至それ以上の良成績を得て居るさうである、併しカフエ栽培熱の昂進は聊か附和雷同の傾向を濃厚ならしめ、標高地質の如何に拘らずカフエならでは夜も日も明けぬやうに思はせて居る、即ち從來適地はテラ、ロシヤ若くはテラ、マサツペの一種で、而もそれが海拔五百米突以上とされて居たのに今やアリアンサの如き標高僅か三百米突足らずの砂土地帶すら先を競ふてカフエザルの仕立に忙殺されつゝある

◇

尤も從來金科玉條視された地高土質標準も、果して中部ブラジルの何處にも應用さるべきや否やは疑問で、今日までの成育振りでは決して悲觀するに及ばぬらしい、唯要點は樹枝の繁茂と結實量の比例、並に收穫量の持續性如何等にあつて、そうした諸條件の確認は之を五年十年の後日に俟たねばなるまい、又目下識者間の問題となつて居るのは日本人のカフエ園賣退きだが、折角これまでに築き上げた農業地帶を手放して金に代へその買主の大部分が外國人であるなど甚だしく日本植民の基礎を弱める者である、左れば伯國人中邦人現時のカフエ熱を一は羨み一は嘲り、日本人は耕地仕立者であつてフアゼンデーロ(地主)ではないと冷評して居る程だ、蓋し目前の事功を急ぎ易い國民の一大反省點であらう

◇

斯したノロエストの評判は私に大なる期待を以て奧地視察に出掛けさせた、時は十月二日午後八時四十分、幸ひ最近備後丸で渡來したといふ小笠原省三君と同車し、寢臺に潜り込むまでの二時間計りも食堂車で費した、小笠原君は神道家で日本植民地の宗教狀態を視察するのが目的だと語つて居たが、バオルウに着いたのは翌朝十時十分、ホテル、ジヤポネズと銘打つたペンソンに落着き、其處で偶然會見した豐富發揚君の案內で聖州新報社を訪ひ、更に社長香山六郎君の私宅に赴いて晝食の饗を受けた、香山君も谷子夫人も七年前と露かはらぬ元氣と親情とを以て歡待して呉れたが、變つた者は子女の成長振りと社業の改善とである、曾て町はづれの粗造家屋に陣取つて鐵筆版の刊行物をデツチ上て居たのが今や小規模ながら機械設備を完成してノロエスト人の爲に氣を吐く處、バオルウ市その者の膨脹と共に著しい進歩である

◇

初めて香山君に會ふた時、私はての信條であり又實況である言論機關はグロウすべくしてメークさるべきでないと云ふ愚見を述べたが、私の此主張が如實に七年間の聖州新報發育史に具象化されたのを見て愉快に堪へぬ、さはれ此機會に一言したいのは邦字新聞の現狀である、目下ブラジルにはサンパウロ市の日伯新聞、伯拉西爾時報二紙とこの聖州新報と三箇の言論機關があつて、そのうち社主腦者の閱歴からいへば時報の黒石清作君が第一の古參、次が日伯の三浦鑿君といふ順序である、此等の諸紙は何れも半折八頁の週刊物で、大都會を背景とするだけサンパウロ市の兩新聞は取材營業の二方面に多くの便宜を有し聖州新報が在住邦人の少い田舍町バオルウに僻在するの比でない、唯だ併し後者の强味はそのノロエスト線てふ農業地帶の咽喉を扼する所にある、カフエ樹四百萬本が成熟すれば、之れを中心として千戸內外の商業市場が存在し得るとは、ブラジルに於けるカフエ產地を通じ

◇

左れば昭和二年度に既に二千百萬本のカフエ樹が、邦農三千三百十二家族の手に所有され經營されたノロエスト線は、一聖州新報が據つて以て筆陣を張るに足る强い勢力である、有體にいへば三新聞とも輪奐に於て發行部數に於て未だ共に大を誇るに足らぬ、況んやこの分毫の時を爭ふ時代に當つて週刊を固守するをやであるが、其處には猶初期の植民地事情並に言論機關の財的障碍等があつて、輕々に門外漢の是非を准さぬことと論である、併し私はそうした保守主義の持續が、漸次一般在住者に不滿足を感じつゝある事を、注意すべき一反影だといひたい、午後二時私は日本領事館に多羅間領事を訪問し、その晩私宅に招かれて夕食を共にしたりしたが、領事夫妻とうらなく懷舊談に耽る中にも、前年不慮の橫死を遂げた星名謙一郎君の噂に最も多く花を咲かせた(寫眞は多羅間領事)

滿洲日報 地方版

奉天

南滿教育廿周年記念祝賀會
中等學校長會議で決定した各種事項

既報の如く滿鐵中等學校長會議は平野學務課長臨席の上七日奉天中學校に於て開催され本年施行された無試驗入學考査その他について協議する處あり更に八日は關東廳關係學校長出席の上全滿中等學校長會議を奉天高等女學校に於て開催し前記問題につき打合せをなしたがその結果左の如く決定したと

一、南滿洲教育二十周年記念祝賀會は今秋九月廿一、二、三の三日間旅順一中にて盛大に開催し同時に南滿中等教育研究會も同期日に開催すること、廿一日は

年）宮地勇（同）佐藤信孝（同）吉田金一（八年）掛上東洋史（七年）伊馬場太四郎（同）金子實（七年）伊藤敦二（八年）

▲五年以上勤續者　西澤武雄（五年）北川德次郎（同）寺尾幸造（同）丹波庄四（同）青山秀夫（六年）本田貞雄（五年）武田繁雄（同）島田良治（六年）上辻武堂（五年）西方祐二（同）並川武男（同）

▲三年以上勤續　平井爲治（三年）村田久治（四年）窪田爲友（三年）吉田壽治（三年）藥山幸雄（四年）大崎桂一（三年）米島傳吉（同）松

町の便り

た主人杜に發見され取押へんとした處直に宮島町方面に逃走せんとしたが巡邏中の警官に逮捕され本署に連行し嚴重取調中である

原籍平安北道朔州郡有花村朴通明（三）は先年來哈爾賓にあつて出稼中精神に異狀を來し身寄のものなく且つ懷中無一文なるためその筋で保護を加へ新義州の知人の許に送る途中七日夜奉天に到着したので奉天署では更に保護を加へ入日安奉線にて新義州に向はしめた

◇

市內江島町六藤本氏は七日午後零時半頃市場內に於て子供用三輪車を收得しその筋に屆け出た

◇

葵町三張某は七日午後十一時頃自宅に於て支那蒲團外九點價格百圓を盜まる

◇

京城府廳雇員岩佐節夫（二七）は公金七千八百餘圓を又大連江內丑男（二七）は主人の金錢六百七十圓を拐帶し奉天方面に逃走した形跡があるので何れも奉天署に搜査方手配があつた

關東廳が眞相調査に着手
商議會頭問題

前月病院統計

滿鐵醫院四月中の新患者は千四十八名であるがその內譯を見ると日本人男五百八十五人女四百十八人、中國人男二百九十四人女百九人であると

地方委員聯合會に提出案件の成績
勘崎地委議長の談

瓦房店

藤根滿鐵理事

撫順

七人組拳銃强盜
客を裝ひ闖入す
店員六名を縛りあげ金品を奪つて逃ぐ

撫順機械工場番外地雜貨商劉惠順（四八）方に七日午後八時五十分ごろ七人組の拳銃强盜客を裝ひ闖入、五尺五寸卅三歲位辮髮綿衣の男は懷中より二十六年式小型拳銃を、二十八九歲黑色單衣の怪漢はモーゼル拳銃を擬し其他二名も各兇器を取出し、殘り三名は外部に出て見張りをなし店員六名を縛りあげ金票二十圓、支那衣類十二點、時計、奉票等取交ぜ金票二百圓のもの强奪逃走した、急報に接し老虎臺派出所より勝又巡査宋巡捕等急行したるも犯人遂に不明

數ヶ所で竊盜

七日午後九時平康里遊廓をうろつく擧動不審な男を逮捕取調べの結果、奉天省生れ住所不定の白鳳山（二七）といひ三月二十四日午後七時頃西三條

ケーブル線四十米突時價八十圓を五月三日午前二時三十分同樣電話線六本時價二十七圓を竊取、守備隊兵に發見追跡され爾來歡樂園にひそんでゐた者であると

不良學生

人事

▲宮崎縣宮崎中學生九十四名入日午前八時三十分の列車にて見學のため來撫午後六時四十分の列車にて奉天へ

▲旅順第一小學校生徒百名　同上來撫、午後六時四十分にて歸途につく

▲京城中學校生徒百八十名　同上

▲福島縣會議員一行十名　同上

煤都餘燼

▲三島中佐（獨立守備大隊長）同上來撫即日離撫

長春

長春商議紛擾解決の方法
非難の焦點たる笠井會頭の辭任が先決問題

雷鳴降雹
降雨量十五ミリ

勤續店員表彰式
野遊會を擧行

副會頭

計畫的

最早駄目

異端者

行商人の惡事

視察團一束

家庭研究會座談會

記者倶樂部淸宴

安東

安東童話協會
愈よ發會式を擧げる
安倍季雄氏來安を機に

當座預金の附利金額を制限
在安の三銀行

間島

學生購入禁止

南海大學の學生不穩宣傳文撒布
撫順視察に名を藉りて

電線泥棒
遂に捕はる

畜産獎勵のため市場設立を要望
撫順縣下、背後地の家畜は悉く奉天へ素通り

豊富な

屠殺數

天津

馮軍の移動
山西攻略の肚か

諸軍の目的

鄭州會議

全軍移動

經濟的打擊

天津居留民代表
境田署長の留任嘆願

山西銀行の紙幣不通
閻氏勢力失墜か

日貨封鎖延期
商民の反感を恐れて

反日會取締嚴重命令
商震政府主席

金州

青年團探勝會

一燈園主講演會

氏子總代會

京城

豊作疑ひなし
今年の播種期は天惠で順調に經過

第九驅逐隊塘沽に到着

主要作物

開原

開原デー
廿日に擧行
大に期待さる

青年聯盟支部第一總會
十四日に開く

旅順

贋造貨幣
著しく増加
開原驛の統計

須貝氏赴任

西部日本水産大會へ出席

コドモページ

童話 繪をかく阿闍梨（一）

江上照彦

前記　すべて良き作はプロローグ乃至エピローグを必要としない。併し作者はとかく是を缺くべからざる物の如くに思ふのだ。蓋しそれは自己の作品そのものに、或は又世の讀者なるものの鑑賞力の程度に不安を感じるからである此處に此の前記を書く理由が、そのどちらによるかは論外として、自分が此の作によつて云はんと企圖した所は、即ち從來の藝術家なる者の態度を描かんとするにあつた。即ち從來自分の腦裡にあつた純粹の藝術家、斯くあるべき藝術家の姿を、自分は旅の沙門なる人物によつて表現したつもりである。

而して一方、美と藝術の何たるかを解せざる俗人を、般若餓鬼、阿修羅、牛頭、馬頭の如き多くの小道具を使つて極力罵倒し、自らも痛快に感じた。

併し、此の際自分の企圖、思想等はあまり大した問題では無い。自分はただ讀者に少しなりとも興味を以て、此の作が讀んでもらへれば、それで滿足である。

町は夕暮でした。晝間は軒の藍や、岩の木や、木々の空洞等にかくれてゐた夜が、此處彼處からこつそりとしのび出て來て、そこら一面の空氣に暗い墨汁をまきちらしてゐました。蝙蝠は小さな惡魔を背にのせて、夕日の光をむさぼり食ひながら町の上を飛びまはつてゐました。

町の寺の鐘が鳴りはじめました。するとどこからともなく其の鐘の音を、糸の樣にたぐつて、一人の沙門が寺の門の前に參りました。沙門は土蜘蛛の舌の樣な朱の衣を着、薄綠の蘆の編笠をかぶり、一本の毛のすりきれた繪筆を持つてをりました。沙門は斧で鯉の背中の樣につるつるした山門を眞白い手で三度叩きました。すると晝より白い眉物に、夜よりも黒い前掛けをした小僧が門をあけて呉れました。

「私は阿彌陀佛の御導きによつて參りました」旅の沙門は申しました。小僧はだまつてうなづいて、旅の沙門を庫裏の方へ案内しました。沙門は清い水に足を洗ひ、蘆の編笠をとつて庫裏に入りました。庫裏には、倶梨迦羅の御像と、紫檀の卓子と、飴色の行燈とがありました。黄金の花臺には血の樣な牡丹が力なくうなだれ、白銀の香爐には唐國の線香が蛇の樣な紫の煙をたててゐました。後の山では梟がはばたきをしながらホウホウと鳴きました。前の泉水では緋鯉が金魚を捕そこねてポチヤリと水音をたてました。すると極樂鳥を畫がいてある庫裏の襖があいて、此の寺の和尚が入つて來ました。

五月祭舞踊

學習室

一番の縣

日本で一番圖書館の多いのは愛媛縣で其の數三百九十六館、中學校の一番多いのは東京で百十三校、小學校で就學成績のよいのは青森縣で百人に對して九十九人七八の割合、少年團員の最も多いのは靜岡縣で其の數八萬四千人、米の產額の最も多いのは新潟縣で年產額三百三十九萬石、最も多く大臣を出した縣は山口縣で二十四人、醫師の最も多いのは岡山縣で人口一萬につき二十八人であると

ニドメノ 大チヤンノタンケン（47）

ハルミチ作　ジラウ畫

ブルハ キノエダニ ツリサゲラレテヰル 大チヤンヲ ミツケマシタガ カナシイコトニハ キニ ノボルコトガ デキナイノデ タダ「ワン ワン」ト ホエルバカリデス

ブルハ オモヒキリタカク トビアガツテミマシタ。シカシ ナンベンヤツテモ ナカナカ トドキサウニアリマセン。大チヤント ブルハ カホヲミアハセテ カナシミマシタ。

ブルハ キノ ネモトニ ウヅクマツテ ナニカ カンガヘテヰマシタガ キユウニ タチアガツテ「ワン」ト一コヱ ホエタトオモフト 一モクサンニ ドコカヘ トンデイキマシタ。

學校と家庭 『母の日』を提唱す

大連基督教青年會　中川竹太郎

「凡ての子よ汝の母を思へ」千九百八年に費府のアンナ、ヂアルブキス孃が自分の母を記念する爲め「母の日」を守つたのが始まりで每年五月の第二の日曜日は「母の日」として今や世界到る處で之を守る樣になりました。米國合衆國の如きは議會に於て公式に此日を「母の日」と定め國旗をかゝげ一般の人々も

此日 を以て母に對し敬意を表示する樣獎勵して居ります。各教會でも此日には母に關する說教がなされます。母の日を象徵する白カーネーションの花は白きは純潔と貞操を示し、其の形は美を、其の香氣は母性愛を、其持續性なる事は信仰と誠實とを示して居ります。我等皆母の子でないものはありません。然るに母の事を忘却し勝ちであります。母が日夜私共の事を絶えず心配して呉れて居ると思ふ時惡い事はしたくとも出來ません。此の日遠く

母に 離れて居る人は葉書一枚でも母に出す事は如何に母を喜ばす事でせう。母の此世にない人は亡き母の事を想ふ事に因つて自己を反省する事もよい事です。家庭では此日は母を主賓として樂しい集いを催す事もよいと思ひます。西洋の諺に「神樣は何處にでも居給ふ事が出來ぬから母を以て其代りとなさしめた」と云ふのがあります。げに母性愛は神の愛を示して居ります。

我國 に於ても、內務省や文部省あたりが此の美擧を認め獎勵されたら世道人心に及ぼす感化は大なるものがあると信じます。大連に於ても獎學會などが卒先して母の日を守り此の日母に關する催しなどすれば母の愛の美はしさが必ずや子供達の胸に蘇へつてくることでありませう。

童謠 雨の夜

武藤一枝

ショボ ショボ ショボ
淋しい雨の音
暗い冷たい雨の晩
シトシト
雨の降る中を
何かゞ歩く
音がする
ショボ ショボ
雨の降る晩は
山の子狸豆狸
酒買ひに
とつくり提げて
濡れ濡れ歩いて
居るのだろ——

メーポール —五月祭に出演する—

赤塚吉次郎

花でかざられたポールの尖から
二十四條の紅白のリボンが
華やかに垂れさがる。
それはまるで大きな花傘のやうだ。
その花傘のまはりには
二十四人の少女たちが
リボンの端を手にとつて立つ。
やがて輕やかな舞踏曲と共に
舞踏が始まると
紅白のリボンはその進展につれて、
編まれたり解かれたりするのだ。
おゝ、その樣の佩と華やかなことよ。
それがたつた一本のポールではない。
廣いグラウンド一ぱいに
三十本も立てられるのだ。
獨樂のやうに廻る花傘で
グラウンドが埋まるのだ。
おゝ、想像するだけでもすばらしいではないか。

朝日校の修學旅行 十三日に出發

朝日小學校尋常六年生百六十名は來る十三日より五日間の豫定で校長以下六名の先生に引率され奉天、撫順、安東方面へ修學旅行を行ふ由

入試存廢委員會

過般第二中學校に於て開催された中小學校長會議に於て入試存廢問題が委員附託となつてゐたが該委員は十三日午前十時より大廣場小學校に於て委員會を開くと

新刊教育書紹介

▲學校學級經營の實際（五月號）農村小學校の擴張、昭和時代と教育の使命、學校園の教育的價値に對する高調點、自治と共訓練、其の他講話資料、研究と主張、創作等（五十錢東京市神田區表猿樂町南光社）

また山東で我が兵何者かに狙撃さる
夜間演習中に行方不明となり七日の夜半坊子で

【青島特電九日發】山東鐵道坊子駐屯の歩兵第十八聯隊は七日夜半夜間演習を行つたが其の際第五中隊一等卒鵜飼常一が行方不明となつたので捜査中の處、八日朝に至り同地三馬路に於て何者かのために狙撃され重傷を負ふて倒れてゐるのを發見したので直に手當を加へた上支那側と協力して犯人捜査中である

大阪のペスト眞性に決る
行幸を前に控へて府當局は大狼狽

【大阪特電九日發】大阪港内の大阪鐵工所附近繫留中の大阪商船貨物船「すまとら」丸（五六〇〇噸）の乘組舵夫田頭喜久一（三〇）は四月二十六日大腿部股間に腫物を生じたが、本月三日疼痛を覺え發熱したので四日西區本田海員掖濟會病院で診斷を受け五日午後一時入院したが僅か二時間餘の三時五十分死亡した、小田同病院長が死因を調べるとペストの疑ひがあり直に港務部と府衞生課に急報衞生課から技師防疫醫等同病院に出張し胃の局所解剖を行ひ試驗材料を採出、動物試驗その他あらゆる嚴密なる試驗の結果九日午前眞性ペストと決定した、行幸を目前に控へて府當局は恐懼狼狽必死となり防疫に努めてゐる、「すまとら」丸は棉花千七百梱を積み三月二十日ボンベイ出帆四月十八日神戸に入港嚴密なる檢疫を受け十九日大阪に入港二十日大阪鐵工所船渠に入り修繕を終へ五月七日出帆の豫定で前記場所に繫留してゐたものである

惡疫續發

【東京九日發電】國賓殿下の御巡遊、聖上陛下の行幸を控へて大阪市にペスト發生し當局は大狼狽の折柄、七日大連から神戸に入港した日本汽船開拓丸に天然痘患者一名發生し更にマニラから香港、上海を經て五日長崎へ入港のエンプレスオブエシア號にも一名の天然痘患者發生したので、いづれも正規の手續を取りたる旨内務省に入電があつたが、エシア號は長崎出帆後神戸、横濱を經て九日すでにバンクーバに向つたので當局は各地の大檢疫を始めた

沖繩からの歸途大村機行方不明
驅逐隊で極力捜査中

【鹿兒島九日發電】八日正午沖繩縣那覇を發し歸航の途についた大村航空隊の三機は荒天に惱まされ増田機は奄美大島附近に不時着水、山中機は那覇に引返したが、須田機は一晝夜を經た九日正午に至るも消息不明で安否氣遣はれてゐる尚目下第二十一驅逐隊で極力捜査中である

渡船顚覆して二十餘名不明

【山形九日發電】九日午前八時半山形縣西村山郡谷地村端づれの最上川押切渡船場より男女三十餘名を乘せた渡船一隻が對岸に渡らんとした處増水の爲め操縦意の如くならず中程にて顚覆し乘客全部濁水に放り出された、之を發見して村民は警鐘を亂打し救助に努めたが辛うじて十名を救ひ二名の死體を發見したが他は行方不明となつたが激流に流され溺死したものと思はる

十七名溺死す

【山形九日發電】既報押切渡船場の椿事は三十二名（三十名とせしは誤り）中十五名救はれ二名死體發見され後十五名の死體は未だ發見されない、顚覆の原因は増水のため船の動搖烈しく激流に押流され全員總立となつたゝめであると

宵祭の賑ひ

大連神社宵祭りの九日夜は雨上りの事とて多少の寒さを感ずれど夕暗迫る頃より老若男女の參詣引も切らず神鈴響く境内は御神樂や相撲、能樂等の餘興もあり、物賣出店は參道兩側に列をなし、市内はまた三味線太鼓に踊り屋臺が練り歩くなどお祭り氣分で賑はつた

五月祭の役員決る

十二日に大連運動場に於て擧行される五月祭は各實行委員により着々其の準備が進められてゐるが當日の役員は次の如く決定した
▲會長石本鏆太郎▲總務田中千吉夫人▲幹事長小泊六翁▲幹事河村晉吉、吉村廸、岡部平太、赤塚吉次郎、村岡樂童、園山民平、國本小太郎、倉井滿弘、松原斧吉、中溝新一、青山捨夫、石森延男、今永茂▲運動係　A主任高山訓導（半輪體操）武訓導（小學生五月踊）隋女史（落霞舞、雛畔月）津上教諭（女學生五月踊）田中教諭（メーポールダンス）鈴木教諭（渦巻行進）荒川夫人（一般舞踊）B係員　福田夫人、小谷女史、石井女史、谷山教諭、八木訓導、原田（クニ）訓導、渡部訓導、武田訓導、山田訓導、森本訓導、武石訓導、石川訓導、原田（ツキノ）訓導、本島訓導▲受附係　岡安夫人、吳夫人、石田禮助夫人▲接待係　田村夫人、石田貞藏夫人▲マイクロホーン係　千葉夫人

沙河口に痘瘡發生
邦人も罹病

沙河口方面にて最近三痘瘡罹病者現はれ既に秋月町一深見謙太郎（六）は去る一日發病三春町一五饒兒（一）は四月二十四日發病何れも七日療病院に入院した

理想的な方法により安奉線八景を選定
藝術家その他の銓衡委員が實地踏査して決る

【奉天特電九日發】滿鐵奉天鐵道事務所では從來滿鐵線中特に風光の勝れた安奉線沿道地方が從來より世間に知れないで居るのを遺憾として今回「安奉線八景」を選定する計畫を立てた、此の選定方法は普く投票に依て募集するやうなことをせず先づ沿線各驛より申告させたものゝ中から十二景を豫選した後、藝術家其他各方面より銓衡委員を擧げて實地踏査を求め合議の上愼重に最も妥當と認められる八景を選定する方針であつて之がため同事務所の海上旅客係は滿鐵情報課囑託の伊藤順三氏と共に視察の途に上つた、尚八景決定の上は之を映畫に收めて廣く天下に紹介すると共に遊覽者吸收のために遊覽列車其他各種の設備をなす管であると

交通事故が近來益々頻發す
常盤橋を中心として四月末までに三十二件

大連市内の交通整理に關しては所轄大連署に於てもこれまで凡ゆる方法によつて宣傳し事故發生の防止に努めて來たが、各種交通機關の頓に増加しゝ就中高速度交通機關の異常なる發展を招來した結果は警察當局に於ける大童の宣傳も効力なく毎日流血の衝突沙汰は限りなく繰返され事故は益々増加の傾向にあるが、大連の心臓部であり最も交通頻繁にして事故多き常盤橋派出所の調査によると同派出所管内では昨年中百十四件の事故ありて重傷三名、輕傷二十四名、損害千九百二十七圓六十錢に達し今年も四月末日までに既に三十二件、即死一名、重傷二名、輕傷四名、損害百六十九圓五十錢に上つてゐる

原因は交通運輸の從業者にして法令を素り或ひは注意を缺き油斷した結果と雖も一般通行者にも交通道德を無視した責もあると

沙河口警察移轉敷地
衞生試驗所側か

沙河口警察署の移轉問題が起つてゐるのは既報の通りであるが、其の後候補地として霞町滿鐵電燈派出所前、水源地横の廣場及び滿鐵衞生試驗所東側の三個所が選ばれてゐる、沙河口一般商家は電燈派出所前の地を希望して猛烈なる運動を起してゐるが見込がなく結局衞生試驗所東側に決定する模樣で、愈敷地決定せば直に工事に着手すべく、其工費は約十五萬圓であると

外山旅團禮狀

この程内地に歸還した歩兵第二十八旅團長外山少將は五月三日衞戍地高崎市に無事歸還し各方面に禮狀を寄せた

滿蒙鐵道驛傳競爭所要時間豫想投票用紙

一、此の用紙を切り抜き時間、住所、姓名を記入して封筒に入れ「開封」で二錢切手を貼り「滿洲日報總務部宛」送付のこと
一、此の用紙を賣るのが目的ではないから餘り頻繁に添付しない、切拔保存して使用を乞ふ（此用紙は一枚一人に限る）
一、締切　五月廿五日

日時十分
住所
姓名

滿洲日報社

大連民政署で貸家の調査
税金には關係がない
米內山財務課長談

關東州地方税の雜種税の一たる貸家税に就いては從來出來る丈けの努力を拂つて調査の完全と課税の公正を期しつゝあるが、人員と經費の不足の爲調査尚十分ならず甚だ遺憾なことゝ思つて居たが大連市に於ける家屋建築も年々増加し從つて貸家も殖えて來たので、當署としては之が徹底的調査をしなければならぬので今回臨時職員を採用して大連全市に亘り先月下旬から貸家の調査を開始し目下夫々分擔方面に向つて戸毎に建物の所有者又は貸主の住所氏名、土地建物の坪數並に用途建物の賃貸價格即ち家賃、敷金の有無、水道料金負擔の有無、其修繕又は造作に關する事項、其の他必要の事項を調査して居るが、此は決して増税等の目的があるのでなく、單に貸家税の基礎調査を完成し以て税の均衡を圖らんとするのであつて又借家人に對しては何等税に關係がないのであるから、係員の調査質問に對しては事實を誤らざるやう應答して貰ひたいものである。殊に今回採用の係員は皆學校を出たばかりの若い青年のみであつて何分世情に通じない點もあり或は不行屆きのこともあるかも知れぬが、當署として此の點を憂慮し豫め服務心得を示し、市民に對しては粗相のなき樣注意して置いたから一般市民も此の點は充分諒とし調査の圓滿なる遂行に便宜を與へられんことを望むと大連民政署の米內山財務課長は語つてゐた

段外柔道試合
十二日に大連道場で
出場者は五十餘名に達す

大連段外柔道紅白試合は愈來る十二日の日曜日午前九時より大連道場に於て開催することゝなつたが試合は毎年出場選手の昇段進級銓衡審査をなすもので各團體からの申込者は百五十餘名に達してゐるので血湧き肉躍る壯觀を呈するであらうと非常に期待されてゐる尚一般の觀覽を大に歡迎するとのことである

強盜の被疑者

八日午後九時頃沙河口署員が西山會馬欄屯附近を密行中擧動不審の一支那人を檢擧し本署に連行嚴重に取調べたる所此者は西沙河口屯前科二犯張德殿（二七）と判明去る四日午後一時埠頭に繫留中の共同丸内に忍び入りオーバ外數點價格三百圓を竊取せる事を自白したが尚餘罪ある見込で南關嶺附近の強盜事件も此者の所爲ならんかと嚴重取調中

金佛樣迷ふ

目下大連署司法室に高さ八寸三分、古色蒼然たる支那製の「如來樣」が持主なく宙に迷つてゐる。右は同署に檢擧された住所不定無職の泥棒宋東明（三七）が贓品として所持してゐたものであるが、この泥棒餘つ程頓馬と見えて何處から盜んで來たか判らないと云ふのである、心當りの者は早速司法室に申出て貰ひたいと

第六多聞丸南洋で坐礁

【東京九日發電】海軍御用船第六多聞丸（三三二一噸）は石炭二千噸を積載し七日午後五時南洋トラツクウタ島附近に坐礁し浸水中、乘組員に異狀なしと

飲食物果物の行商人取締り

最近大連市内に飲食物および果物の行商人が頗る激增し中には不潔の器具類を使用しまたは腐敗に近き果物等を販賣し歩く者も尠からず、衞生上遺憾の點あるので各派出所に於ても發見次第嚴重處分を行つてゐるが、徹底未しの感あり、これより夏に入り傳染病流行の季節ともなるので大連署ではこれ等不潔行商人を徹底的に殲滅すべく近く取締デーを施行して片ツ端よりビシ／＼告發すると

菅原氏歡迎會

仙臺鄕友會では來連せる菅原代議士歡迎會を十日午後八時青年會館で開催

上海支那記者團は張學良氏の招待

九日夕刊一部所報に支那記者團が近く滿鐵の招待で來滿するとあつたのは誤りで右は張學良氏の招待に係るもので南支に於ける言論機關に東三省の事情を詳知せしむるのが目的であつて其の行動は相當注目されてゐる

妻を虐待せぬ

市内初音町二四九遞信局電信工夫西藤光一內緣の妻道下ミツノ（二〇）が夫の虐待に堪へないと大連署に泣き込んだ事は既報の通りであるが、之れに關し西藤は八日大連署に出頭し夫婦喧嘩はしたが虐待した覺えないと辯解してゐた尚西藤とミツノは合意の上夫婦別れをする事になりミツノは近く東京へ歸る事になつたと

自動車に轢る

九日午後三時十五分滿鐵家庭研究所傭人西山屯宇壽海（四二）は自轉車に乘つて沙河口神社前を通行中安全タクシーの自動車に轢倒され額に二ケ所の擦過傷及右脚治療三週間の傷を負ひ直ちに滿鐵醫院に擔ぎ込まれた

本社見學

撫順公學堂生徒三十二名は九日午前九時笛木俊夫氏に引率され本社を訪問各部を見學した

寫友倶樂部

來る十三日午後六時半より春季總會を開催尚當月例會の特別課題は春祭情趣で會員外の出品も歡迎すると

けふのラヂオ

昭和四年五月十日（金曜日）
自午前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後七時三十分
一、ニユース
二、兒童科學講座　櫻の花に就て　大連第二中學校　泊　尙義
三、ピアノ聯彈　ベートウベン第一シンホニー　大連高等音樂學院　小林　初子　樺山幾久子
四、筑前琵琶　山崎合戰　法洗山　上地　旭靜
五、箏曲千鳥　本手　福永大勾當　替手　森川とし子
六、支那劇寶馬　連東倶樂部々員
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

本社懸賞當選小說

人生の曲藝（125）

（禁無斷上演）

瀨野皓太作　淺枝次朗畫

雪の朝（六）

「ほんとうは、妾内村信策さんの所に參ります考へはございませんでしたわ。あの方のお傍に參りますまでに、どうしてもしなければならぬ仕事がありますの」

「仕事？」

扉のそとでは、鋭い呟きの聲が聞えた。

葉山百合子は、その呟きを聞くと、さながら待つてゐたかの樣ににつこりと笑つた。

「その仕事を止めさせ度いばかりに、乾度、あなた樣が、内村さんをだしにお使ひになるつて事は、妾にはちやんと判つてますわ」

「葉山さん。あなたは何を仰言るのです。あなたは、私を軍事探偵だと思つてゐるんですか」

「えゝ、その通り、あなたが哈爾賓にいつてもお出でだと言ふ事も、その上、内村さんとあなたが二三ケ月以前に二十年振りにお會ひになつた事も。そして、あなたが妾の身邊に近づいて、何かしら妾から探り出さうとしてゐる事も。その上、妾の所に來る支那將校の事を知りたがつてゐるのも、みんな妾には判つて居りましたわ。とても、早川啓吉さんなら妾、お會ひ申上げる筈がないじやありませんか」

彼女は、さう言ひ終ると、今まで肩こ背負つてゐた重荷をすつぱりと脫ぎ捨てた樣な安さをも感ずるのであつた。

扉のそとでは、又小さい聲きが續けられた。

「葉山さん。私はあなたを今こゝから拘引する事さへ出來ます。あなたが私を恐れなくならうとは、私は思ひもかけなかつたのです。私は隨分久しくあなたの行動を監視してゐたのでした。ともすれば公的でなくて、私の個人としての感情に捉はれすぎた爲に、今まであなたを見のがして來たのです。さあ、一時も早く、さきの私の申出でに好い返事を下さい。そして内村信策の爲に好い伴侶となつてやつて下さい。そして、今晩にでも私と一緒に、東京を立つて下さい」

その早川啓吉の申出では、さすがに彼女の感情を動かしたのであつた。彼女の心には再び内村信策の暖かみのある大きな顏が映つたのであつた。

彼女は、も少しの所で、早川啓吉に同意を與へる所であつた。が彼女はその間際になつて彼女自身を冷靜にした。

「妾には、さつきも申上げたと同じ樣に、も一度お答へする他はありませんわ」

「ちや、私の忠告を、お容れにはならないのですな」

彼女は突然に高く笑つて了つた。

「軍事探偵にも似合はない。何と言ふあなたは卑怯な方です」

「卑怯ですつて？」

扉のそとの聲は少しばかり怒りにふるへてゐた。

「あなたは、妾の身邊に近づいて出來るだけ妾を探らうとなさつたんです。そして結局妾から何も求められなかつたんです。あなたは妾を、うまく東京から追つ拂ふつもりなんです。何んて、卑怯なやり方でせう」

扉のそとの聲は暫く聞えなかつた。彼女は聞き耳を立てゝ、彼を覗つた。

彼女は突然に、早川啓吉の完るで宣告するかの樣な聲を聞いたのであつた。

「私は、日本政府の名をもつてあなたを拘引します。こゝをお開けなさい」

彼女は笑ひながら答へた。

「妾は拘引されるわけはありません。妾は多分、あなたの手に拘引される事は、萬々ないと存じますわ」

彼女は、さう言ひ終ると、すぐにその身の廻りのものを、手早く片づけた。

彼女は、それから鏡に向つて、涙によごされた顏を直し始めた。

それから三十分程立つてから、早川啓吉は、漸く彼女の部屋の扉を破る事が出來たが、その時、葉山百合子は、彼女の少しばかりの持物と一緒に、何所にか姿を消して了つたあとであつた。—

新刊紹介

▲無線電話（五月號）東京市日本橋區本石町三丁目二五日本無線電話普及會（定價五十錢）

▲女人藝術（五月號）東京市牛込區左内町卅一番地女人藝術社（定價四十錢）

▲工事畫報（四月號）東京丸ノ内仲通四號館七號工事畫報社（定價七十錢）

▲滿蒙（五月號）大連市紀伊町九十一番地中日文化協會（定價一圓）

▲物理學及化學　會員募集五月廿八日締切東京神田神保町岩波書店發行（定價甲乙丙共一ケ月二圓五十錢）

▲大國聖日蓮上人　日蓮主義を高唱して思想善導を說きたる必讀の書東京麴町春秋社發行（定價一圓六十錢）

五月川柳課題

五月十日締切

▽「談判」小倉蜂助子選

五月十五日締切

▽「觀察」編輯局選

○各題必ず別記一人五句限

滿日文藝係

夕刊 滿洲日報 五月九日
發行人編輯人印刷人 扇山井下 谷亀太 庄鏡 (?)
發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

俄然廣西軍優勢となり廣東は今や危急に瀕す
馮玉祥派の廣西策應を恐れて蔣介石氏百方狂奔す

【上海大矢特派員八日發電】廣三鐵道の終點三水は八日廣西軍の手に陷り西江に出動してゐた陳策の率ゐる海軍の一部は廣西軍に寢返り廣東

危急に瀕しつゝある旨

支那側の信ずべき筋へ入電があつた、南京政府は廣東軍の戰況不利に狼狽して長江筋より廣東軍應援の爲め大部隊を出動せしむべく準備中で取敢ず繆培南の第四師に動員令を下した、廣東軍不利の報と共に蔣介石氏は馮玉祥氏が廣西派と提携せんことを惧れ今や凡る手段を竭して馮と和解せんことに努力し隴海鐵道督辦劉驥氏を上海に派遣し上海市長張群氏と共に鹿鍾麟、熊斌、唐悦良氏等上海に避難し來れる馮系要人の

隱れ家

を突止め馮派との和解に努めつゝあるが張群氏が本日「未だ何等の結果を得ない」と目頭して悲痛な面持で記者に語つた處によれば未だ鹿鍾麟氏等の居所をすら發見して居ない模樣で對馮玉祥關係も著しく悲觀されて來た、尚上海では七日來廣東方面の戰況に關する報道一切の新聞掲載方を禁止した

肇慶既に陷落し
廣東軍南方へ退却
陳濟棠氏は下野逃亡か

【香港八日發電】八日朝廣東海軍は廣西派に寢返つて廣東を砲擊し司令陳策氏は當地に逃亡し來り徐景唐氏の部下李務慈、黃蔭楊二旅長も廣西派に加擔し惠州より廣東に進擊中である、肇慶も陷落し廣東軍は南方へ退却し廣東の守備手薄く危殆に瀕し陳濟棠氏の下野逃亡說あり、大戰もなく廣東は廣西派に歸し徐景唐氏は汕頭より乘込み廣西派、馮玉祥、汪兆銘氏の提携成り國民黨の分裂を圖り蔣介石氏に對抗する模樣である

た、馮玉祥氏は每日閱兵しつゝあるが病癒えず演說は出來ない狀態である

馮玉祥軍
河南を撤退

【北平八日發電】河南放棄に決した馮玉祥氏は依然潼關に留まり隴海線東部の軍隊を河南西部に陜縣洛陽より一部甘粛省に、又本月に入り鄭州より西方に八師を引揚げ

今年末限り治外法權を撤廢
王氏が非公式に意思を表示
結局實現は不可能か

【北平八日發電】國民政府は治外法權を最短期間に撤廢する意思を關係各國に通告し回答を求めてゐたが、其の後王正廷氏は來年一月一日より在支外人は一律に支那の法律に從ふべき旨非公式に表示した、外交團は未だ意見の交換をなしてゐないが目下の處回答をなす模樣は全くない、日本は辛き經驗から到底支那側の希望に副ふべからざるは明かであり、既に撤廢せる獨逸の如きも今日多大の悔を貽してゐる有樣で、各國が一齊に撤廢に同意するが如きは有得ない事とされてゐる

照會文を發表
外交部から

【上海九日發電】上海臨時法院を今年末限りで回收せんとする支那側の照會文は昨夜南京外交部から關係各國に對し發送された、此の問題は列國會議に諮るはずであるが、米佛兩國は既に非公式ながら同法院の廢止に贊成し居ると王正廷は語つてゐる

黑田次官ら けふは旅順視察
木下長官から廳政聽取

黑田大藏次官一行は九日午前九時十五分龍王塘水源地を視察の後同十時四十五分關東廳を訪問して木下長官と會見、長官より廳政各課長より各課の關係について意見を聽取して退廳、同十一時半關東軍司令部に村岡司令官を訪問し藤田經理部長から陸軍の官有財產に關する其の他一般概況の說明を聽取し正午軍司令官主催の將校集會所の午餐會に臨み、午後一時より久保田前旅順驛長の案內にて戰跡見學をなした、一行の一部は陸軍の諸官衙及び用地博物館其の他を見學して午後六時より長官主催の晚餐會に臨み同夜は旅順ヤマトホテルに一泊の筈であると

沿線視察日程

目下來連中の黑田大藏次官一行十名の沿線視察日程は次の如く決定した

▲十一日 午前八時十分發急行にて大連出發、午後一時三十五分營口着視察、同三時二十五分營口發、同六時四十七分湯崗子着一泊

▲十二日 午後一時二十分湯崗子發、同一時三十八分鞍山着、製鐵所視察同二時五十五分鞍山發、同三時三十五分遼陽着、師團司令部その他の訪問視察、同六時四十分發、同七時四十七分着で湯崗子引返し一泊

▲十三日 午前八時五十九分湯崗子發、同十一時三十分奉天着、直ちに撫順線へ乘換え午後一時五十五分撫順着、守備隊及炭礦訪問視察、同六時四十分發、同八時五分奉天着、總領事館、守備隊その他陸軍諸部隊訪問視察二泊

▲十五日 午前七時奉天發、同零時二十分四平街にて四洮線乘換午後二時四十七分鄭家屯着領事館訪問、同九時四十五分發

▲十六日 午前六時十五分洮南着同八時三十分洮南發、午後五時五十分龍江着、自動車にて齊々哈爾へ、六時五分齊々哈爾着

▲十七日 自動車にて昂々溪に出で午前十一時三十五分同驛發午後六時十五分哈爾賓着三泊、總領事館、日露協會學校、滿鐵事務所訪問視察

▲二十日 午前九時十五分哈爾賓發、午後三時十七分長春着一泊

▲二十一日 午前八時三十分長春發、同十一時三十分吉林着、領事館訪問視察後午後五時三十分吉林發、同八時三十分長春着一泊

▲二十二日 午前八時二十分長春發同九時二十五分公主嶺着守備隊、滿鐵農事試驗場訪問視察、午後二時四分發、同八時十五分奉天着二泊

▲二十四日 午後二時四十分奉天發同八時六分五龍背着一泊

▲二十五日午前九時三分五龍背發同九時四十五分安東着、守備隊領事館、鴨綠江採木公司訪問視察、午後四時安東發にて同四時五十一分五龍背に引返し一泊

▲二十六日 午前五時四十九分五龍背發、午後八時四十分京城着

▲二十七日 午後十時二十分京城發

▲二十八日 午前九時五十分釜山着、同十時四十分連絡船乘船、午後六時三十分下ノ關着、同九時五分下ノ關發

▲二十九日 午後八時廿分東京着

尚關東廳からは阪谷財務課長滿鐵からは築島信司氏が隨行安東まで見送ることゝなつてゐる

夏時制 大部分贊成
關東廳への回答

六月一日から實施せんとする夏時制の可否に關し關東廳管掌の各官公署に對し地方課から意見の回答を求めた處廳內の保安、衞生、經理、殖產學務の各課、旅順は練習所、療病院、工大、第一、第二兩中學高女、博物館、圖書館、市役所大連は大連、沙河口兩警察、專賣局、救療所、第一中學、彌生女學校、州外は大石橋、遼陽、撫順、開原取引、安東領事館等に滿鐵、關東軍司令部等約三分の一は到着したが、大部分は實施贊成で全く意見のないものもあり、中には二、三反對もある

石本市長の抱懷する大連市政改革方針
之を實現するまでは斷じて辭職せぬといふ

大連市では九日午後二時より第二十九回市會續會を開くが、前回に於ては市長並に二、三議員に辭職を迫るものもあり、紛糾の素因とも見られてゐる助役收入役問題も未だ鮮決の運びとなつてをらぬので再び相當紛糾を來すものと注視されてゐるが、此の難局に處して石本市長は依然進退問題を考へることなく「大連市の施設の改善、衞生設備の完成を期するまでは如何なる困難に逢ふとも、自己の抱負の實現に努力する」と說明した、氏の抱懷する市施設改革に對する意見は次の如きものである

「大連市の電氣瓦斯、電車、水道などは當然市の經營すべきものであるとの說は原則として贊成であるが、今日の市の現狀としては直に之に着手するは

不可能

であつて之は將來の問題である、隨つて社會事業の如きも、內容の充實を俟つて始めて行ふべきであるから更に遠き將來の問題であると考へる、自分は目前の實際問題として市場の改善、衞生施設の完成に力を致したい、それは市民生活の上に最も緊密な關係をもつ急務であると考へるから

將來の

發展と利益に對する施設に對する費用は現在の市民のみが負擔すべきでなく將來の市民にも負擔せしむべきであると考へる、現在の信濃町市場等も改築期が迫つてゐるが自分は市債を募つても之を完備し內容を充實したい、從來邦人の名義で營業を許されながらこの權利を華人に貸與して無爲徒食するが如き者の絕無を期すべく命じたこともその現れの一つで、安く新鮮なものを提供するためとあらば淸算會社などを設立せず市で直營してもよいと考へてゐる、衞生施設は一般に

無關心

の嫌があるが市民の生命に最も重大な影響があり、その都市の文化と步みを共にすべきものであるが大連は未だ遺憾の點が多い自分は經濟的の意味にも、收入を殖やし衞生上には流行病の蔓延を根絕するため施設の最後の完備を期したい、之が自分の考へてゐるので之さへ成就すれば、市長の椅子など何時放り出してもいゝと考へてゐる

拓殖省官制對策
きのふ首相以下協議の結果
樞府側に十分の交渉

【東京九日發電】拓殖省官制問題は七日の樞密院精査委員會の結果に基き八日首相官邸に田中首相以下各閣僚關係當局集合して其の對策を協議したが名稱變更に就ては樞府側と妥協點を見出すべく更に研究し、又組織變更に就いては之れを地方別に依り朝鮮局其の他を設くる樣法制局拓殖局にて審議して樞府側の諒解を得ることになつた、從つて右の如く樞府側の意向を尊重し改正を加ふる事になつた以上今後樞府側と十分交渉を重ねて樞府對政府の意見が一致したら其の時御諮詢案御下げ渡しを奏請し改めて修正案の御諮詢を仰ぐ事となる筈で何れにしても右官制は政府の希望通り六月一日實施迄に間に合ふ樣樞府の通過を見る事が出來るであらうと云はれてゐる

顧問官增員 政府側は不贊成
金子委員長の質問に田中首相は「考慮す」と回答

【東京九日發電】七日拓殖省官制に關する樞密院精査委員會に於て金子委員長より「政府は拓殖省新設に伴ひ樞密顧問官の定員增加の意志はないか」との質問に對し田中首相は「今の處增員の考へはないが考慮しやう」と言明したので政府側退席後樞府側のみ居殘り、本問題で種々意見の交換をした結果此の機會に政府の意嚮を確める事となり二上書記官長をして拓殖省官制に對する意嚮を併せて前田法制局長官に交渉せしめた、顧問官の定員增加は表面は單に樞密院官制改正に止まるも其の實質は相當重大問題であるので政府は十日の閣議で態度を決定するであらう、然して政府は大體不贊成であるが其の影響が不戰條約問題にも及ぶ惧れがあるので深甚の考慮を拂つてゐる、尚樞府側の意嚮は二十四名の定員を二十八名に增加し度い意嚮である

南滿洲教育會廿周年記念

南滿洲教育會創立廿周年記念事業計畫委員會では來る十四日午前九時から大連第一中學校に於て「教育會の永久的事業に就て」協議會を開催するが、九月廿二、三の兩日旅順に於て催す記念會に木下關東長官の美味求眞に關する講演がある筈である、なほ記念展覽會は各地に於て開催することに決定してゐる

人事

▲鈴木格三郎氏(青島商工會議所會頭)七日來連遼東ホテルに滯在中
▲小谷節夫氏(青島新聞社長)同上

大觀小觀

樞密院の頑老連、いよく增長して、不戰案、拓殖省問題、一向片付きさうになし。
◇
政府の「隱忍自重」も久しい。腰が拔けたのではあるまいか。
◇
馮軍が河南を引上げたと思へば廣西派が廣東を脅威してゐる。蔣君夫妻の夢、到底圓かなる能はず
◇
民政署が貸家稅調査難で弱つてゐるとか。あまり重箱の隅を掘らぬ方がいゝ。內地とは事情が異ふ。
◇
所謂社會政策的課稅を、先づ關東州で徹底的に實現させるのも一策だ。
◇
鮮ビーに振られて自殺した日本男子があります。

滿蒙鐵道驛傳競爭 主要驛發着時間表
全線十五鐵道三千四百二十四哩
(二)
支那側鐵道
(細字は午前・太字は午後)

金福鐵道

	驛			
下り	金州發	—	9.28	3.38
	貔子窩發	10.00	12.40	7.05
	城子疃着	10.30	1.10	7.35
上り	城子疃發	8.25	9.10	2.35
	貔子窩着	9.00	9.40	3.10
	金州着	1.10	—	7.25

奉海鐵道

	驛		
下り	奉天發	7.30	11.10
	梅河口着	2.56	7.10
	梅河口發	3.10	7.25
	朝陽鎭着	4.29	—
	西安着	—	10.00
上り	西安發	—	10.15
	朝陽鎭發	7.00	—
	梅河口着	8.09	12.45
	梅河口發	8.20	1.00
	奉天着	3.40	9.00

吉海鐵道

	驛	
上り	朝陽鎭發	1.00
	煙筒山着	6.10
下り	煙筒山發	6.00
	朝陽鎭着	11.10

備考 煙筒山吉林間は建築列車にて不定時

溪城鐵道

	驛				
下り	太子河發	7.00	9.00	12.20	3.00
	牛心臺着	7.53	8.23	1.13	3.53
上り	牛心臺發	8.40	10.43	2.40	4.50
	太子河着	9.36	11.39	3.36	5.45

開豐鐵道

	驛			
下り	石家臺發	7.00	1.00	4.30
	開原發	7.25	1.25	4.55
	西豐着	11.24	5.24	—
上り	西豐發	7.30	1.30	—
	開原發	11.10	5.10	8.35
	石家臺着	11.30	5.30	9.00

四洮鐵道(幹線)

	驛			
下り	四平街發	7.00	12.20	7.00
	鄭家屯着	9.15	2.47	9.10
	鄭家屯發	9.45	—	9.40
	洮南着	3.25	—	6.15
下り	洮南發	9.00	—	7.50
	鄭家屯着	2.42	—	4.30
	鄭家屯發	3.05	10.10	5.05
	四平街着	5.30	1.05	7.40

四洮鐵道鄭通支線

	驛			
下り	鄭家屯發	7.15	5.20	3.10
	通遼着	10.50	9.15	6.30
上り	通遼發	6.10	5.15	2.15
	鄭家屯着	9.30	9.05	5.15

洮昂鐵道

	驛	
下り	洮南發	8.40
	昂々溪着	4.10
上り	昂々溪發	9.05
	洮南着	4.20

洮昂四洮兩線連絡

	驛		
下り	洮南南站發	6.50	5.30
	洮南東站着	7.05	5.45
上り	洮南東站發	7.20	5.00
	洮南南站着	7.35	5.15

本社主催滿蒙十五鐵道驛傳競爭は發表以來全滿を通じて異常の興味と注目を喚起して居ります、本社は此に一般讀者の滿蒙の鐵道其他交通に對する研究心を助長し且つ此の催しに對する興趣を一層深からしめる爲に左の規定により普く募集することにしました、奮つて投票せられんことを希望します

滿蒙十五鐵道驛傳競爭所要時間豫想懸賞募集
入賞者—合計二百二十六名
賞品—總額三千圓

應募規定

一、紅白兩班の中全コースを規定通り完全に踏破して先に歸着せる班の全所要日時を豫想投票すること

(參考) 競爭規定は十五鐵道三千四百餘哩を片道は必ず通過することゝソレ以外の場合に於ける交通機關は無制限で出發點及び歸着點は共に大連驛

一、所要日時數は『幾日何時間何十何分』として秒は數へないこと

一、豫想投票は必ず本紙刷込みの用紙を用ふること、ソレ以外のものは認めません

投票用紙は十日付朝刊第二面に先づ刷込み募集期間中數日に限つて刷込みます、此の用紙を賣るのが目的ではありませんから、それぐ保存使用を願ひます

一、受付開始 五月十日
同締切 五月廿五日

一、送付先 滿洲日報社總務部宛『驛傳競爭所要時間豫想應募』と封筒に明記のこと

一、適中者及び之に近き豫想者より順次入賞を決す、豫想時間が同じき場合は抽籤によつて入賞等級を決定すること

賞品及入賞者

一等 オートバイ(英國製マッチレス號)一臺 一人
二等 蓄音機(米國製ビクター式)一臺宛 五人
三等 腕時計(瑞西製ドルミークローム側)一個宛 廿人
四等 本紙購讀券 三ケ月分宛 五十人
五等 本紙購讀券 一ケ月分宛 二百五十人

滿洲日報社

支那新聞の記者招待
上海から

上海に於ける支那側各新聞社の記者を招待して旅順、大連を初め南北滿洲及び北支那方面の觀察をせしめることゝなつたが、一行は十二名で十二日[illegible]丸にて上海出發、十四日大連着の豫定で大連滯在二日、十七日旅大間を往復し奉天、長春、哈爾賓を觀察の上平奉線にて天津に出で北平を見學することゝなつてゐる、因に上海記者團は左の通りである
▲申報記者四名▲新聞報四名▲時報三名▲時事新報四名▲民國日報三名

歌集 木蓮
長尾昌一

なやましの人の世ながら詐りもきかねばいかにさみしからまし
相擁し泣くもなけるも二人のみゐればかざらぬものがたりなり
片破月地平にさみし何時かかの君が折りたるとき櫛に似て
ふと夢の顯も行くかに立柳の白葉かへしつゝゆける春雨
道の上の溜りの水につぶら雨間おきつゝふり晴るる夕立
秋時雨たまりの水にすがしくも紅をとかせる夕焼けの雲
夕燒けに地平の雲のだむだらは地獄繪卷のさまして暮れぬ
うす時雨うすら曇り日日ならべていつかさみしき夏は來ぬ

天氣豫報

十日(曇)南東の風一時晴れ
日出四時四六分日沒六時五四分
滿潮午前十時[illegible]分後十一時五分
干潮午前四時一〇分後五時一〇分

伊藤主計射殺犯人 憲兵に逮捕さる

濟南事件直後から城內に潛み 馬賊と連絡し陰謀

【濟南特電九日發】去る四月十九日夜伊藤主計が支那人惡漢の爲めに狙擊された事件に就いては爾來極力嚴探中の處、五月二日午後八時頃濟南商埠地に於て我憲兵が拳銃を所持する異樣の風態の一支那人を發見したので直に逮捕し嚴重に訊問したところ江蘇省生れ劉賡明(二七)とて第五十二軍長呂秀文部下の少佐で軍事探偵と稱するのみにて一切口を緘して語らなかつたが、嚴重取調の結果伊藤主計射殺犯人たる確證を摑み本日公安局に引渡した、劉は濟南事件直後から城內に潛伏して馬賊と連絡し不穩の計畫を進め射殺事件發生の十九日朝より姿を晦まし引續き日本軍の首腦部を狙つてゐる內に逮捕されたものである尚共犯者も兩三名ある見込みで引續き捜索中である

近く就航の大連汽船新造船

四千噸の貨物船四隻と 白河遡江の遼河丸

大連汽船會社では既報の如く四千噸級の貨物船四隻を岡山の三井玉造船所において建造中であるが、そのうち第一船が來る十五日受渡し廿日頃廻航する事となつた 同船は天山丸と命名されて既にこれが受取りには八日出帆のはるぴん丸で乘組員が內地に向つてゐるが、いづれ大連廻航の曉は內地との貨物輸送に從事する筈で殘り三隻も機關その他の關係で豫定より遲れるが順次廻航の筈であると 尚大汽にては白河の埋泥によつて特に白河を遡江し得べき貨物船遼河丸(千五百噸)を滿洲船渠會社において建造中であつたが十日午前十時より進水式を擧行する事に決定、同船は營口、天津間の貨物輸送に當ると

米國記者團あす來朝

帝都の日程

【東京特電八日發】米國カーネギー國際平和財團主催にて東洋觀察に來朝する米國新聞記者團は十日早朝大洋丸で横濱に入港の筈であるが、その後の一行の日程は左の如くである

△十日 横濱新聞關係者歡迎晩餐會

△十一日 復興事業觀察東京朝日新聞招待午餐會、午後市內見物夜ジャパンアンドバタイザー主催晩餐會(東京會館)

△十二日 午前鶴見總持寺參觀、同寺にて報知新聞の招待午餐會、午後明治神宮競技場競技參觀、夜大藏大臣招待晩餐會(華族會館)

△十三日 帝大、中央職業紹介所參觀、午餐は三井男招待、午後私立大學參觀及び經濟聯盟、工業俱樂部主催茶話會、夜は商工會議所招待晩餐會及び觀劇

△十四日 午前各工場參觀、日米協會招待午餐會、外務次官招待園遊茶話會、夜は郵船招待晩餐會

△十五日 横濱市見物

△十六日 午前工藝展覽會見物、市內會社銀行商店縱覽、午餐は岩崎男招待、東洋文庫參觀、晩餐東京日日招待

△十七日 午前中日程なく午餐パンパシフヰック俱樂部招待、午後太平洋問題調査會懇談會(茶會)晩餐外務大臣招待晩餐會(官邸)

△十八日 午前中日程なし午餐日米關係委員會招待午餐會、午後婦人平和協會主催懇談會(茶會)晩餐鐵道大臣招待

けふ御別れグ公殿下御參內

牡丹間で皇太后と御對面 御禮を言上

【東京九日發電】グロスター公殿下には今日を以て宮中の公式御待遇を辭され明十日より地方御巡覽の途に就かせられるので御告別のため九日午後零時十五分御參內天皇陛下の御案內にて牡丹間に成らせられ之れより先午前十一時三十五分青山東御所を御出門參內ありたる皇太后陛下と御一緒に同じく牡丹間に成らせられ茲に國賓殿下と非公式の御對面あり殿下には此の八日間の手厚き御もてなしの御禮を言上され次で豐明殿に於ける午餐會に臨ませられ午後二時霞ケ關離宮に御歸還相成つた

聖上御答訪遊す

【東京九日發電】天皇陛下にはグロスター公御告別御答禮のため午後三時宮城御出門霞ケ關離宮に行幸遊ばされた、陛下には國賓殿下の勞を犒はせられ、健康を祈る旨懇なる挨拶を遊ばされ殿下は又感謝の辭を述べられるところあり名殘り盡きぬ固き握手を交され國賓殿下は御玄關まで御見送り中を陛下には三時二十分宮城に御還幸あらせられた

大航空船を使用して太平洋航空路開設

米國で着々と調査研究すゝむ 大西洋航路も計畫

【紐育七日發電】桑港又はロスアンゼルスを起點として布哇馬尼拉經由東京に至る航空路を巨大なる航空船を使用して開かんとする計畫が目下ウオール街の銀行家航空界の巨頭等の間に考慮されてゐるが此の計畫に依ると全部米國側の出資に依り使用航空船はツエッペリン會社製のものを用ふる事になつて居り既に同社につき調査を開始したと云ふ

該航空船は二年乃至三年內に容積六百五十萬立方呎二隻を作り得る事を確めた此の航空船は六十名乃至百名の乘客の外に一、二萬封度位の郵便物貨物其他の積荷をなすことを得速力も現在の航空船より早く時速百哩位を出し得ると云ふ

尚太平洋航路實現の上は大西洋にも同樣の航空路を開設し陸上飛行機と相俟つて南北アメリカと歐洲をも連絡せしめる計畫であると

神輿巡幸の順路

十日は御旅所に一泊

大連神社の春大祭は九日宵祭、十日本祭、十一日祝祭の順序にて行はれることになつてゐるが十日の御神輿御巡幸の順路は左の通りである

▲午前九時神社出御加茂川町(相生氏邸前小憩)播磨町民政署脇に出で(市役所前小憩)大廣場山縣通(松島商店前小憩)(福昌公司前小憩)埠頭土佐町須磨町龍田町關東陸軍倉庫前彌生高等女學校脇より右折山縣通加賀町敷島廣場監部通を上り(嘉納合名會社前小憩)吉野町一、二、三、四丁目信濃町南廣場日本橋を通過北大山通に入り海岸に到り(休憩)更に兒玉町を經て日本橋大山通を經てヤマトホテルに入り(貴賓

▲午後大廣場(派出所前小憩)吉野町一丁目監部通南廣場伊勢町に入る(野村藥舖前小憩)西廣場岩代町磐城町を通り信濃町市場前に到り(正門前休憩)若狹町を全通して春日町に出で(岩田國會氏前小憩)嶺前屯(薩摩溫泉前小憩)桃源臺平和堂に到る途中逢坂町に入り休憩し返して西公園町の電車路を進み中央ビル横より左折電氣遊園御旅所に着御一泊

埠頭待合所に警官派遣所

最近の事故頻發から 電報受付所に隣接して新設

埠頭待合所の混雜事故防止に關しては所轄水上署において種々講究中であるが從來待合所ベランダが內地航路船のみに使用されてゐた時はともかく、ベランダが增設されて天津航路、上海航路船の出入にも使用さるゝに至つて、自然混雜を來し又事故の發生も增加するもの見込をつけ今回埠頭待合所內に臨時警官派遣所を新設する事になり既に派遣所に使用する家屋は滿鐵より借受ける事に決定、現在の電報受附所の隣りに建設さる 今後は內地大津上海への定期船出入時に惹起した事故その他に對しては臨時派遣所においてこれを處理する事となり水上署にては警務局に認可申請中である

支那人大擧し邦人を袋叩

馬車夫と運轉手の喧嘩から 人の出盛りに奥町で

七日午後九時ごろ大連大山通り一六實用タクシー運轉手白石二三夫(二…)は監部通り方面より奥町を通行し自宅に歸る途中、奥町と浪速町の十字路に差し蒐かつた際、八幡町車夫合宿所內馬車夫呉臣德(三…)がその直前を横切り進行を妨げた爲め白石が呉を叱責したる處より端を發し

附近の車夫等まで呉に加勢し毆り合ひを始めたが、衆寡敵せずと見た白石が運轉臺に飛び乘り逃走せんとせしも寄つてたかつて白石を引き摺り下し毆打したので白石も死にもの狂ひとなり自動車のハンドルを振り廻し、尚當時通行中の浪速町八八渡邊彦太郎および實用タクシー運轉手大脇甚四郎その他日本人五六名これに應援したが

雷同せる數十名の支那人無賴漢は十重二十重に取圍み遂に前記日本人等を袋叩きにした、急報に接した附近浪速町派出所より沼野巡査等馳け付け極力鎭撫すると共に首謀者と目さるべき右呉臣德および愛宕町一二劉敬文(二八)の兩名を逮捕し傷害犯人として目下大連署で取調中であるが、最近支那人等が大擧して日本人を毆打する如き事件の激增した事は大に注目さる

港埠頭三十番バースに着いたが同船は渤海黄海方面の漁船取締の爲め來航したもので、再び龍口に向つて出帆する豫定である

大規模にモヒ密造

大阪高工出身者が中心になり 原料の製造で發覺檢擧さる

大連署司法係刑事は一兩日來何事か事件の端緒を得たものゝ如く俄然緊張し星司法主任の指揮で八方に活動を開始する等色めいてゐたが、吉岡部長の率ゆる一隊は櫻花臺六七麻生太三郎と表札のかゝる四軒長屋に踏み込み家宅捜査の上乾燥機、煽風器、フラスコ、試驗管その他多數の器具機械を押收すると共に同居者林靜雄(四三)の身柄を引致し引揚げて嚴重取調べを開始した

林は大阪高等工業學校の藥業部出身で熊本藥學校を卒業し星製藥會社に七年間も勤務しモルヒネ製造には相當經驗ある下村光衛(假名)ほか二名と共謀し前記器具機械を購入して備へ付け去る三月二十四日ごろよりモルヒネ製造目的のもとに先づ之れが前提として原料となるべき酒性醋酸、酒性鹽酸、純タンサンソーダ等の製造に着手し之れが成功すれば大資本家の後援を得て大々的に製造すべく計畫中その筋に探知されたもので

身邊危ふしと知つた右下村ほか二名は逸早く逃走した目下各方面に手配捜査中である尚林は九日藥品製造取締規則違反で告發され即決罰金五十圓に處せられた

藝者が危い藝當

元の百々春が自動車操縱 運轉手も告發さる

奉天十間房料理店金龍亭抱藝妓綾龍こと水流綾子(二七)は七日午後一時四十分ごろ市內春日町稻妻タクシー運轉手劉兆賓(二四)の操縱する自動車に乘り山縣通りと紀伊町の十字路へ差し蒐かつた時、運轉席に移り劉よりハンドルを奪つて運轉手の免狀なきに拘らず運轉した事を山縣通り派出所黑瀨巡査および美濃巡捕に現認され散々油を絞られた上綾龍も劉も告發された、因に綾龍は元北村席に居り百々春と名乘つて稼業してゐたもので過般奉天へ七千八百圓で鞍替したものである

農林省船入港

農林省所屬船祥鳳丸(船長桑原尚氏)は九日午前八時頃龍口より入

けふから大連神社春祭り

東支鐵道の時間改正

來十五日から

東支線では豫て隣接鐵道の發着時刻を參酌して旅客列車の時間改正計畫中であつたが愈來る十五日から先づ南部線に實施することになつた、右に據れば旅行日程が短縮され從來より便宜になつて居ると尚東部線西部線も多少變更を見る模樣である

京城府雇員公金拐帶

滿洲に逃亡か

【京城特電八日發】京城府廳臨時雇員原籍門司生れ岩佐節生(二九)は去る四日公金七千八百六十七圓を拐帶し所在を晦ましたることが、七日午後發見され、大騷ぎとなり直に其筋より各地に打電し手配中であるが犯行は極めて用意周到なるもので古河電氣鑛業會社京城出張所に支拂ふべきもので、同所主任水谷九二吉の印章を盜用領收證を僞造横領せしものである、犯人は多分滿洲方面に高跳せし形跡あり同方面に特に手配を依賴した

五十聯隊禮狀

駐滿二年在留民保護の大任を終へて此程歸還した松本五十聯隊長山內大佐から本社を通じて大連市民各位に宜しくとの禮狀が來た

山東難民で入港者激增

四月中の調査

海務局の調査によると四月中の大連入港船舶數三百六十五隻、檢疫人員十萬千八百十六人にて昨年同月に比較すると船舶數で二隻檢疫人員で二萬五千九十三名の增加であるとこの增加の理由は山東における張宗昌氏敗退による避難民が增加したゝめであると

營口と安東で入港船を檢疫

廈門、汕頭方面では目下天然痘が流行罹病者も多數に亘ると云ふので營口海關にては其地領事團の承認を得てその方面よりの入港船に對しては營口において檢疫を施行すると、同じく安東においても上海方面の腦脊髓膜炎の猖獗に甚だしい現狀より在安東領事團の承認を得て檢疫を行ふ事になつた旨九日夫々當地海務局宛報告あつた

少女歌劇座

今夕から開演

村上演藝部後援會に招聘されて來連した日本少女歌劇座一行は昨夜陸路來連し今夕から歌舞伎座で開演する(寫眞は本社を訪れた幹部)

得物を手に襲擊する

支那料理店の啀み合ひから

市內春日町五八支那料理店千成方店員と惠比須町九三同業泰昌樓方とは豫てより女給雇ひ入に付いて爭ひ反目し合つて居たが九日午前一時半千成方帳場由作新(二…)は逢坂町總數方車夫李學富同キネマ屋方ボーイ楊振南外十數名を伴ひ大擧して前記泰昌樓を襲はんと手に手に獲物を持つてあはや血の雨を降らさんとする處を折良く警邏中の警官に發見され小崗子署より多數警官馳せ付け一同を檢束處分に附した

沙河口清潔法

五月十三日 本署直轄管內一圓

同 十四日 水源地神社前警察官吏派出所管內一圓

同 十五日 聖德街眞金町警察官吏派出所管內一圓

同 十六日 王陽街永安街警察官吏派出所管內一圓

次の各派出所の處は自十三日至十八日各派出所に於て適宜檢査區域を定めると

一、沙河口驛一、臺山屯一、星ケ浦一、香爐礁一、劉家屯一、馬溝一、小平島一、灣家屯

鄉軍一分會總會

在鄉軍人會大連第一分會では十日午前九時から南山麓小學校で第六回總會を開く筈

奉祝生花會

大連茶花組合松風會では大連神社祭禮に當り十一、十二の三日間大連外國語學校に於て諸流聯合奉祝生花大會を催し當日は茶席を設け一般の來會を希望すると

◇……けふの宵祭から大連神社春祭り 今年から神輿は牛車を廢して建築現業組合員が揃ひの衣裳で意勢よく奉仕する

◇……横濱ドックに於て建造中の日本郵船新旅客船秩父丸(排水一三、二〇〇トン、總トン數一六、七五〇トン)の進水式は八日午後四時盛大に擧行された 本船は日本郵船の所謂優秀船計畫に依るもので來年六月より桑港航路に就航することになつてゐる【横濱九日發電】

◇……昌圖縣公安局員百二十名が新幹部と意見衝突し去る四月末一切に總罷業を決行したが、新幹部は全部を馘首し新しく百二十名を募集中である【鐵嶺發】

◇……當地在住安西冬衞氏は今回東京厚生閣書店より詩集軍艦茉莉を出版したが、有志相計り來る十二日午後一時より會費三圓にて西園亭において出版記念會を開催出席者には軍艦茉莉一部を贈呈すると

金剛呪門 (233)

山中峰太郎作 小田富彌畫

仇は時代にあり

路の上に泣き崩れた三人、その傍に見知らぬ一人の女、そして北辰の小天狗と、五人とも自分の方を振りむいたのに、

……なんだい？、あの小僧、あのお寺で、おいらに楯をつきやがつた、なか／＼賢い小僧だぜ。が、どうしたツてんだい？

と、虎三少年、路の角に立つたまゝ、すまして腕を組しめた。

……どうせ見つかつてるんだい！、構ふもんけエ！

と、こちらから敦彦を眺める虎三の顔を、ジツと見つめたお君が

「あツ！、あれは、……」

ほとばしる様な聲と共に、ヘラ／＼と虎三の方へ走り出した。

……おやツ？、なんでエ？

と、腕をほどいた虎三、唇をむすぶと、おもはず身構へた。

走りよツてきたお君、虎三の前に立ちどまるや否や、聲をかけた。

「おまへ！、江戸からきたんではないかえ？」

「チエツ、さういふお前さんは誰なんでエ？」

「おゝやはり江戸から來たのだ！、おまへは、名を何といふの？どこの生れで？親御はえ？」

「な、なんでエ？、親無し子だよ、おいらは！」

「まあ！、おまへ、手首を、手首を見せて！」

と、狂はしく虎三の左手を取りかけるお君を、

「なんするんでエ？」

と、振り拂つた虎三、パツト後へ飛んだ。

「お待ち！、おまへの手首に、大きなあざがあるならば、……」

と、聞くと、虎三、ヘツと手首を後へ隱して、するどく眼を見はつた、

「お前さん、誰でエ？」

「おゝその眼に、わたしは、見覺えがある。おまへ！、あゝ手首にあざがある筈、さあ、こゝへきてお見せ！、わたしは、お前のことを、一日も……」

「えゝツ、何だと？」

「おまへ、虎三ではないかえ？いゝえ、きツと、虎三にちがひない」

叫びながら、なほも歩みよるお君の顔を、ジツと見あげた虎三、ヘツと血相をかへると、

「それぢやア、おいらを、佃の親分の家の前へ捨てたのは、お前さんだな？」

憤りと懐しさに身ぶるひした虎三、お君を見すえて立ちすくみながら、

「おいらに着いてた守り袋の中に名を虎三とつけてくれツて、女の字で書いてあツたそうだが、……おいらのお母が、お前さんなら、なんて不人情なんでエ！、おいらは、そ、そんな情知らずのお母に今さら逢ひたかねエんだい！」

涙をためて啖呵をきると、クルリと後を向いた孤兒の虎三、

「待つて！、お待ち！、お待ち！」

と叫びつゞけるお君をそのまゝに、振むきもせず走りだした。

その後姿を、見つめたまゝ立ちすくんだお君が、追ひかけようとして足が動かずに、よろめき／＼涙と共に身もだえした。

「あの少年が、おまへの子だと申すのかな？」

と、敦彦、眉をひそめながら、歩みよつてきた。

「はい、……後生でございまする。どこにをりますやら？、どうぞ、今一度、……」

とお君は振りかへつて、敦彦を拜まぬばかりに、おろ／＼と見あげた。

「ウム、所司代の邸に、佃といふ者を、尋ねて行くがよい。しかし今見れば、あゝして逃げ去つたではないか？」

「はい、……情ないことに存じまする。あれが四つの時、わたくしは、しがない稼業をいたしてをりまして、あの子が足手まといになりまする所から、……」

「仔細は何れとも、逢ひたくば、今申た佃といふ者のもとにをるのだ」

と、言ひきつて後を振り向いた敦彦、

「繋がる因縁と見える、仙三郎とやら、御父の仇を狙ふまいぞ！、卿を手にかけた者はの、今の少年ではない。時代だ！、今に、時代が時代に仇を報じようぞ。聊生、さらば！、堅固にすごせよ！」

悠容と聲をかけて、北辰の小天狗、祇園の町を立ち去つた。

澤正と月形半平太

思ひ出を語る

故澤正の映畫「月形半平太」が來週演藝館に上映される、澤正の「月形半平太」——澤正亡き今日更に思ひ出の深い映畫である、映畫に於ける澤正が甫めて認められた作品であり、澤正の映畫中傑作として賞讃された作品である、最初に「月形半平太」を見たのは大正十三年、場所は京都のマキノ映畫の封切館マキノクラブだつた、それから今日まで日本の映畫界は素晴らしい發達をとげてゐる、例へばその當時は移動撮影や二重轉換の如き撮影技巧は未だ用ひられてゐなかつた、然し映畫「月形半平太」は今日の映畫に比較しても決して甚だしい見劣りのする作品でない、再びニユープリントの「月形半平太」を見て今更乍ら衣笠貞之助監督が非凡でなかつたことが泌々と思はれる。

當時の人氣は獨り澤正の人氣の如く考へられたかも知れないが、この作品には澤正の人氣以外に映畫としての良さがあつたのである、曾て「十字路」を携へて歐洲にある衣笠貞之助がこの作品によつて示した監督手法は當時の映畫——例へば松之助映畫と比較する時、何といふ素晴らしさだらう。

又この作品はいろ／＼な意味で過去の我映畫界に忘れられない聯合映畫藝術家協會の第一回作品である。

そしてまた撮影當時、澤正が京都の南座に出演してゐて、芝居が閉場た後で等持院の撮影所にかけつけて殆ど夜間撮影のみで製作した故人の奮闘の跡が遠くから眺めてゐたアークの灘明りと共に思ひ出される、そして返す／＼も澤正が遂に滿洲に來演せず逝つたことが惜まれる。

今年こそは／＼と宣傳され乍ら遂に姿を見せなかつた澤正の佛を偲ぶに適はしい彼の十八番物「月形半平太」である。

「あれ月さんが」のタイトルに次いでスクリーンに姿を見せる凛々しい月形に扮した澤正の面影、橋上の殺陣、中川芳江の任女、一文字國重の中井哲、染八の久松喜世子……そして最後のあの物凄い新國劇獨特の大立廻り、更に端役に一場面づゝ出て來る辻斬りの光岡崎三郎、七卿落の護衛武士に扮した團徳麿の淋しい姿、夜櫻の場面の舞妓の岡島艶子、三枚目の新見映郎の大部屋時代等々思ひ出の深い映畫である。

少女歌劇座 今夕開演

舞臺中繼放送

レヴユウ「昭和行列」十景や支那歌劇「舞姫李花」と言ふ新曲目を提げて日本少女歌劇座一行七十餘名は昨夜の急行列車で陸路來連したが、本日市中を挨拶廻りし愈今夕から歌舞伎座に於て開演するが、一行中山路妙子兒島光子は少女歌劇界に於て双璧と稱せられ山路妙子はダンスを得意とし兒島光子は美しいアルト唄手である、其の他に澤喜代子坪井露子の幹部級を加へた此の一座が織出す曲目は前記の外に樂的時代曲「自雷也」喜歌劇「銀座行進曲」等であり何れも泰箸に相應しい曲目のみである、時に九日午後九時頃より支那歌劇舞姫李花の舞臺中繼放送をすると

週報編輯悲鳴

嫌ぢやありませんか

(三) 津田皓三

—D—

それで曾て私はニユース嚢を開放して適當な原稿を募つた。中に二三こんなのがある。御披露に及ぶと

「僕等夫婦は映畫藝術に對して多大の讃美論者で……彼女は僕同様に長二郎を愛し僕もまた彼女とそして田中絹代を……今宵も彼女の懇望にて……」

……

と思へば未だひどいのがある。

「妾はモガなのよ、先日Tの歸りに同車のさる男のキネマファンの方と、私の落したTの週報を拾つて貰つたのを機會に色々話をして全く愉快に……妾は松竹派……きつとあの方……」

……

なんてのがあつて沙汰の限りである。

長浪速館主が日活との新契約書を握つて意氣揚々と歸連し之で一段落だといふので▲近く館員其他關係者を招待して星ケ浦で盛大な運動會を催し▲途中は自動車數十臺を連ねて示威運動をやらうと計畫中▲それから今後は大に興行に力瘤を入れ先づ「東京行進曲」を内地封切と同時に上映、其次が「秀吉」▲ところで大連映畫界の流言蜚語であるが、これがため悲喜劇續出で所謂秘話が多いこと▲學生デーに次いで「ザンパ」を撫學會の肝煎りで兒童に見せやうといふ話がある

樞府の形勢逆轉し 不戰條約問題悲觀

政府は西園寺公の意見に鑑みて 隱忍局面打解に努む

【東京特電九日發】不戰條約問題の解決に就き政府側に於て必死の努力を竭して樞府の諒解を得べく各方面より運動を爲し解決方法の

形式に 就いては各種の案を順次に提示して諒解を求めつゝあるも、未だ樞府側一致して諒解する程度の案を得るに至らず一時は平沼副議長一人を除いた外全員の贊成を得て政府側も大に樂觀の態であつたが、其後形勢又復一變し最近に於ては外交界の元老たる石井菊次郎子の反對論が出た爲め樞府の形勢逆轉し悲觀に陷りたる模樣あり、政府に於ては聖上陛下關西行幸御發輦前までには是非御諮詢奏請の手續を執るべく目下頻りに努力しつゝある、然し

御發輦 までには旬日を餘すのみであるから到底それ迄に解決を見ることは困難と觀測されて居る、然し本問題に關し西園寺公は樞府側の態度に與せず寧ろ問題とするに足らぬとの意見を側近者に洩らしたこともあり、去る七日內田伯が突然園公を訪問したことは調印の責任者たる同伯として園公の意中を親く聽く爲めであつたに過ぎず、田中首相も園公の意中は熟知してゐるので假令

時日は 遷延するとも飽くまで隱忍持久して本問題の解決を爲すと共に局面打開の決心であると

極東颱風論御進講

【東京八日發電】天皇陛下には十日午後二時宮中に神戶海洋氣象臺技師堀口由已氏を召されて「極東颱風論」と題する特別御進講を聞召さるゝ御豫定である

不戰案其他の重要問題を協議

八日首相官邸に於て

【東京特電八日發】田中首相は八日午後首相官邸に小川、原、中橋、久原各相、前田法制局長官を招致し當面乃至重要問題たる不戰條約御諮詢の件につき特に堀田歐米局長をも加へて

協議を 凝らした結果、御諮詢奏請については擧て閣議に於て決定したる通り陛下の關西行幸に先だちて手續を執るは勿論であるが、樞府の見解如何によつて尚意を安んじ難きため今一段の努力を以て樞府側の諒解を求めるに意見の一致を見、更に拓殖省官制については樞府側の名稱變更を主張する理由と參考案として推す新治省、新政省の名稱とは尙妥當ならざる憾みあるを以て樞府の意向を更に聽取し、朝鮮局の設置については樞府の意向に聽從することとなつた、尙改造問題については拓殖省設置期を

目前に 控へて居りグ殿下御退京後首相に於て愼重な人選に着手し、政策確立問題については未成立の自作農法案、地租委讓案につき更に議を練ると共に勝田文相其他の希望もあり、至急政策調査に着手するに決し午後五時散會した

民政黨の 議會報告書

【東京八日發電】民政黨は第五十六議會報告書を完成八日之れを發表したが、結論の大要左の如し

我黨の第五十六議會に臨むや一致結束克く平常の主張に則りて堂々たる進退をなし議場は爲めに非常の活氣を呈するに至つた貴族院に於て重要法案が枕を列べて葬り去られたのは之れ全く我黨の行動が天下の共鳴を喚び起し大衆意識の尖端が貴族院の硬化となつて現はれたからである、地租營業收益稅の委讓は現內閣の生命とも云ふべき重要政策である、本案が潰れた事は立憲政治に於て當に內閣の責任問題である、其の他自作農案肥料管理法案宗教法案鐵道敷設法案私設鐵道買收法案等悉く握り潰しの運命に逢着した事は現內閣に執りて何れも致命的重傷である、政府は僅かに豫算の成立を以て唯一の誇りとしてゐるが重要決案を握り潰された後の豫算に何の生命があり何の經綸あるか、其の贏ち得たる處は財界の大勢に逆行する黨略的數字の羅列に外ならない、彼等の漁利と罪惡とは內閣の末期に臨みて益々甚だしく樺太より滿洲朝鮮臺灣に及びて至らざるなし、吾人は第五十六議會の追擊戰を滿天下に徹底せしめ國民と共に斷じて田中內閣を問責せねばならぬ

車夫轢殺の賠償金二十萬圓を要求

【漢口八日發電】車夫轢殺事件の交渉は連日行はれてゐるが支那側は蔣介石の留守に乘じ日本陸戰隊の撤退、賠償金二十萬圓を要求し日本側は一萬圓以內に止めんとし交渉は未だ解決しない

新關稅法案

我貿易に大影響はない

【東京特電八日發】米國政府はわが木材關稅引上に對する報復關稅として日本よりの輸入品に對し關稅の引上をなすべしと豫想危惧されてゐたが、去る七日米國下院に提案された新關稅改正率によれば課稅品にはわが輸出品中重要なものはないので貿易業者方面では餘り痛痒を感じてゐない、即ちこれを商品別に見れば

△亞麻仁　現行率四十仙を五十六仙に引上げるが輸入國は主として南米亞爾然丁國であり、米國內部にも相當生產されるがわが國からの輸出はない、隨つて影響はない

△大豆　わが國からの輸出額は年額三百萬圓以內であり、滿洲大豆が相當輸出されてゐたが最近は非常に少くなつてゐる故に稅率が二仙に引上げられても大した影響はない、亞麻仁と共に主要輸出國たる南米に對して自國品保護の立場から引上げられたものである

△落花生　脫殼せざるもの及び脫殼せるものにつきては既に二月改正せられた通りであり、煎りたるものその他加工せるもの及びベターに製せるものは一封度七仙を課稅せんとする　これは主として青島から輸出するものである

△大豆油　現行二仙半が二倍に引上げられるが、わが國としては多少輸出せられるが一旦北米へ輸入されてから加奈陀へ大部分輸入されてゐるので大した影響はないと見てゐる

△鷄卵　一打につき十仙の稅率を課せられることとなつたが主として北支那から輸入せられるものであるから、支那より日本への輸出玉子が多くなり日本玉子の値を下げる傾向があつても既に內地の鷄卵の値段は低落してゐるのでこれ以上下落はあるまい

△眞珠　從價二割となつてゐるが當業者には多少打擊であるが全般から見て大した影響はあるまい

絹物類

【華府七日發電】米國下院に上提された新關稅率中絹物に關するものの左の如し

一、ビロード類從價一割增
一、パイル織にして一部分パイルを除きたるもの五分增
一、廣巾及び小巾のジヤガード紋織一割增
一、未精練縫糸現在の最低率より五分增
一、撚糸二割五分より二割に引き下げ
一、絹紡糸及び精練糸は重量稅を從價稅に改め絹紡糸は[illegible]精練糸のみは從價五分增
一、生糸は從前通り無稅

陳調元氏の公式訪問

安滿師團長に挨拶を述ぶ

【濟南八日發電】本日午前十一時[illegible]五分山東省政府主席陳調元氏は接收委員を同伴し安滿師團長を公式に訪問し、過去一ケ年[illegible]維持に盡されたるを謝し[illegible]を以て在留邦人の保護に當[illegible]と挨拶を述べ、安滿師團[illegible]に答へ二十分で辭去し次で[illegible]領事代理を訪ひ午餐會[illegible]

東三省に對して英米積極的に畫策

日本の經濟的立場が危險だ、と 東上の途奉天で天羽參事官語る

【奉天特電九日發】天羽北平公使館參事官は九日豐京奉線で森島領事等の出迎へをうけ着奉、午後二時の急行で東上したが氏は語る

何事か知らぬが本省からの急電で東上する、歸任期は不明である、芳澤公使が南京の方が片つけば滿蒙問題解決のため來奉するとの說は當らぬ、と云つて僕が

公使の 荷物を携行するのを大臣に榮轉の爲めと見るのは早合點たるを免れぬ、滿蒙問題に關する林總領事の意見書に由ると今度は却々强硬のやうだつたが大勢順應主義とやらで幣原外交に逆轉では總領事も遣り難くからう、同情に値する、それは兎も角北平での情報では東三省に對する英米兩國の畫策は昨今頗る積極的だ、しつかりやらぬと日本は經濟的にも起てなくなるだらう、北平外交團の南京移轉は今の處未だ左樣の空氣はない、馮玉祥氏は極力

消極的 戰法に出る模樣だから戰鬪は起るまい、從つて今の處平津一帶は平穩無事である

東拓重役會

【東京八日發電】東拓重役會は八日午前開會し三十一日の總會に提出すべき決算[illegible]氏の改選を總會にてなすことを決した

廣東軍に應援の軍隊南京より出動

馮軍に備へる必要から多數は出せぬ

【上海特電八日發】廣西軍と會戰した廣東軍の戰況思はしからざるため、國民政府は昨日來上海にて徵發した招船局三北汽船會社の汽船八隻を今日南京に廻航せしめ、南京より軍隊搭載せしめて廣東應援に赴かしめることとなつたが北方馮玉祥氏に對する防備上長江流域の軍隊の大移動をなすことを得ず、從つて廣東へ應援軍を出すとしても限られたる數を出でない模樣である

全滿憲兵分隊長會議

全滿憲兵分隊長會議は七日から三日間旅順憲兵隊本部に於て開催されたが七日は村岡軍司令官、二宮憲兵隊長の訓示に各分隊長の上京報告、花井軍參謀の講話、木下長官の訓示あり夜は長官邸に於て晩餐宴、八日は指示注意、隊長會議事項示達、松下法務部長及び和田保安課長の講話、二宮隊長議長席に着き提出事項に對する指示あり、夜は軍司令官の招宴に臨んだ、九日は事務打合せ懇談會を行つたが午後六時から將校集會所で二宮隊長の招宴を開催し十日いづれも歸還することゝなつてゐる

本會議に列席した分隊長は奉天三谷淸、長春齋藤義夫、鐵嶺江草只雄、遼陽吉島新治、安東廣田充雄、旅順對島、朝鮮軍司令部からは工藤勝彥、天津からは司令森本五郎の八氏である

漁區問題調停に

伊東巳代治伯起たん

【東京九日發電】露領漁區問題に關する日魯側と島德一派の紛爭は今尚睨み合の姿で解決を見ないが其の影響する處は日露戰役に依り得たる我權益の消長に關し其の間ロシア側赤化運動の危險もあり殊に數千の漁夫の死活に關する問題となつたので貴族院方面でも漸く問題の解決方促進の聲高く田中首相も事態につき深く憂慮する處あり專ら國家的立場より之が解決方につき努力し居るもの如く一方當初より調停に當つてゐた杉山茂丸氏の手では解決困難の模樣で結局伊東巳代治伯を起たして解決に努力せしむることゝなり伊藤伯も事態の重要なるに鑑み愈之が解決に當ることを承諾したと

安全地帶に避難

翟氏湯崗子行の理由

【奉天特電九日發】遼寧省政府主席たる翟文選氏が部下五名を連れて去る四日以來湯崗子に赴き靜養してゐる事情に就いて奉天では大[illegible]

[illegible]四聯軍の若手のみであるため公務の進行意の如くならざる上、翟氏の生命とする金融整理が此等の人々に掣肘されて思ひ通りならぬので嫌氣がさした

二、昌圖縣知事の武器密造事件を庇護したといふ廉により學良氏の怒りを買ひ身邊の危險を感じたので一時自身を安全地帶に置き緩和運動を行つてゐるのだといふ

首相奏上 一般政情

【東京九日發電】田中首相は九日午前十一時宮中參內、聖上陛下に拜謁仰付られ內外一般政情を奏上した後種々御下問に奉答退下し直にグロスター公殿下告別午餐會に臨んだ

井[illegible]日程

大藏省から派遣された會計檢査官井上綾太郎氏の旅行日程及檢査箇所は左の如くである

七日奉天着、奉天郵便局、警察署、東亞勸業株式會社▲九日ハルビン方面を視察▲十一日長春郵便局、警察署、滿鐵地方事務所▲十三日熊岳城一泊▲十四日午後八時半大連着▲十五日滿鐵株式會社、八日間滯在▲十九日關東總土木課出張所▲廿一日滿鐵▲廿三日旅順關東廳四日間滯在▲廿七日大連專賣局、民政署遞信局で五日間滯在▲六月一日鞍山製鐵所▲三日撫順、三日間▲六日安東着滿鐵地方事務所

朝鮮大邱、平壤に 新設の兩師範校

六月一日から開校する

【京城特信】新設の大邱、平壤兩師範學校長は既報の如く任命發表を見たが更に右兩師範教職員の任命も近く發令あるべく目下內申中である、而して右新設校の開校に就ては曩に松浦局長及福士學務課長の東京より歸任以來五月中旬の豫定で諸準備を急いでゐたところ

準備に 案外手間を要した爲め延期の已むなきに至つたが近く全く整ふと共に教職員の任命發表となり直に開校の筈で開校期は六月一日と決定した、開校遲延並に頭初計畫された高等科の設置が不能となつた餘儀なき事情に就いては懇々訓諭され生徒側に於ても充分納得の上就學することになつてゐる、舊令による道立師範教職員の進退に就いて一部杞憂の觀測をなす向もあつたが、昭和三年末現在に依る

教職員 は各道師範を通じ九十二名(內有資格者六八無資格二四)あり、內廿八名は今年新設師範に任命され他の六十四名は(昭和七年度まで道立師範は存續することになつてゐるため)五年度に廿八名六年度に二十四名七年度に十二名それ〴〵學級數の增加に伴つて、任命さるゝことになつてをり失職教職員は本人の都合によるもの外は一名も出さず前記の如く新設師範に任命されることに決してゐる

正金建値引下

【橫濱八日發電】正金銀行は八日爲替建値を英米[illegible]ポイント引下げ左のごとく改正した

小崗子華商公議會總會

小崗子華商公議會總會は八日午後四時より開催、會長以下八十二名出席し

一、會名は西崗子華商公議會と改稱すること
一、會長は從來二回以上の專任を許さなかつたが本年度より其制限を廢すること

等を決定した、因に同會員は目下千二百名以上に上つてゐる

うらる丸遲延

六日神戶出帆の豫定であつた內地大連間定期船うらる丸は八日に變更、從つて大連入港は十一日の豫定

關東廳辭令(六日附)

福井縣大野郡還羽尋常高等小學校訓導　村出義雄
任關東州小學校訓導　池邊正行
大分縣大分郡南庄內尋常高等小學校訓導ニ任ス(四月廿五日)

人事

▲河島茂氏(河島小兒科醫院主)　今回滿鐵を辭したので八日各方面を歷訪挨拶

安田猫子

高柳將軍が禿頭病に惱んでゐることが一度本欄に紹介されると忽ち諸所方々から治療法傳授の申込みが殺到した▲滿鐵本社は勿論、市內の某々方面あたりから全滿各地、更に遠くは天津、上海、東京及び昔馴染のある金澤邊あたりから治療の妙藥、妙法を傳へて來るので▲將軍今さらの如く世間に親切者の多いことに感激し早速片端から實行したお蔭で頭が癒らぬうちに先づ胃腸を害ひ醫者からは途方もなく叱られて大に悄氣てゐる▲今後は專ら例のビタミンC[illegible]を防止する方面に自重中さる[illegible]

一日一線 (4)

滿蒙鐵道驛傳競爭を前にして

自力で敷設した最初の支那鐵道 問題の多い瀋海線

奉海鐵路はこの四月十九日から「瀋海鐵路」と名稱を變更したこの鐵路は即ち

區間	哩程
瀋陽—海龍間	一四五、七哩
海龍—朝陽鎭間	一一、七哩
梅河—西安間(支線)	四二、五哩
計	一九九、九哩

と云つた標準廣軌の鐵路であつて、創立は大正十四年五月十四日、起工は同十四年七月十八日

區間	竣工
瀋陽、海龍間	竣工 昭和二年九月五日
梅西支線	竣工 同 二年十二月七日
海龍、朝陽鎭間	竣工 同 三年八月

竣工と同時に直に各線營業開始

○—○

この鐵路こそは、幾多の興味をわれ等に與へるもの、即ち滿蒙に於て外國資本と、技術とに緣らずに出來た最初の支那鐵道であり、又昭和三年三月連絡協定破棄と、車輛流用問題を惹起した奉海鐵路であり。又遡つてこの鐵路の內梅河、朝陽鎭間及び梅河、西安間の線は日本の既得權であつて、所謂開吉、開海線の一部であるが、東三省交通委員會がこれ等の條約を無視して敷設し日本も仕方なく承認したものと云つた點である。東三省交通委員會としてはかなりに考へた線で、西は滿鐵線をクロスして京奉へ繫がり、而して海港連山灣へ出づる便もあり更に北は打通より洮昂、四洮へと延びそして、新しく出來た吉海線とも連絡が出來ると云つた點から考へて、滿鐵線は形だけでも完全にこれら支那鐵道に包圍されてゐる。

○—○

瀋海鐵路の前名、奉海鐵路公司の創立は、大正十四年五月十四日であるが、これが創立當時は大洋二千萬元を以て半官半民の出資であつた、その後幾多の曲折があつたが現在では「儲かる鐵路」となりおほせてゐる。なにしろ、南滿の穀倉と云はれる東山地方を貫通してゐる線だけあつて、貨物の出廻りもよく大豆、小豆、高粱がこの線の主產物である、三年度の連絡と自線內兩線の輸送貨物を見ると

大豆(滿鐵連絡 二一一、〇〇〇噸／自線內 二九、一六五噸)

右の內滿鐵連絡は、昭和三年十月一日からの開始であるから、六ケ月間の累計に過ぎない、この調子で行くと一年間に於て、滿鐵に連絡する大豆は、三十萬噸位にはなるであらう、以下同じ狀態で

品目	滿鐵連絡	自線內
小豆	九、一八〇噸	四、四五二噸
高粱	二、四二〇噸	三、五四六噸
木材	二、〇六四噸	四、七七六噸

と云つたやうなものである。

○—○

かくしてこの鐵路は創立後間もない今日利益配當をさへ行つてゐる、即ち最近の配當率は六分であると云ふ。

瀋陽鐵路は、故常蔭槐氏等が躍起となり、東三省交通委員會の計畫によつて出來ただけあり、その組織及び鐵道規程等も實によく整備してゐる。

次に沿線の大きな町の人口分布を一瞥すると(領事館分館調査)

町	區別	人口
海龍	日本人	一三人
	朝鮮人	二一人
	西洋人	五人
	支那人	九八、二七五人
	計	九八、三一四人
山城鎭	日本人	二九人
	朝鮮人	三、八六二人
	支那人	三七、五〇〇人
	計	四一、三九一人
朝陽鎭	日本人	一四人
	朝鮮人	七七人
	支那人	二二、七八五人
	計	二二、八七六人
西安	日本人	二人
	支那人	五三、九九二人
	計	五三、九九四人

○—○

瀋海鐵路の概觀はこれ位として次ぎに日本との間に問題を釀した事件——連絡協定破棄及貨車流用を回顧しやう

連絡協定に就いては、大正十五年二月二日滿鐵側から提議し、昭和三年十月一日の實施に至る迄の間には、實に紆餘曲折の繁雜さを織込んだのである。

滿鐵との連絡が、成立することは、瀋陽鐵路沿線商民の利益(貨物の七分通りは連絡)であり、又滿鐵自體もこれによつて利すると云つた點から速かに具體化すべき必然性をこの鐵路は持つてゐた、而して協議すること二十幾回、昭和三年二月二十四日「連絡運輸暫行協約」並に「車輛貸借暫行協定細目協定」を結び遂に調印を了し、三月十日より運送實施と云ふ所迄行つた。

この協定が結ばれるや、奉海總理張志良氏は、北京交通部及奉天省長の意に反して調印を爲したと云ふ廉で罷免、交通次長、京奉局長の常蔭槐氏が新に奉海督辦となり、奉海を國有形式として三月五日協定廢棄の通牒を滿鐵に送つて挑戰した。

その上滿鐵の擔保であつた洮昂線の貨車を、四洮、打通、京奉と迂回して奉海に流用したる事件が加はり、これが爲め遂に兩鐵道の問題は延いて兩國間の問題となり、所謂奉海事件と云ふ問題を惹起したのである。その後四月二十四日、北京政府は我を折り

一、滿鐵奉海兩鐵道の連絡運輸協定を復活
二、奉海に獨斷流用した洮昂線の車輛、機關車を返還

と云つたところでウヤムヤにこの問題も終り、昭和三年十月一日、連絡の復活實施と云ふことになつた、右は奉海問題の大體の經緯である。

○—○

尙將來この鐵路と連山灣の關係は重大なものである、若し連山灣の胡蘆島の築港が完成した曉は吉海、奉海の貨物(洮昂、四洮も同じ)が、大連へ行くか將又胡蘆島へ行くか、哩數から見ると

區間	哩數
奉天 大連間	二四八哩
奉天 胡蘆島	一八五哩
奉大 營口	一一二哩

この點で胡蘆島を利用する方が大連より六三哩を短縮する(營口は勿論結氷その他で資格を缺くものと見て)

これ等のことは將來の問題ではある、重大と云つても一年三十萬噸そこ〳〵の貨物に過ぎないと見れば見られぬこともない、而も胡蘆島の築港は何時の事やら分らぬ。

昭和三年十二月二十六日京奉との間に貨物連絡を實施してゐるが、しかし吞吐港を持たぬ京奉線は、瀋海線の特產貨物を奪ふ事は出來ないこの鐵路は當分滿鐵の培養線と見て差支へはない

【寫眞は西安驛】

◇現物後場(銀建)

限月	寄付	大引
六月末	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]

出來高 十五車
▲包米(不申)

品名	寄付	大引
混保(袋込)	六三三〇	六三四〇
大豆(裸物)	—	—
三等袋物	—	—
大豆(裸物)	—	—

出來高 十車

品名	寄付	大引
豆粕	二一四〇	二一四〇

出來高 一萬二千枚

品名	寄付	大引
豆粕	—	—
高粱	三五〇〇	三五〇〇

出來高五車

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(近期 百三十七萬圓／遠期 二百九十三萬圓)

◇現物後場(單位錢)

時	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高(銀對金 二萬六千圓／銀對洋 一萬八千圓)

商品

後場(出來不申)

神戶特產物(九日)

品名	値
大豆現物	七五〇
先物	六五〇
豆粕現物	二二四〇
先物	四六六
滿洲小麥	六四〇
豆油現物	二二五〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
五月限	二二五七〇	二二六〇〇
六月限	二二二七〇	二二二四〇
七月限	二二〇九〇	二二〇九〇
八月限	二一九七〇	二一九五〇
九月限	二一八七〇	二一八四〇
十月限	二一八三〇	二一八二〇
十一月限	二一七〇〇	二一六九〇

東京株式(長期)

銘柄	後場寄	後場引
東株	一四九四〇	一四九三〇
東新	一三九六〇	一三九六〇
五品 中	二一四〇〇	二一四〇〇
先	[illegible]	[illegible]
七限	[illegible]	[illegible]
豆新 中、先	[illegible]	[illegible]
七限	[illegible]	[illegible]
豆信 中、先	不申	[illegible]
七限	[illegible]	一七〇〇

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
寄値	二一六〇	一三九六〇
引値	不申	一三九四〇
高値	二一六〇	一三九九〇
安値	二一四〇	一三九二〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	九二一〇〇	九二三〇
大新	八二六〇	八二四〇
鐘紡	二五二二〇	二五一七〇
鐘新	一二九三〇	一二九三〇
日糖	不申	六六六〇
郵船	不申	六四四〇

東京期米

限月	後場寄	後場引
五月	二九五七	二九七〇
六月	二九九四	二九九四
七月	三〇二九	三〇三七

（第三種郵便物認可）

滿洲日報　立直すべき滿洲の金融界

黑田大藏次官一行の來滿に際し、全滿商議代表者が大連商工會議所において黑田次官と親しく會見し、滿洲金融改善に關する意見を陳述したのは、洵に機宜を得たる措置と謂はねばならぬ。回顧すれば、滿洲における金融界の整理、統一、改善の聲は大正三年頃より起り、爾後も間歇的に商工業者を中心として叫ばれたるも、其の目的は竟に達せられなかつた。それ程に滿洲の金融問題は複雜なる事情と波瀾曲折に富んだ歴史を有してゐるのであるが、今こゝに其の概要を述べて見るのも、敢て無益の業ではあるまい。

◇

全滿商議代表者が黑田大藏次官に陳述した意見の中に見ゆる如く、中央銀行の設置と不動產銀行の創設とは全滿商工業者の抱ける多年の希望で、この二ツの問題は大正四年の大隈內閣時代に衆議院の議決を經た程である。然るに此の滿洲における金融機關の整理改善に關する法律案は、朝鮮に根據を有する朝鮮銀行と東洋拓殖會社の策動に妨げられて、貴族院で握り潰されると云ふ不幸なる運命に逢着した。次いで大正六年の寺內々閣時代に、首相寺內伯が朝鮮總督であつた緣故を辿つて、朝鮮銀行と東洋拓殖會社とは大手を揮つて滿洲に進出し來り、之れより先、事實上の滿洲における中央金融機關であつた正金銀行の金券發行權を鮮銀の手に、不動產特貸の權利を東拓の手に奪ひ取つてしまつた。比較的單純であつた滿洲の金融界はこれより複雜となつたのである。

◇

現在はどうか知らないが、當時の中央政府の考へは、在滿商工業者の希望する中央銀行は朝鮮銀行を以て、不動產銀行は東洋拓殖會社を以て、それ〴〵之れに當てると云ふ方寸であつたらしい。然るに此の期待は其後殆んど裏切られた。數年前、關東廳當局の人までが心配して滿洲に不動產銀行を設けやうと努力したが、それは長期低利の拓殖資金を供給すべき東拓がその本分を盡さなかつたからで、殊に今日の東拓は滿洲に餘り重きを措いてゐない傾向が歴々と見える。鮮銀の滿洲に對する態度も支店制度の下にお茶を濁してゐるに過ぎず、殊に近來の消極ぶりは言語道斷であつて、滿洲における中央銀行たる資格と威力は全くないと云つても過言ではない。從つて鮮銀と東拓の滿洲進出はその金融界を却つて不統一にしたのである。

◇

鮮銀と東拓とが今日の如き狀態になつたのは、事情諒とすべき點あるも、事已にこゝに至つては、滿洲金融界の上に改めて一轉換を圖るの外ない。全滿商議代表者が來滿せる黑田大藏次官に對し滿洲金融改善に關する意見を開陳したのは當然で、重ねて中央銀行と不動產銀行の設立を要望したのは、亂雜にして不統一なる滿洲の金融界を整理改善するため、極めて當を得たものと謂はねばならぬ。上記の如く、滿洲の金融界は複雜なる事情と波瀾曲折に富んだ歴史を有つてゐるから、之を整理、統一、改善することは容易の業ではないが、滿洲の中央銀行たるべき鮮銀と不動產銀行たるべき東拓とが已にその資格と威力を失つた以上、當初に立戻つて新たに滿洲の金融界を立直すことにせねば成らぬのである。

◇

滿蒙の產業開發といふ廣き意味から云へば、土地商租權、鐵道敷設權、鑛山開掘權その他の謂ゆる既得權益が一も實現されない今日、金融界だけを整理改善しても餘り大した効能はないかも知れない。既得權益が實現されて、日本の經濟力が南北滿洲と東部內蒙古へ廣く大きく伸びて行くことになれば、中央銀行も不動產銀行も自ら出來るやうになつて、整理、改善、統一の實が自然と擧がる事になるであらう。併し現狀ではそれを待つと云ふも聊か迂遠の感なきを得ないから、出來得る範圍內において、滿洲金融の整理をやつて貰ひたいのである。

勞農が馮を牽制して　支那擾亂を企圖
蒙兵と回教徒とが共に起てば　馮玉祥の地盤大動搖

【北平前田特派員八日發電】蒙古人と回教徒の聯合軍が去月十四日寧夏省の首府寧夏城を襲撃し省政府主席門致中氏の軍敗れて蒙回聯合軍が省城を占領してから既に二十餘日を經たが聯合軍の威勢益々振ひ、馮玉祥氏は非常に憂慮して陝西から大軍を向けて討伐せんとしつゝあるが、其の所手の着けやうがない狀態である、然るに一般は單に蒙回教徒が猖獗してゐるといふ支那の常套的宣傳をそのまゝ信じ眞相を知るもの稀であるが、確實なる消息に依れば決して斯く單純なものではない、元來寧夏一帶は舊內蒙の阿爾善盟の領域であつて、人民は久しく獨立を企望し居り昨年も獨立運動を起し之が爲め

一王族は　殺害された

事實があり、復讐の念に燃える同地方の蒙古人二千は、去月初め遂に大擧して寧夏を攻め、之に馮玉祥軍の極端なる壓迫と搾取に憤激してゐる回教徒一千が參加したのであつて、蒙回軍に數倍する兵力と精良なる武器を有する馮玉祥麾下の精鋭門致中軍は、漢民族の蒙古兵に對して持つ先天的恐怖心から蒙兵來の聲に怯えて一堪りもなく潰走したのである、茲に注意すべきは此運動の背後に勞農露西亞の魔手が潛んでゐることである、即ち勞農は一方馮玉祥を援助し「

支那擾亂　を企圖する

爲め此種の運動に手を廻してゐるのであつて、現に之と關聯して呼倫貝爾も再び不穩の情勢を呈しつゝある、寧夏事件が擴大して陝西甘肅の回教徒が蹶起して起てば、馮玉祥が蔣介石に對する

戰爭準備　上寧夏事件

を口實にして軍隊を移動してゐるのだとかなどゝいふ說は臆測に過ぎない事實は前淸咸豐年間の回教徒大叛亂の二の舞を演ずるやも計られぬ性質のものである

遼寧官場　大異動か
翟主席李市政公所長等辭職

【奉天特電】既電の如く支那側で遼寧省政府主席翟文選瀋陽市政公所長李德新兩氏の辭職により大異動が行はれる模樣であるが瀋陽市政公所長に任命される高靈務使の後任には何哈爾賓公安局長が任命されると

東邊警備を充實
安東に警備司令部設置

【奉天特信】東邊防總司令部では邊防一帶の充實を期する爲め更に安東に警備司令部を設置する事となり警備司令に東邊鎭守使于芷山に副司令に丁喜春を任命した

東北軍官大學
講武堂が改稱

【奉天特信】張總司令長官は從來の講武堂を改稱して「東北軍官大學」となし五等級に別ちて教育訓練を爲す事と成つた由

遼寧省軍政職員の官等統一
南京政府より命令

【奉天特電】遼寧省政府主席代理陳文學氏は七日所屬各縣の長官に對し南京政府の命に依り南北軍政職員の官等級並に俸給規程統一の計畫上必要につき在任官以上の人員並に俸給等來る六月十五日以內に報告すべき旨訓令を發した、因に該官制としては簡任、特任、委任、存任の四官である由

兵工廠の用度事務を改善

【奉天特信】張學良氏は今回兵工廠に於て購入する諸材料は總て納入者を詳記し更に毎日製造し得る能力數量等は逐一報告を爲さしめ其他計數的のものは逐一報告方を命令した

中等教員檢定試驗の受驗者

中等教員檢定試驗は八日午前八時から關東廳會議室で施行されたが

南征雜錄(14)
サンポウロ市にて　難波勝治

ブラジル(十四)

同地方在住者の言をきくに、カフエ樹の出來榮は到底サンパウロ州の如に及ぶ所でなく、ノロエスト邊で平均十六パルマ（三米突五二）となつて居る樹間距離も、カンパラ地方では二十二パルマ（四米突八四）より近くは植付られぬ、畢竟それだけ果樹の繁茂力が盛んな譯で、七八年生樹の採收には二間梯子を要しサンパウロ州に於て毎千本の採收量平均四十乃至六十アロバ（一アロバは我が約三貫八百四十匁）なるに對して、二百アロバ乃至それ以上の良成績を得て居るさうである、併しカフエ栽培熱の昂進は聊か附和雷同の傾向を濃厚ならしめ、標高地質の如何に拘らずカフエならでは夜も日も明けぬやうに思はせて居る、即ち從來

適地はテラ、ロシヤ若くはテラ、マサツペの一種で、而もそれが拔五百米突以上とされて居たのが今やアリアンサの如き標高僅か百米突足らずの砂土地帶すら先競ふてカフエザルの仕立に忙殺されつゝある

◇

尤も從來金科玉條視された地士質標準も、果して中部ブラジルの何處にも應用さるべきや否や疑問で、今日までの成育振りで

壇上の新渡戸博士

蛔蟲の危害

農學博士 新渡戸稻造氏談

わが民族の最も苦んで居る問題は蛔蟲であると思ふ。醫學の方から見れば蛔蟲なんてものは餘りに單純で恐らく問題にならぬかも知れぬが吾れ吾れの健康及經濟上即ち勞働能率の點から云つてこれは確に由々しい問題であらうと思ふ。今日日本の健康衞生といふと直ぐ持ち出される問題は結核である。我國は肺病の國で結核といへば貧民病といはれて居るがこの貧民病が高貴高位の人にまで行き渡つて居る。或る醫大家の言葉によると寄生虫に罹つて居るものはこの結核に最も罹り易いと云はれたがこれは寄生虫の爲に病人とならないまでも健康が低下して居るに基因するのであつて殊に蛔蟲の害は可なりに大きくそして普遍的である。十四五年前から私は之に關し調査してゐるが地方に行くと蛔蟲に罹つて居るものが六割乃至七割、時によると九割五分といふ處もある――

文化的地方行政でもやらうと思ふものがあつたら何かの方法で府縣民全體にマクニンか或はセメンか何かを呑ませてこの恥かしい且また經濟上頗る不利である狀態から國民を解放してほしいものである

健康の程度が外國人の十分の處を日本人は七分位の處にある。この三分の差は虫の爲で虫に喰はれた國民がこれで十分だと思つて居る。そして何かといふとあれも虫の爲これも虫の爲といつて片附けて居るがこれは大なる誤りである。種々なる專政に對して不平が非常にあるがこの壓制は甘んじて受けて居るそして己の意志に背くことや嫌やなことは皆虫の作用だと心得てこれ以上どう虫を驅逐しようかといふことは考へない斯うふわけで我が國民が如何に虫の爲に制せられ眞の人間になつて居ないことは判ると思ふ。毎日新聞が健康増進運動を開始せられるに就き第一着に蛔蟲の驅除宣傳をせられんことを私は切に望むものであります

（大阪每日新聞社主催健康增進運動講演會講演「蝕ばまれたる國民」より）

世界一の蛔蟲驅除藥

健康を維持し增進せしむる爲
まづ蛔蟲を驅除撲滅せられよ

マクニン錠

醫家用として粉末・液狀あり

一〇錠入	〇・四〇
二七錠入	一・〇〇
五〇錠入	一・八〇
三〇〇錠入	九・五〇
一〇〇〇錠入	二八・〇〇

小兒の爲の　蛔蟲下し菓子

マクニンゼリ

一〇個入	〇・二〇
二七個入	〇・五〇
五六個入	一・〇〇
一二〇個入	二・〇〇

蛔蟲の危害を詳記せる小冊子
『恐ろしい蛔蟲』
新渡戸稻造博士講演
『蝕ばまれたる國民』
御申越次第進呈

健康保全の爲是非御一讀願上げます

蛔蟲は他の人體寄生虫の如く卵が口より入ると腸内に於いて孵化し其處で成育して害をなすのではなく腸内に於いて卵殻を出た仔虫はやがて腸壁を穿通して腸腔内に出で横隔膜を突破し肺の表面より内部に達します又或るものは腸壁を穿通すると肝臟に侵入することもありますが之も血管内を移行して肺に集ります斯うして肺で充分に發育をとげた幼虫は氣管を經て咽喉より消化管を下り再び腸に達し親虫となるのですが此處で盛んに榮養物を攝り毒素を出すので保有者は其の爲種々の中毒症狀を起します殊に危險なのは幼虫が諸所を遊行する際で黄疸や肝臟膿瘍或は腹膜炎等の重病の原因となり且つ肺に集る幼虫が多ければ終ひには肺臟組織を破壞し肺出血や肺炎等を惹起し往々死に陷ることさへあります

●豫防驅除の爲每月蛔蟲驅除デーを定め本劑を服用して下さい

全國民の自覺と理解を促す

從來蛔蟲驅除藥の多くはサントニンを用ひてありますが之は劇藥で多量服用するときは黄視症其の他種々の副作用を惹起して取扱ひ危險ですから一般御家庭用としては特にマクニン錠を御推奬いたします

蛔蟲の蔓延傳播は世界中で日本が第一位で此の爲個人はもとより國家の損害は實に夥しいものであります然もこの蛔蟲國である日本に從來理想的驅除藥の絶無であつたことは甚だ矛盾したわけで一般治療界に於いても奏効的確にして副作用のない驅除藥の出現を翹望すること久しい狀態でありましたが今回本劑の製出により如上の要望は完全に滿たされたわけであります本劑は特殊方法により海人草の有効成分のみを抽出したもので東京帝國大學醫學部藥理學教室で精密なる動物實驗の結果優秀なる成績を示しその藥効を闡明せられたるものでサントニンの如く忌むべき副作用なきを以つて萬一多量に用ひたる際も毫も害なく且つその排蟲率も實に九十五%以上の好成績を示し今や盛んに全國各病院醫院の御推奬を蒙りつゝあります

大阪市東區道修町二
藤澤友吉商店
支店　東京市日本橋區本町
支店　京城府西小門町四二

M―58

コドモページ

童話　繪をかく阿闍梨（一）

江上照彦

前記　すべて良き作はプロローグ乃至エピローグを必要としない。併し作者はとかく是を缺くべからざる物の如くに思ふのだ。蓋しそれは自己の作品そのものに、或は又世の讀者なるものの鑑賞力の程度に不安を感じるからである。此處に此の前記を書く理由が、そのどちらによるかは論外として、自分が此の作によつて云はんと企圖した所は、眞の藝術家なる者の態度を描かんとするにあつた。即ち從來自分の腦裡にあつた純粹の藝術家、斯くあるべき藝術家の姿を、自分は旅の沙門なる人物によつて表現したつもりである。

而して一方、美と藝術の何たるかを解せざる俗人を、般若餓鬼、阿修羅、牛頭、馬頭の如き多くの小道具を使つて極力罵倒し、自らも痛快に感じた。

併し、此の際自分の企圖、思想等はあまり大した問題では無い。自分はただ讀者に少しなりとも興味を以て、此の作が讀んでもらへれば、それで滿足である。

町は夕暮でした。晝間は紅の藍や、岩の木や、木々の空洞等にかくれてゐた夜が、此處彼處からこつそりとしのび出て來て、そこら一面の空氣に暗い墨汁をまきちらしてゐました。蝙蝠は小さな惡魔を背にのせて、夕日の光をむさぼり食ひながら町の上を飛びまはつてゐました。

町の寺の鐘が鳴りはじめましたすると、どこからともなく其の鐘の音を、糸の様にたぐつて、一人の沙門が寺の門の前に參りました。沙門は土蜘蛛の舌の様な朱の衣を着、薄緑の藺の編笠をかぶり、一本の毛のすりきれた繪筆を持つてをりました。沙門は斧で鼬の背中の樣につるつるした山門を、白い手で三度叩きました。

すると雪より白い着物に、夜よりも黒い前掛けをした小僧が門をあけて呉れました。

「私は阿彌陀佛の御導きによつて參りました」旅の沙門は申しました。小僧はだまつてうなづいて、旅の沙門を庫裏の方へ案内しました。沙門は淸い水に足を洗ひ、藺の編笠をとつて庫裏に入りました。庫裏には、倶梨迦羅の御像と、紫檀の卓子と、飴色の行燈とがありました。黄金の花臺には血の樣な牡丹が力なくうなだれ、白銀の香爐には唐國の線香が蛇の樣な紫の煙をたててゐました。

後の山では梟がはばたきをしながらホウ〳〵と鳴きました。前の泉水では雅が金魚を捕そこねてポチヤリと水音をたてました。

すると極樂鳥を畫がいてある庫裏の襖があいて、此の寺の和尚が入つて來ました。

五月祭舞踊

學習室　一番の縣

日本で一番圖書館の多いのは愛媛縣で其の數三百九十六館、中學校の一番多いのは東京で百十三校、小學校で就學成績のよいのは青森縣で百人に對して九十九人七八の割合、少年團員の最も多いのは靜岡縣で其の數八萬四千人、米の産額の最も多いのは新潟縣で年産額三百三十九萬石、最も多く大臣を出した縣は山口縣で二十四人、醫師の最も多いのは岡山縣で人口一萬につき二十八人であると

學校と家庭　『母の日』を提唱す

大連基督敎青年會　中川竹太郎

「凡ての子よ汝の母を思へ」千九百八年に費府のアンナ、ヂアルプキス孃が自分の母を記念する爲め「母の日」を守つたのが始まりで毎年五月の第二の日曜日は「母の日」として今や世界到る處で之を守る樣になりました。米國合衆國の如きは議會に於て公式に此日を「母の日」と定め國旗をかゝげ一般の人々も

此日を以て母に對し敬意を表示する樣奬勵して居ります。各敎會でも此日には母に關する説敎がなされます。母の日を象徴する白カーネーションの花は白きは純潔と貞操を示し、其の形は美を、其の香氣は母性愛を、其持續性なる事は信仰と誠實とを示して居ります。我等皆母の子でないものはありません。然るに母の事を忘却し勝ちであります。母が日夜私共の事を絶えず心配して呉れて居ると思ふ時惡い事はしたくとも出來ません。此の日濺く

母に離れて居る人は葉書一枚でも母に出す事は如何に母を喜ばす事でせう。母の此の世にない人は亡き母の事を想ふ事に因つて自己を反省する事もよい事です。家庭では此日は母を主賓として樂しい集いを催す事もよいと思ひます。西洋の諺に「神樣は何處にでも居給ふ事が出來ぬから母を以て其代りとなさしめた」と云ふのがあります。げに母性愛は神の愛を示して居ります。

我國に於ても、内務省や文部省あたりが此の美擧を認め奬勵されたら世道人心に及ぼす感化は大なるものがあると信じます。大連に於ても奬學會などが卒先して母の日を守り此の日母に關する催しなどすれば母の愛の美はしさが必ずや子供達の胸に蘇へつてくることでありませう。

メーポール　―五月祭に出演する―

赤塚吉次郎

花でかざられたポールの尖から
　二十四條の紅白のリボンが
華やかに垂れさがる。
　それはまるで大きな花傘のやうだ。
その花傘のまはりには
　二十四人の少女たちが
リボンの端を手にとつて立つ。
　やがて輕やかな舞踏曲と共に
舞踏が始まると
　紅白のリボンはその進展につれて、
編まれたり解かれたりするのだ。
　おゝ、その樣の何と華やかなことよ。
それがたつた一本のポールではない。
　廣いグラウンド一ぱいに
三十本も立てられるのだ。
　獨樂のやうに廻ふ花傘で
グラウンドが埋まるのだ。
　おゝ、想像するだけでもすばらしいではないか。

ニドメノ大チヤンノタンケン（47）

ハルミチ作　ジラウ畫

ブルハ　キノエダニ　ツリサゲラレテヰル　大チヤンヲ　ミツケマシタガ　カナシイコトニハキニ　ノボルコトガ　デキナイノデ　タダ「ワン　ワン」トホエルバカリデス

ブルハ　オモヒキリタカクトビアガツテミマシタ。シカシナンベンヤツテモ　ナカナカトドキサウニアリマセン。大チヤント　ブルハ　カホヲミアハセテ　カナシミマシタ。

ブルハ　キノ　ネモトニ　ウヅクマツテ　ナニカ　カンガヘテヰマシタガ　キユウニ　タチアガツテ「ワン」ト一コヱ　ホエタトオモフト　一モクサンニドコカヘ　トンデイキマシタ。

童謠　雨の夜

武藤一枝

ショボ　ショボ
淋しい雨の音
暗い冷たい雨の晩
シトシト
雨の降る中を
何かゞ歩く
音がする

ショボ　ショボ
雨の降る晩は
山の子狸豆狸
とつくり提げて
酒買ひに
濡れ濡れ歩いて
居るのだろ――

朝日校の修學旅行　十三日に出發

朝日小學校尋常六年生百六十名は來る十三日より五日間の豫定で校長以下六名の先生に引率され奉天、撫順、安東方面へ修學旅行を行ふ由

入試存廢委員會

過般第二中學校に於て開催された中小學校長會議に於て入試存廢問題が委員附託となつてゐたが該委員は十三日午前十時より大廣場小學校に於て委員會を開くと

新刊敎育書紹介

▲學校學級經營の實際（五月號）農村小學校の擴張、昭和時代と敎育の使命、學校園の敎育的價値に對する高調點、自治と共訓練、其の他講話資料、研究と主張、創作等（五十錢東京市神田區表猿樂町南光社）

また山東で我が兵何者かに狙撃さる
夜間演習中に行方不明となり七日の夜半坊子で

【青島特電九日發】山東鐵道坊子駐屯の歩兵第十八聯隊は七日夜半夜間演習を行つたが其の際第五中隊一等卒鵜飼常一が行方不明となつたので捜査中の處、八日朝に至り同地三馬路に於て何者かのために狙撃され重傷を負ふて倒れてゐるのを發見したので直に手當を加へた上支那側と協力して犯人捜査中である

霞ケ關離宮にて盛大な御晩餐會
お告別の御意味で　國賓殿下の御催し

【東京八日發電】御來朝以來七日寸暇もなき忙しい御日程を過ごされた、グロスター公殿下には愈九日を以て國賓の御待遇を辭させられ、十日から日光、箱根及び關西地方を御旅行になるので御別れを告げ給ふ御心から殿下が主人役となられ八日夜霞ケ關離宮にて盛大なる晩餐會を御開きになつた、秩父宮同妃、高松宮、東伏見宮大妃殿下を始め在京の各皇族殿下田中首相以下各國務大臣、徳川川原貴衆兩院議長、英國大使チレー氏其の他約八十名は午後七時離宮第一第二の間に參入、グロスター公殿下にはエアリー伯以下隨員を從へさせられて御出席一階大食堂に晩餐會を開かれた、グ殿下は主人席につかれ鮮かな御もてなし振を以て一同を御歡待あらせられ樂の音は華やかに興を添へて九時半會を終らせられた

疑似ペスト
大阪入港船に發生

【大阪八日發電】大阪商船スマトラ丸が去る三月二十日棉花を積んで孟買を出航し四月十六日神戸に寄港十九日大阪に入港積荷を下して大阪鐵工所船渠で修理中、船員上田菊一（二七）が五月五日に至り突然發病午後三時三十分直に死亡したので、大阪府衞生課員出張動物試験の結果今朝に至り疑似ペストと判明した爲め、スマトラ丸の出帆を差し止め五十數名に對し大消毒を施した

當局大狼狽

【東京八日發電】グロスター公殿下の御成り次で聖上陛下の行幸を目前に控へ大阪市に疑似ペスト發生せるため大阪府市當局は大いに狼狽し、直に善後策を講ずると共に極力防疫に努めてゐるが此の報に内務省も大いに驚き八日午後七時三十五分東京發で飯村防疫官南澤防疫官補を大阪に急行せしめ、大阪府からは衞生課長國澤氏が八日夜上京宮内省内務省と打ち合せる筈

納骨祠の弔魂團
一行の日程

帝國在鄕軍人會代表者の滿洲納骨祠弔魂旅行團一行は八十五名で旅順着は來る廿九日午後七時半、翌卅日は午前九時より白玉山に於て納骨祠祭典の後東鷄冠山戰跡視察、戰利品陳列館參觀、爾靈山に至り戰跡を觀察、關東軍參謀の滿蒙現情に就ての講話あり關東軍主催の會食に臨み同日午後七時旅順發、入時廿分大

外山旅團禮狀

この程内地に歸還した歩兵第二十八旅團長外山少將は五月三日衞戍地高崎市に無事歸還し各方面に禮狀を寄せた

獨飛行船が六月に日本訪問
シベリアを横斷して

【東京九日發電】歐洲大戰の際ロンドン、パリーの上空に現れて敵國の心膽を寒からしめ猛威を振つたドイツ飛行船ツエツペリン號は豫てより極東飛行の壯擧を企て日本訪問の計畫を進めてゐたが愈來る六月初旬を期し斯界の權威エツケネル氏の手に依り斷行することに決定したる旨其の筋に入電あつたので陸海軍航空部並に帝國飛行協會で歡迎準備協議中、コースはベルリンを發しシベリアを横斷京城を經由して一氣に日本々土に入る豫定である、其の後の豫定は未定なるも或は太平洋横斷を敢行するやも知れぬと

沖繩からの歸途大村機行方不明
驅逐隊で極力搜査中

【鹿兒島九日發電】八日正午沖繩縣那覇を發し歸航の途についた大村航空隊の三機は荒天に惱まされ増田機は奄美大島附近に不時着水、山中機は那覇に引返したが、須田機は一晝夜を經た九日正午に至るも消息不明で安否氣遣はれてゐる向目下第二十一驅逐隊で極力搜査中である

五月祭の役員決る

十二日に大連運動場に於て擧行される五月祭は各實行委員により着々其の準備が進められてゐるが當日の役員は次の如く決定した
▲會長石本鏆太郎▲總務田中千吉夫人▲幹事長小泊六翁▲幹事河村音吉、吉村迪、岡部平太、赤塚吉次郎、村岡樂童、園山民平、岡本小太郎、倉井滿弘、松原斧吉、中滿新一、青山捨夫、石森延男、今永茂
▲運動係　A主任高山訓導（半輪體操）武訓導（小學生五月踊）隋女史（落霞舞、朧畔月）津上教諭（女學生五月踊）田中教諭（メーポールダンス）鈴木教諭（渦卷行進）荒川夫人（一般舞踊）B係員　福田夫人、小谷女史、石井女史、谷山教諭、八木訓導、原田（クニ）訓導、渡部訓導、武田訓導、山田訓導、森本訓導、武石訓導、石川訓導、原田（ツキノ）訓導、本島訓導▲受附係　岡安夫人、吳夫人、石田禮助夫人▲接待係　田村夫人、石田貞藏夫人▲マイクロホーン係　千葉夫人

大連民政署で貸家の調査
税金には關係がない　米内山財務課長談

關東州地方税の雜種税の一たる貸家税に就いては從來出來る丈けの努力を拂つて調査の完全と課税の公正を期しつゝあるが、人員と經費の不足の爲調査尚十分ならず甚だ遺憾なことゝ思つて居たが大連市に於ける家屋建築も年々増加し從つて貸家も殖えて來たので、當署としては之が徹底的調査をしなければならぬので今回臨時職員を採用して大連全市に亘り先月下旬から貸家の調査を開始し目下夫々分擔方面に向つて戸毎に、建物の所有者又は貸主の住所氏名、土地建物の坪數並用途建物の賃貸價格即ち家賃、敷金の有無、水道料金負擔の有無、修繕又は造作に關する事項、其の他必要の事項を調査して居るが、此は決して増税等の目的があるのでなく、單に貸家税の基礎調査を完成し以て税の均衡を圖らんとするのであつて又借家人に對しては何等税に關係がないであるから、係員の調査質問に對しては事實を誤らざるやう應答して貰ひたいものである。

殊に今回採用の係員は皆學校を出たばかりの若い青年のみであつて何分世情に通じない點もあり或は不行屆きのこともあるかも知れぬが、當署としては此の點を憂慮し豫め服務心得を示し、市民に對しては粗相のなき樣注意して置いたから一般市民も此の點は充分諒とし調査の圓滿なる遂行に便宜を與へられんことを望むと大連民政署の米内山財務課長は語つてゐた

支那船客を嚴重檢査
張軍の殘兵潛入を慮り

芝罘、龍口登州方面には未だ張宗昌氏の殘軍が潛伏し嚴しい劉珍年軍の探査の目を逃れて避難方法を講じてゐるが彼等は船をもとめては大連方面に亡命せんとしてゐる從つて昨今大連入港の膠東一帶の方面からくる船客中には數多の敗兵が商人或は苦力體に身をやつし入り交つてゐて、その中には拳銃その他の武器を密かに隱匿してゐるらしいので、水上警察では九日早朝より早出當番の高等係りを増加して虱つぶしに身體檢査を行ひ不祥事を未然に防ぐ事となつた

船員と敗殘兵二百餘名溺死す
戎克を徵發撃沈され　船主より賠償要求

張宗昌の敗戰以來、敗殘兵のため芝罘、龍口沿海で戎克船の徵發または掠奪されるもの尠からざる模樣で、就中大連北大山通り一八船舶代理店永聚所所有の戎克船張義順號（六百五十石積）も奉天省錦縣天橋場海岸より包米、綠豆等六百三十石を積載し四月二十七日龍口海岸に繫留、積荷陸揚の作業に從事中二百餘名より成る敗殘兵のため掠奪され、長山島附近を航行中翌二十八日沈鴻烈の麾下にある支那東北艦隊に發見され武裝解除を迫られたが、之れに應ぜず小銃をもつて發砲し抵抗した爲め該艦隊より大砲を發射され擊沈された爲め船員十五名、および敗殘兵二百餘名は全部溺死し海底の藻屑となつた、八日この消息を得た前記永聚成は大いに憤慨し直に大連華商公議會に證明書を請求し長山島商務會に就いても事實を調査した上、同艦隊司令沈鴻烈に對し損害賠償を提起すると敦圉いてゐる

沙河口に痘瘡發生
邦人も罹病

沙河口方面にて最近二三痘瘡罹病者現はれ既に秋月町一深見謙太郎（六三）は去る一日發病三春町一五鏡兒（二）は四月二十四日發病何れも七日療病院に入院した

妻を虐待せぬ

市内初音町二四九遞信局電信工夫西藤光一內縁の妻道下ミツノ（二二）が夫の虐待に堪へないと大連署に泣き込んだ事は既報の通りであるが、之れに關し西藤は八日大連署に出頭し夫婦喧嘩はしたが虐待した覺えないとて辯解してゐた尚西藤とミツノは合意の上夫婦別れをする事になりミツノは近く東京へ歸る事になつたとである

飲食物果物の行商人取締り

最近大連市内に飲食物および果物の行商人が頗る激増し中には不潔の器具類を使用しまたは腐敗に近き果物等を販賣し歩く者も尠からず、衞生上遺憾の點あるので各派出所に於ても發見次第嚴重處分を行つてゐるが、徹底せしの感ありこれより夏に入り傳染病流行の季節ともなるので大連署ではこれ等不潔行商人を徹底的に殲滅すべく近く取締デーを施行して片ツ端よりビシ〳〵告發すると

段外柔道試合
十二日に大連道場で　出場者は五十餘名に達す

大連段外柔道紅白試合は愈來る十二日の日曜日午前九時より大連道場に於て開催することゝなつたが同試合は毎年出場選手の昇段進級審査をなすもので各團體からの申込者は百五十餘名に達してゐるので血湧き肉踊る壯觀を呈するであらうと非常に期待されてゐる尙一般の觀覽を大に歡迎するとのことである

理想的な方法により安奉線八景を選定
藝術家その他の銓衡委員が實地踏査して決る

【奉天特電九日發】滿鐵奉天鐵道事務所では從來滿鐵線中特に風光の勝れた安奉線沿道地方が從來より世間に知れないで居るのを遺憾として今回「安奉線八景」を選定する計畫を立てた、此の選定方法は普く投票に依て募集するやうなことをせず先づ沿線各驛より申告させたものゝ中から十二景を豫選した後、藝術家其他各方面より銓衡委員を擧げて實地踏査を求め合議の上愼重に最も妥當と認められる八景を選定する方針であつて之がため同事務所の海上旅客係は滿鐵情報課囑託の伊藤順三氏と共に視察の途に上つた、尚八景決定の上は之を映畫に收めて廣く天下に紹介すると共に遊覽者吸收のために遊覽列車其他各種の設備をなす管であると

交通事故が近來益々頻發す
常盤橋を中心として　四月末までに三十二件

大連市内の交通整理に關しては所轄大連署に於てもこれまで凡ゆる方法によつて宣傳し事故發生の防止に努めて來たが、各種交通機關の頓に増加しゝ就中高速度交通機關の異狀なる發展を招來した結果は警察當局に於ける大童の宣傳も効力なく毎日流血の衝突沙汰は限りなく繰反され事故は益々増加の傾向にあるが、大連の心臟部であり最も交通頻繁にして事故多き常盤橋派出所の調査によると同派出所管内では昨年中百十四件の事故ありて重傷三名、輕傷二十四名、損害千九百二十七圓六十錢に達し今年も四月末日までに既に三十二件、即死一名、重傷二名、輕傷四名、損害百六十九圓五十錢に上つてゐる
原因は交通運輸の從業者にして法令を素り或ひは注意を缺き油斷した結果と雖も一般通行者に交通道德を無視した責もあると

渡船顚覆して二十餘名不明

【山形九日發電】九日午前八時半山形縣西村山郡谷地村端づれの最上川押切渡船場より男女三十餘名を乘せた渡船一隻が對岸に渡らんとした處增水の爲め操縱意の如くならず中程にて顚覆し乘客全部水に放り出された、之を發見して村民は警鐘を亂打し救助に努めたが辛うじて十名を救ひ二名の死體を發見したが他は行方不明となつたが激流に流され溺死したものと思はる

第六多聞丸南洋で坐礁

【東京九日發電】海軍御用船第六多聞丸（三三二一噸）は石炭二千噸を積載し七日午後五時南洋トラツクウタ島附近に坐礁し侵水中、乘組員に異狀なしと

夥しい見學團數
來る十一日から十日間に二十四團體が來連

旅行シーズンに入つて滿洲には母國より見學團が殺到しつゝあるが、來る十一日より廿日迄に來連する視察團體は左記の計廿四團體である
▲十一日大阪女子師範（五〇名）福岡中學傳習館（一三〇）愛知見本市（一三）福岡朝倉中學（一四〇）夾心子華人敬老會（一二〇）▲十二日福岡三池中學（一七〇）▲十三日富山商業（三二）下關商業（一一〇）福山師範（四二）開城商業（二六）豐橋商業（一〇〇）▲十四日愛媛師範（一〇三）旅順師範（一四）▲十五日朝鮮大田中學（六〇）丸五足袋會社員（四〇）大分竹田中學（九四）大分商業（五五）▲十六日福岡商業（三五）名古屋實業視察團（七〇）都城中學（三九）新義州公立中學（三〇）▲七日日本旅行會員（一五〇）香川坂出御商組合員（一五）▲十八日熊本鹿本中學（一〇〇）

强盜の被疑者

八日午後九時頃沙河口署員が西山會馬欄屯附近を密行中擧動不審の一支那人を檢擧し本署に連行嚴重に取調べたる所此者は西沙河口屯前科二犯張衞嚴（二七）と判明去る四日午後一時埠頭に緊留中の共同丸内に忍び入りオーバ外數點價格三百圓を竊取せる事を自白したが尚餘罪ある見込で南關嶺附近の强盜事件も此者の所爲ならんかと嚴重取調中

野口遂に死す

去る六日料理店永興館に於いて鮮妓に振られ猫自殺をせる野口隆一郎（二七）は直に大連醫院沙河口分院に於て手當をしたが同日午後一時遂に死亡した、

上海支那記者團は張學良氏の招待

九日夕刊一部所報に支那記者團が近く滿鐵の招待で來滿するとあつたのは誤りで右は張學良氏の招待に係るもので南支に於ける言論機關に東三省の事情を詳知せしむるのが目的であつて其の行動は相當注目されてゐる

本社見學

撫順公學堂生徒三十二名は九日午前九時笛木俊夫氏に引率され本社を訪問各部を見學した

寫友倶樂部

來る十三日午後六時半より春季總會を開催尚當月例會の特別課題は春祭情趣で會員外の出品も歡迎すると

藝者拘留處分

大連逢坂町三〇貸座敷舞鶴樓抱藝妓由太郎こと勝野トク（二二）は前借踏み倒しの廉により大連署の取調べを受けてゐる事は既報の通りであるが取敢へず無斷外泊と定期檢黴不參のため八日拘留七日に處せられた

殺人未遂の告訴を提起

先月廿七日實來町一番地に於て毆打された寺島治三郎、野依榮雄、蜷瀬半次三名は八日加害者たる中華キリスト教青年會フツトボール選手及大連商業學校生徒外數十名を相手取り、相川辯護士を代理人とし小崗子署に殺人未遂の告訴を提起した

けふのラヂオ

昭和四年五月十日（金曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時三十分
一、ニュース
二、兒童科學講座　櫻の花に就て　大連第二中學校　泊　尙義
三、ピアノ聯彈　ベートウベン第一シンホニー　大連高等音樂學院　小林　初子　横山幾久子
四、筑前琵琶　山崎合戰　法洗山　上地　旭嶺
五、箏曲千鳥　本手　福永大勾當　替手　森川とし子
六、支那劇賀馬　滿東倶樂部々員
七、料理獻立
八、天氣豫報
九、ラヂオ體操

本社懸賞當選小説 (禁無斷上演)

人生の曲藝 (125)

瀬野皓太作　浅枝次朗畫

雪の朝（六）

「ほんとうは、妾内村信策さんの所に參ります考へはございませんでしたわ。あの方のお傍に參りますまでに、どうしてもしなければならぬ仕事がありますの」

「仕事？」

扉のそとでは、鋭い呟きの聲が聞えた。

葉山百合子は、その呟きを聞くと、さながら待つてゐたかの樣ににつこりと笑つた。

「その仕事を止めさせ度いばかりに、乾度、あなた樣が、内村さんをだしにお使ひになるつて事は、妾にはちやんと判つてますわ」

「葉山さん。あなたは何を仰言るのです。あなたは、私を軍事探偵だと思つてゐるんですか」

「えゝ、その通り、あなたが哈爾賓にいつてもお出でだと言ふ事も、その上、内村さんとあなたが二三ヶ月以前に二十年振りにお會ひになつた事も。そして、あなたが妾の身邊に近づいて、何かしら妾から探り出さうとしてゐる事も。その上、妾の所に來る支那將校の事を知りたがつてゐるのも、みんな妾には判つて居りましたわ。とても、早川啓吉さんなら妾、お會ひ申上げる筈がないじやありませんか」

彼女は、さう言ひ終ると、今まで肩に背負つてゐた重荷をすつぱり脱ぎ捨てた樣な心安さをも感ずるのであつた。

扉のそとでは、又小さい呟きが續けられた。

「葉山さん。私はあなたを今こゝから拘引する事さへ出來ます。あなたが私を恐れなくならうとは、私は思ひもかけなかつたのです。私は隨分久しくあなたの行動を監視してゐたのでした。ともすれば公的でなくて、私の個人としての感情に捉はれすぎた爲に、今まであなたを見のがして來たのです。さあ、一時も早く、さきの私の申出にいゝ返事を下さい。そして内村信策の國に好い伴侶となつてやつて下さい。そして、今晩にでも私と一緒に、東京を立つて下さい」

その早川啓吉の申出では、さすがに彼女の感情を動かしたのであつた。彼女の心には再び内村信策の暖かみのある大きな顔が映つたのであつた。

彼女は、も少しの所で、早川啓吉に同意を與へる所であつた。が彼女はその間際になつて彼女自身を冷靜にした。

「妾には、さつきも申上げたと同じ樣に、も一度お答へする他はありませんわ」

「ぢや、私の忠告を、お容れにはならないのですな」

彼女は突然に高く笑つて了つた。

「軍事探偵にも似合ない。何と言ふあなたは卑怯な方です」

「卑怯ですつて？」

扉のそとの聲は少しばかり怒りにふるへてゐた。

「あなたは、妾の身邊に近づいて出來るだけ妾を探らうとなさつたんです。そして結局妾から何も求められなかつたんです。あなたは妾を、うまく東京から追つ拂ふつもりなんです。何んて、卑怯なやり方でせう」

扉のそとの聲は暫く聞えなかつた。彼女は聞き耳を立てゝ、彼を覗つた。

「彼女は突然に、早川啓吉の完るで宣告するかの樣な聲を聞いたのであつた。

「私は、日本政府の名をもつてあなたを拘引します。こゝをお開けなさい」

彼女は笑ひながら答へた。

「妾は拘引されるわけはありません。妾は多分、あなたの手に拘引される事は、萬々ないと存じますわ」

彼女は、さう言ひ終ると、すぐにその身の廻りのものを、手早く片づけた。

彼女は、それから鏡に向つて、亂れによごされた顔を直し始めた。

それから三十分程立つてから、早川啓吉は、漸く彼女の部屋の扉を破る事が出來たが、その時、葉山百合子は、彼女の少しばかりの持物と一緒に、何所にか姿を消して了つたあとであつた。

新刊紹介

▲無線電話（五月號）東京市日本橋區本石町三丁目二五日本無線電話普及會（定價五十錢）

▲女人藝術（五月號）東京市牛込區左内町卅一番地女人藝術社（定價四十錢）

▲物理學及化學　會員募集五月廿八日締切東京神田神保町岩波書店發行（定價甲乙丙共一ヶ月二圓五十錢）

▲大國聖日蓮上人　日蓮主義を高唱して思想善導を說きたる必讀の書東京麹町春秋社發行（定價一圓六十錢）

▲工事畫報（四月號）東京丸ノ内仲通四號館七號工事畫報社（定價七十錢）

▲滿蒙（五月號）大連市紀伊町九十一番地中日文化協會（定價一圓）

五月川柳課題

五月十日締切

▽「談判」小倉蜂勛子選

五月十五日締切

▽「觀察」編輯局選

○各題必ず別記一人五句限

滿日文藝係